

令和6年度 支援・評価委員会等の支援状況

公益社団法人
国民健康保険中央会

別添資料 目次

(1) 国保

①都道府県	1
②市町村国保	20
③国保組合	46

(2) 後期

①広域連合	63
②構成市町村	81

委員または委員会としての支援状況	100
------------------	-----

はじめに

本資料は、「令和6年度 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書の取りまとめ」の別添資料です。

事業報告書の保険者票（都道府県、市町村国保、国保組合、広域連合、構成市町村）について集計した結果と委員票の具体的内容をまとめた資料となります。

留意事項

- 支援・評価委員会及び支援・評価委員会以外による支援において、同じ事業に対して、両者から支援を受けている場合がある。
- すべての設問は複数回答形式で回答されている。
- 事業総合計のグラフの単位「事業数」は、支援した事業の延べ総数。したがって、1保険者が複数の事業で支援を受けた場合は、その事業数分が加算されるため、支援した保険者の実数とは一致しない。
- その他の内容や分類等の後続く（ ）内の数字は、その内容に該当する回答の件数を示している。
- 市町村国保、構成市町村の記述形式部分（「今後の支援の要望」、「支援・評価委員会以外に助言を求めた理由」）については、事業別集計の後にまとめて掲載している。（都道府県、国保組合、広域連合は各事業の集計内に掲載）

支援・評価委員会等の支援状況

(1) 国保 ①都道府県

<保険者票より集計>

集計の内容

○事業別支援数

○ヘルスアップ事業についての支援数

○事業総合計

- ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
- ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象

○事業別

- ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度、
今後の助言への要望
- ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象、支援・評価委員会以外に
支援を求めた理由

A：市町村が実施する保健事業の更なる推進に資する基盤整備

- ①都道府県レベルの連携体制構築
- ②保健事業に関わる都道府県及び市町村職員を対象とした人材育成
- ③ヘルスアップ支援事業及び計画立案能力の向上及び先進、優良事例の横展開を図る取組

B：市町村の現状把握・分析

- ④KDB等のデータベースを活用した現状把握、事業対象者の抽出、効果分析や課題整理を行う事業

C：都道府県が実施する保健事業

- ⑤都道府県が市町村と共同または支援により行う保健事業
- ⑥保健所と連携して実施する保健事業

D：人材の確保・育成事業

- ⑦かかりつけ医等に対する国民健康保険の保健事業に関する研修
- ⑧医療機関等に勤務する糖尿病療養指導士等を活用した保健事業

E：データ活用により予防・健康づくりの質の向上を図る事業

- ⑨医療・健康情報データベースの構築
- ⑩データヘルス計画の標準化に向けた現状把握・分析
- ⑪予防・健康づくりに資するシステムの構築

F：モデル事業（先進的な保健事業）

- ⑫地域の企業や大学等都道府県単位の健康課題等を共有し実施する先進的な予防・健康づくり事業
- ⑬無関心層を対象にして取り組む先進的な保健事業

○その他の事業内容



支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）の概要

＜支援・評価委員会の支援＞

- 事業別の支援状況は「KDB等のデータベースを活用した現状把握、事業対象者の抽出、効果分析や課題整理を行う事業」、「都道府県が市町村と共同または支援により行う保健事業」の順で多かった。また、「保健事業に関わる都道府県及び市町村職員を対象とした人材育成」や、「都道府県レベルの連携体制構築」といった事業を支える体制や人材を強化するための支援も多く実施されていた。
- 全体で見ると、助言の対象は「事業の実施方法」が最も多く、助言の形態は「（会議体）委員会」、方法は「対面形式」がそれぞれ最多であり、会議体を通じた直接的なコミュニケーションによる支援が多かった。
- 多くの事業で「必要な助言が十分に得られた」、「部分的に得られた」が多数を占め、支援に対する満足度は高かった。なお、「助言があまり得られなかった」との回答は、「保健事業に関わる都道府県及び市町村職員を対象とした人材育成」における1件のみだった。
- 今後の助言の要望として、各事業で事業全般への助言や効果検証、事例の共有などを求める意見があがっていた。

＜支援・評価委員会以外の支援＞

- 「支援・評価委員会以外」に助言を求めた機関については、糖尿病の対策会議等の会議体から助言を受ける例が各事業で見られた。その主な理由は、「専門的な知見の活用のため」であり、事業の特性に応じて外部の専門性を柔軟に活用している実態がうかがえた。

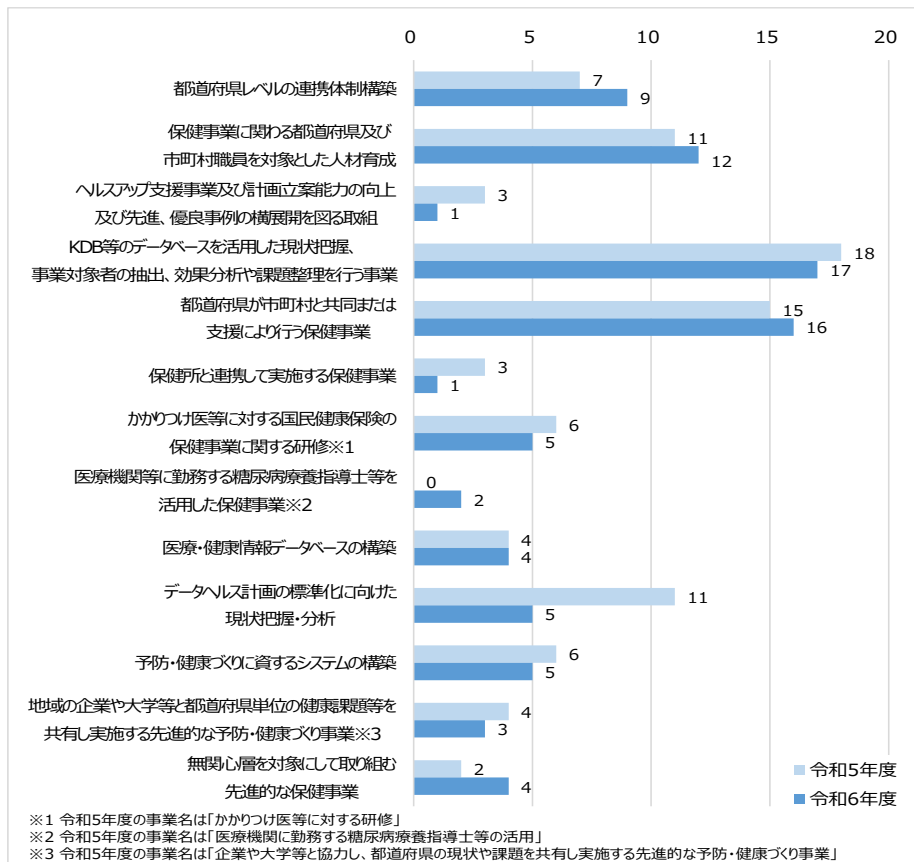


令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

＜事業別支援数＞

（単位：都道府県）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会以外による支援



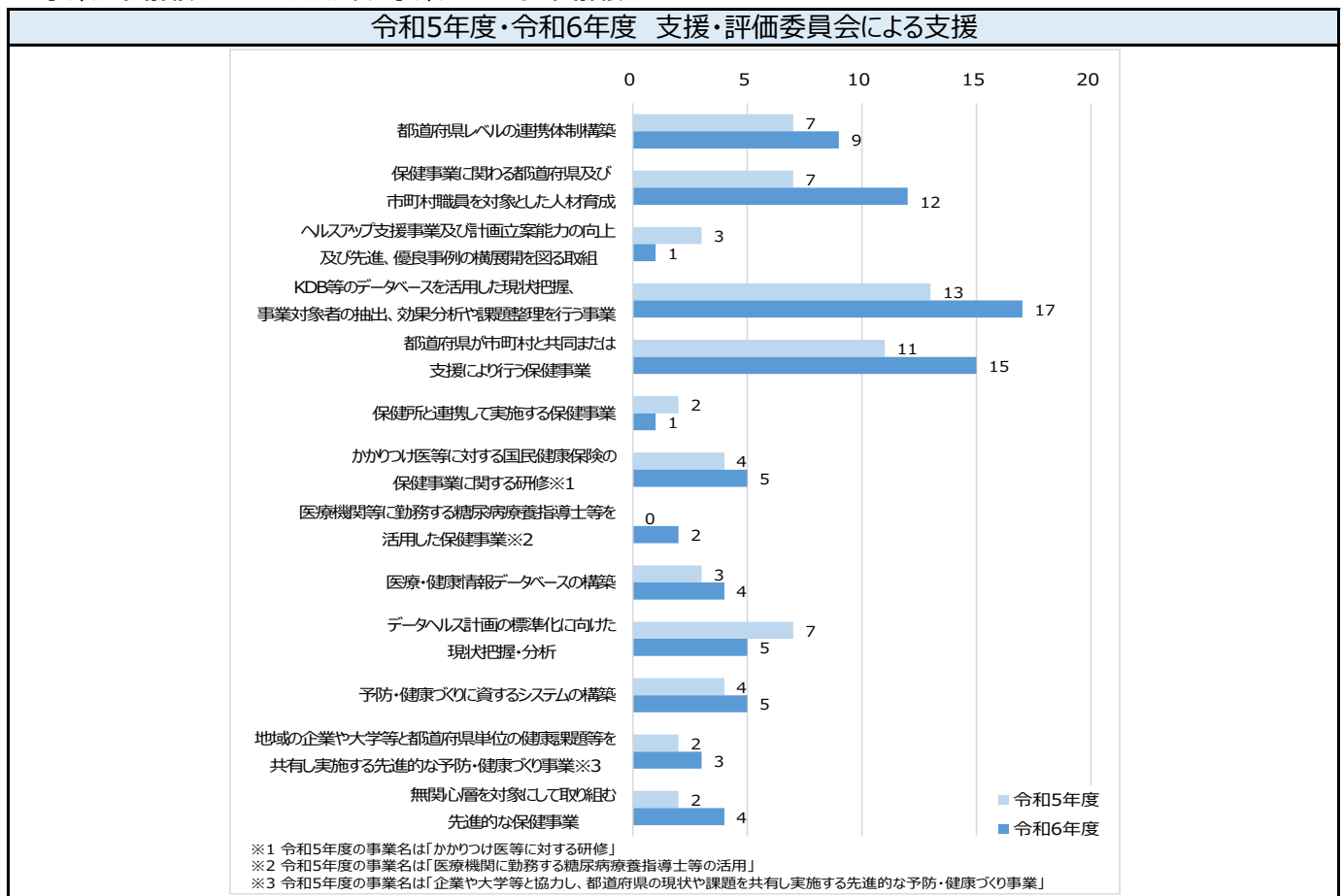
調査対象：都道府県 回答数：令和5年度 39、令和6年度 39

（複数回答）

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

＜事業別支援数のうちヘルスアップ事業についての支援数＞

（単位：都道府県）



調査対象：都道府県 回答数：令和5年度 39、令和6年度 39

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

事業総合計

（単位：事業数）



調査対象：都道府県 回答数：39

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

① A_都道府県レベルの連携体制構築

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援	
<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 5</p> <p>事業対象者の選定 4</p> <p>事業の実施方法 7</p> <p>事業の実施管理 3</p> <p>事業の評価 8</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・県内で標準化する事業の内容、基準、評価等・PDCAの見直し</p>	<p><助言の形態></p> <p>(会議体)委員会 7</p> <p>(会議体)ワーキング・グループ 0</p> <p>保険者等個別支援 1</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・事前協議</p>
<p><助言の方法></p> <p>対面形式 6</p> <p>Web形式 3</p> <p>文書等 0</p> <p>その他 0</p>	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <p>必要な助言が十分に得られた 4</p> <p>必要な助言が部分的に得られた 5</p> <p>必要な助言があまり得られなかった 0</p> <p>必要な助言が得られなかった 0</p> <p>その他 0</p>
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全般への助言 ・基準・評価方法の専門的かつ客観的な助言 	
支援・評価委員会以外による支援	
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の対策会議 ・特定健診推進会議 	<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 1</p> <p>事業対象者の選定 0</p> <p>事業の実施方法 0</p> <p>事業の実施管理 0</p> <p>事業の評価 1</p> <p>その他 0</p>
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知見の活用のため 	

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 9、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

② A_保健事業に関わる都道府県及び市町村職員を対象とした人材育成

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <caption>助言の対象</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・保健指導を実施する上で障害となっている体制の課題を把握すること</p>	対象	数	事業の現状分析・目標設定	7	事業対象者の選定	3	事業の実施方法	11	事業の実施管理	5	事業の評価	10	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <caption>助言の形態</caption> <thead> <tr> <th>形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事前協議</p>	形態	数	(会議体)委員会	9	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	2	その他	1
対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	7																								
事業対象者の選定	3																								
事業の実施方法	11																								
事業の実施管理	5																								
事業の評価	10																								
その他	1																								
形態	数																								
(会議体)委員会	9																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	2																								
その他	1																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <caption>助言の方法</caption> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	方法	数	対面形式	8	Web形式	3	文書等	3	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <caption>支援・助言を受けた満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	数	必要な助言が十分に得られた	5	必要な助言が部分的に得られた	6	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
方法	数																								
対面形式	8																								
Web形式	3																								
文書等	3																								
その他	0																								
満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	5																								
必要な助言が部分的に得られた	6																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全般への助言 ・多角的視点での助言 ・事業計画書について ・専門職の人材確保等への他県の取組について 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 12、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

③ A_ヘルスアップ支援事業及び計画立案能力の向上及び先進、優良事例の横展開を図る取組

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																																																																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	事業の現状分析・目標設定	0					事業対象者の選定	0					事業の実施方法	0					事業の実施管理	1					事業の評価	0					その他	0					<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	(会議体)委員会	1					(会議体)ワーキング・グループ	0					保険者等個別支援	0					その他	0				
	0	5	10	15	20																																																																				
事業の現状分析・目標設定	0																																																																								
事業対象者の選定	0																																																																								
事業の実施方法	0																																																																								
事業の実施管理	1																																																																								
事業の評価	0																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
(会議体)委員会	1																																																																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																																								
保険者等個別支援	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	対面形式	0					Web形式	0					文書等	1					その他	0					<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	必要な助言が十分に得られた	1					必要な助言が部分的に得られた	0					必要な助言があまり得られなかった	0					必要な助言が得られなかった	0					その他	0										
	0	5	10	15	20																																																																				
対面形式	0																																																																								
Web形式	0																																																																								
文書等	1																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
必要な助言が十分に得られた	1																																																																								
必要な助言が部分的に得られた	0																																																																								
必要な助言があまり得られなかった	0																																																																								
必要な助言が得られなかった	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																																																																									
支援・評価委員会以外による支援																																																																									
支援なし																																																																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

④ B_KDB等のデータベースを活用した現状把握、事業対象者の抽出、効果分析や課題整理を行う事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援	
<p>＜助言の対象＞</p> <p>【その他の内容】 ・データヘルス計画共通評価指標の活用方法</p>	<p>＜助言の形態＞</p> <p>【その他の内容】 ・事前協議</p>
<p>＜助言の方法＞</p>	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p>
<p>＜今後の助言への要望＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全般への助言 ・事業の広がりや、実施体制の在り方等 ・課題整理及び課題に対する対策に係る助言 	
支援・評価委員会以外による支援	
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会 ・糖尿病の対策会議 	<p>＜助言の対象＞</p>
<p>＜支援・評価委員会以外に助言を求めた理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携強化、継続的な支援を受けている 	

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 17、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑤ C_都道府県が市町村と共同または支援により行う保健事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援	
<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 8</p> <p>事業対象者の選定 8</p> <p>事業の実施方法 11</p> <p>事業の実施管理 5</p> <p>事業の評価 12</p> <p>その他 2</p> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施方法（内容・方法等） 健康観の地域差についてなぜそのような考えになったのか、圏域の会議等を活用して把握すること 	<p><助言の形態></p> <p>(会議体)委員会 13</p> <p>(会議体)ワーキング・グループ 0</p> <p>保険者等個別支援 3</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前協議
<p><助言の方法></p> <p>対面形式 12</p> <p>Web形式 3</p> <p>文書等 2</p> <p>その他 0</p>	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <p>必要な助言が十分に得られた 10</p> <p>必要な助言が部分的に得られた 6</p> <p>必要な助言があまり得られなかった 0</p> <p>必要な助言が得られなかった 0</p> <p>その他 0</p>
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業全般への助言 効果検証方法等に係る助言 今後も対面形式での助言を希望 	
支援・評価委員会以外による支援	
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進会議 糖尿病の対策会議 	<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 1</p> <p>事業対象者の選定 1</p> <p>事業の実施方法 2</p> <p>事業の実施管理 1</p> <p>事業の評価 2</p> <p>その他 0</p>
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知見の活用のため 会議体から助言が得られる 	

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 16、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑥ C_保健所と連携して実施する保健事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																																																																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	事業の現状分析・目標設定	1					事業対象者の選定	1					事業の実施方法	1					事業の実施管理	1					事業の評価	1					その他	0					<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	(会議体)委員会	1					(会議体)ワーキング・グループ	0					保険者等個別支援	0					その他	0				
	0	5	10	15	20																																																																				
事業の現状分析・目標設定	1																																																																								
事業対象者の選定	1																																																																								
事業の実施方法	1																																																																								
事業の実施管理	1																																																																								
事業の評価	1																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
(会議体)委員会	1																																																																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																																								
保険者等個別支援	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	対面形式	1					Web形式	0					文書等	0					その他	0					<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	必要な助言が十分に得られた	0					必要な助言が部分的に得られた	1					必要な助言があまり得られなかった	0					必要な助言が得られなかった	0					その他	0										
	0	5	10	15	20																																																																				
対面形式	1																																																																								
Web形式	0																																																																								
文書等	0																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
必要な助言が十分に得られた	0																																																																								
必要な助言が部分的に得られた	1																																																																								
必要な助言があまり得られなかった	0																																																																								
必要な助言が得られなかった	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																																																																									
支援・評価委員会以外による支援																																																																									
<p>支援なし</p>																																																																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑦ D_かかりつけ医等に対する国民健康保険の保健事業に関する研修

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事業の方向性</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	4	事業の実施管理	1	事業の評価	5	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事前協議</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	4	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	0	その他	1
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	4																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	5																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	4																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	0																								
その他	1																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	4	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	2	必要な助言が部分的に得られた	3	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	4																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	2																								
必要な助言が部分的に得られた	3																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望> ・事業全般への助言</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 5、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑧ D_医療機関等に勤務する糖尿病療養指導士等を活用した保健事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																																																																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事業成果の活用について</p>		0	5	10	15	20	事業の現状分析・目標設定	0					事業対象者の選定	0					事業の実施方法	1					事業の実施管理	0					事業の評価	0					その他	1					<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	(会議体)委員会	2					(会議体)ワーキング・グループ	0					保険者等個別支援	0					その他	0				
	0	5	10	15	20																																																																				
事業の現状分析・目標設定	0																																																																								
事業対象者の選定	0																																																																								
事業の実施方法	1																																																																								
事業の実施管理	0																																																																								
事業の評価	0																																																																								
その他	1																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
(会議体)委員会	2																																																																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																																								
保険者等個別支援	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	対面形式	0					Web形式	2					文書等	0					その他	0					<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	必要な助言が十分に得られた	1					必要な助言が部分的に得られた	1					必要な助言があまり得られなかった	0					必要な助言が得られなかった	0					その他	0										
	0	5	10	15	20																																																																				
対面形式	0																																																																								
Web形式	2																																																																								
文書等	0																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
必要な助言が十分に得られた	1																																																																								
必要な助言が部分的に得られた	1																																																																								
必要な助言があまり得られなかった	0																																																																								
必要な助言が得られなかった	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																																																																									
支援・評価委員会以外による支援																																																																									
支援なし																																																																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 2、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑨ E_医療・健康情報データベースの構築

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事業結果の市町村への還元に係る助言</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	2	事業の実施管理	0	事業の評価	1	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	4	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	0	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	1																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	4																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	0																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	3	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	1	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	3																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	1																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>・データ分析・効果検証</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 4、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑩ D_データヘルス計画の標準化に向けた現状把握・分析

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・LINE公式アカウントに健康増進キャンペーン等のメニューを設けることで、市町村の健康増進事業を支援する</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	5	事業の実施管理	2	事業の評価	3	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事前協議 ・Webにて個別ヒアリング</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	3	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	0	その他	2
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	5																								
事業の実施管理	2																								
事業の評価	3																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	3																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	0																								
その他	2																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	3	Web形式	1	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	4	必要な助言が部分的に得られた	1	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	3																								
Web形式	1																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	4																								
必要な助言が部分的に得られた	1																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全般への助言 ・データヘルス計画の進捗状況 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 5、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑪ E_ 予防・健康づくりに資するシステムの構築

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事業の今後の方向性等</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	3	事業の実施管理	1	事業の評価	3	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事前協議</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	4	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	0	その他	1
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	3																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	4																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	0																								
その他	1																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	4	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	2	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	4																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	2																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全般への助言 ・データ分析・効果検証 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 5、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑫地域の企業や大学等と都道府県単位の健康課題等を共有し実施する先進的な予防・健康づくり事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	3	事業の実施方法	3	事業の実施管理	1	事業の評価	3	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	2	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	1	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	3																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	3																								
その他	0																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	2																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	1																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	2	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	1	必要な助言が部分的に得られた	2	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	2																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	1																								
必要な助言が部分的に得られた	2																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 3、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（都道府県）

⑬無関心層を対象にして取り組む先進的な保健事業

（単位：都道府県）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	0	事業の実施方法	3	事業の実施管理	1	事業の評価	3	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	数	(会議体)委員会	3	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	2	その他	0
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	0																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	3																								
その他	0																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	3																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	数	対面形式	3	Web形式	2	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	1	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	3																								
Web形式	2																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	1																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：都道府県 回答数：支援・評価委員会による支援 4、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

その他の支援事業については以下の通り。

※事業名のみで支援内容等の記載がないものについては支援事業としてカウントしていない。

No.	その他 事業内容	都道府県数
支援・評価委員会による支援		
1	データ分析によるハイリスク者抽出及びハイリスクアプローチ	1
2	国民健康保険医療費適正化推進事業	1
3	CKD対策推進事業	1
4	FGMを活用した糖尿病重症化予防事業	1
5	ICTを活用した糖尿病発症予防事業	1
6	ポリファーマシー対策に向けた多職種連携推進事業	1
7	医薬品の適正使用推進事業	1
8	栄養士登録・派遣事業	1
9	県国保ヘルスアップ支援事業について	1
10	国民健康保険等医療費現況調査事業	1
11	在宅保健師会による市町支援事業	1
12	市町村が実施する保健事業への専門職等の派遣や支援の仕組みづくり	1
13	専門職による骨折予防対策に係る保健指導研修	1
14	特定保健指導等オンラインシステム実証事業	1
15	服薬適正化保険者支援業務	1
16	薬剤師による市町支援事業	1
17	予防・健康づくりの周知・啓発	1
支援・評価委員会以外による支援		
	なし	

支援・評価委員会等の支援状況

(1) 国保 ②市町村国保

<保険者票より集計>

集計の内容

○事業別支援数

○ヘルスアップ事業についての支援数、先進的かつ効果的なモデル事業への支援数

○事業総合計

- ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
- ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象

○事業別

- ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
- ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象

①データヘルス計画策定

国保一般事業

- ②健康教育
- ③健康相談
- ④歯科にかかる保健事業
- ⑤地域包括ケアの視点を踏まえた保健事業
- ⑥保険者独自の取組

生活習慣病予防対策

- ⑦特定健診未受診者対策
- ⑧特定保健指導未利用者対策
- ⑨40歳未満早期介入保健指導事業
- ⑩特定健診継続受診対策等
- ⑪その他生活習慣病予防対策

生活習慣病重症化予防対策

- ⑫生活習慣病等重症化予防
- ⑬糖尿病性腎症重症化予防
- ⑭保健指導

重複・頻回受診者に対する対策

- ⑮重複・頻回受診者に対する保健指導
- ⑯重複・多剤服薬者に対する保健指導

PHRの利活用を推進する取組

- ⑰PHRを利活用した保健事業

○その他の事業内容

○今後の助言への要望（支援・評価委員会による支援）

○支援・評価委員会以外に支援を求めた理由（支援・評価委員会以外による支援）

支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）の概要

＜支援・評価委員会の支援＞

- 事業別の支援状況は「特定健診未受診者対策」、「糖尿病性腎症重症化予防」、「生活習慣病等重症化予防」の順が多かった。
- 助言の対象については、全体では「事業の実施方法」が最も多かった。一方で、事業別では、「データヘルス計画策定」で、「事業の評価」が「事業の実施方法」を大きく上回っており、計画策定後の評価に対する支援が求められていた。
- 助言の方法については、全体では「文書等」が最も多かった。事業別では「データヘルス計画策定」で「文書等」が突出して多い一方、「糖尿病性腎症重症化予防」では、「対面形式」が最多となり、事業の特性に応じて支援方法が使い分けられていた。
- 多くの事業で「必要な助言が十分に得られた」、「部分的に得られた」が多数を占め、支援に対する満足度は高かった。一方で、事業別では「重複・多剤服薬者に対する保健指導」で「助言があまり得られなかった・得られなかった」と回答した割合が18.4%（76件中14件）と他の事業に比べ高かった。
- 今後の助言の要望として、多くの事業で「継続支援・同様の支援」、「情報共有・好事例共有」があげられた。具体的には、個別支援や研修会の継続実施、今後も同様の支援を希望するといった意見が多かった。また、先進的な事例や効果的な事例の共有、グループワーク等での情報交換の場への期待も高かった。

＜支援・評価委員会以外の支援＞

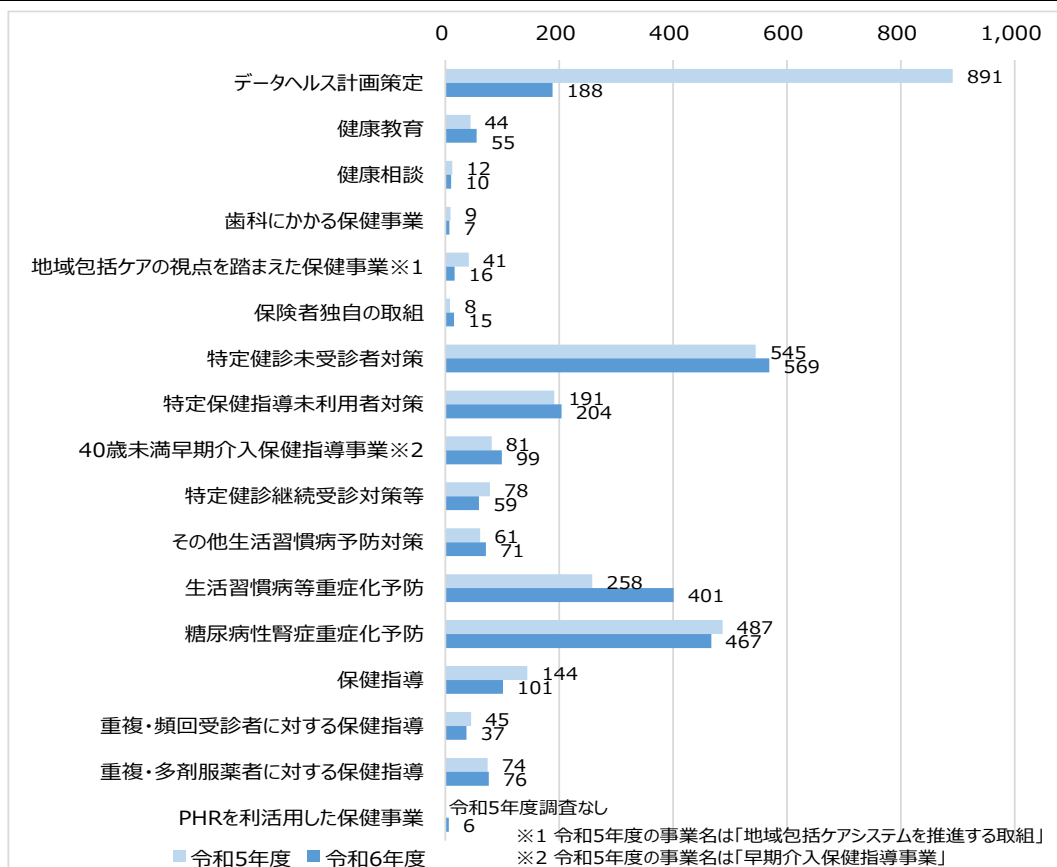
- 事業別の支援状況は「糖尿病性腎症重症化予防」が最も多かった。地域の糖尿病の対策会議や医師会等、より専門的な機関へ助言を求める傾向に、支援・評価委員会の支援との違いが見られた。
- 「支援・評価委員会以外」に助言を求めた機関については、「国保連合会」、「国保運営協議会」、「医師会」の順が多かった。一方で、事業によって偏りも見られ、「重複・多剤服薬者に対する保健指導」では薬剤師会、「糖尿病性腎症重症化予防」では地域・市町村の糖尿病対策会議等で最も多くなっており、事業の専門性に応じた機関が選定されていた。
- 「支援・評価委員会以外」に助言を求める理由として、「事業・実施方法への助言を得たい」とした回答が最も多かった。また、専門的な知見（専門医・薬剤師等）や地域の実情に即した助言があげられており、支援・評価委員会の支援だけでは満たせないニーズも存在していた。

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

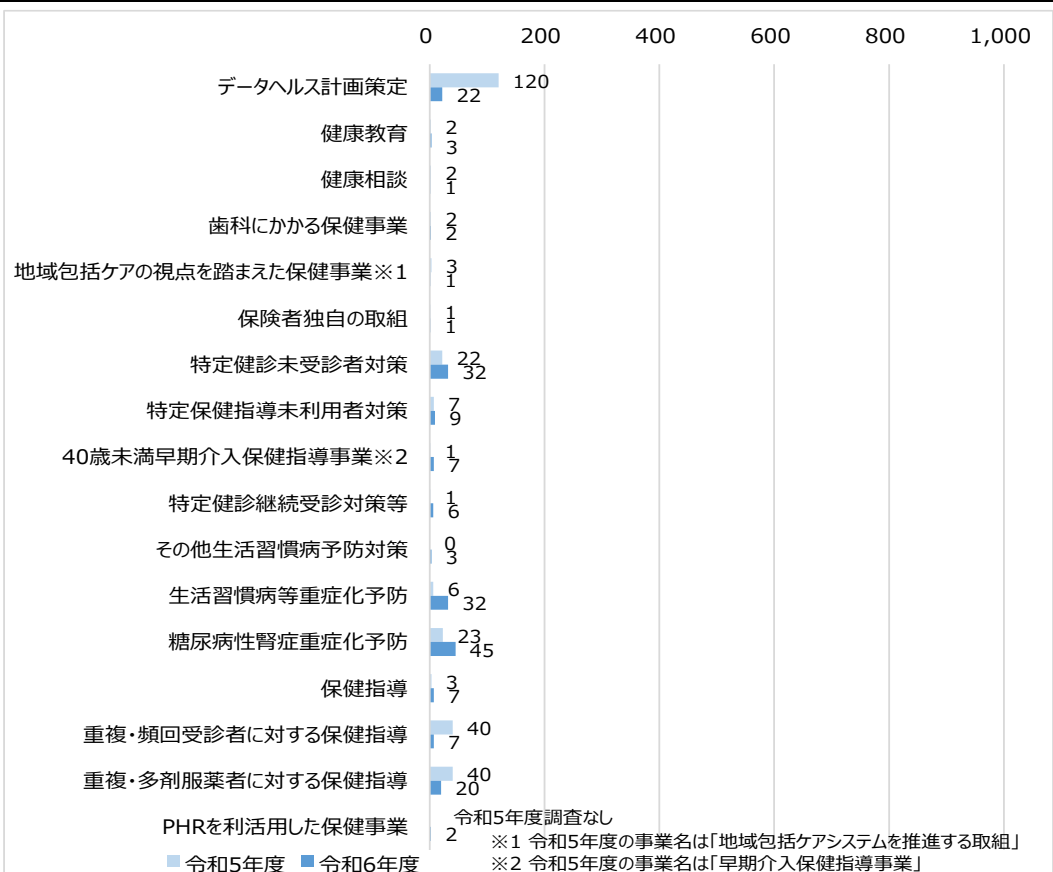
<事業別支援数>

（単位：市町村国保）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会以外による支援



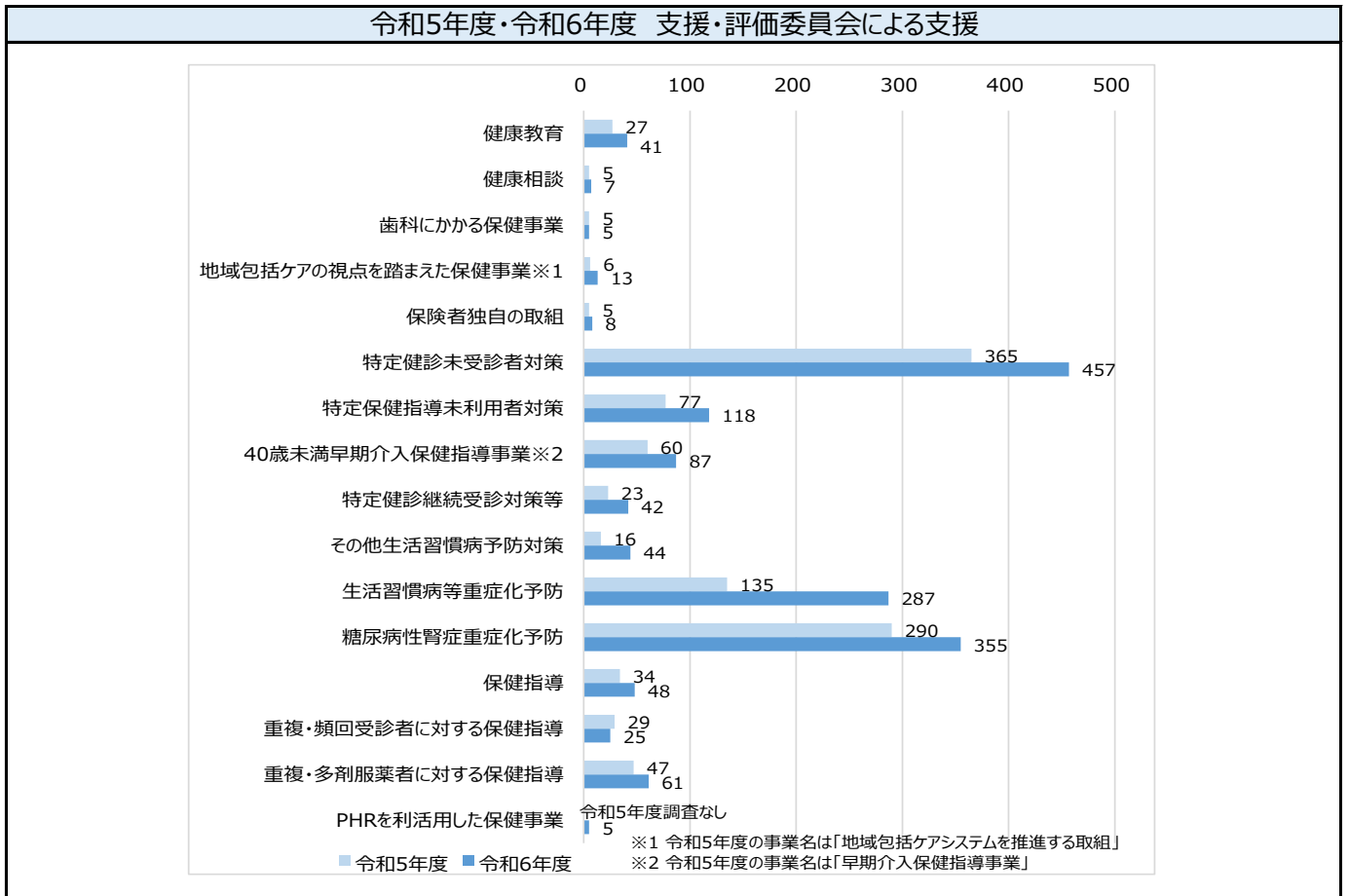
調査対象：市町村国保 回答数：令和5年度 1,185、令和6年度 985

（複数回答）

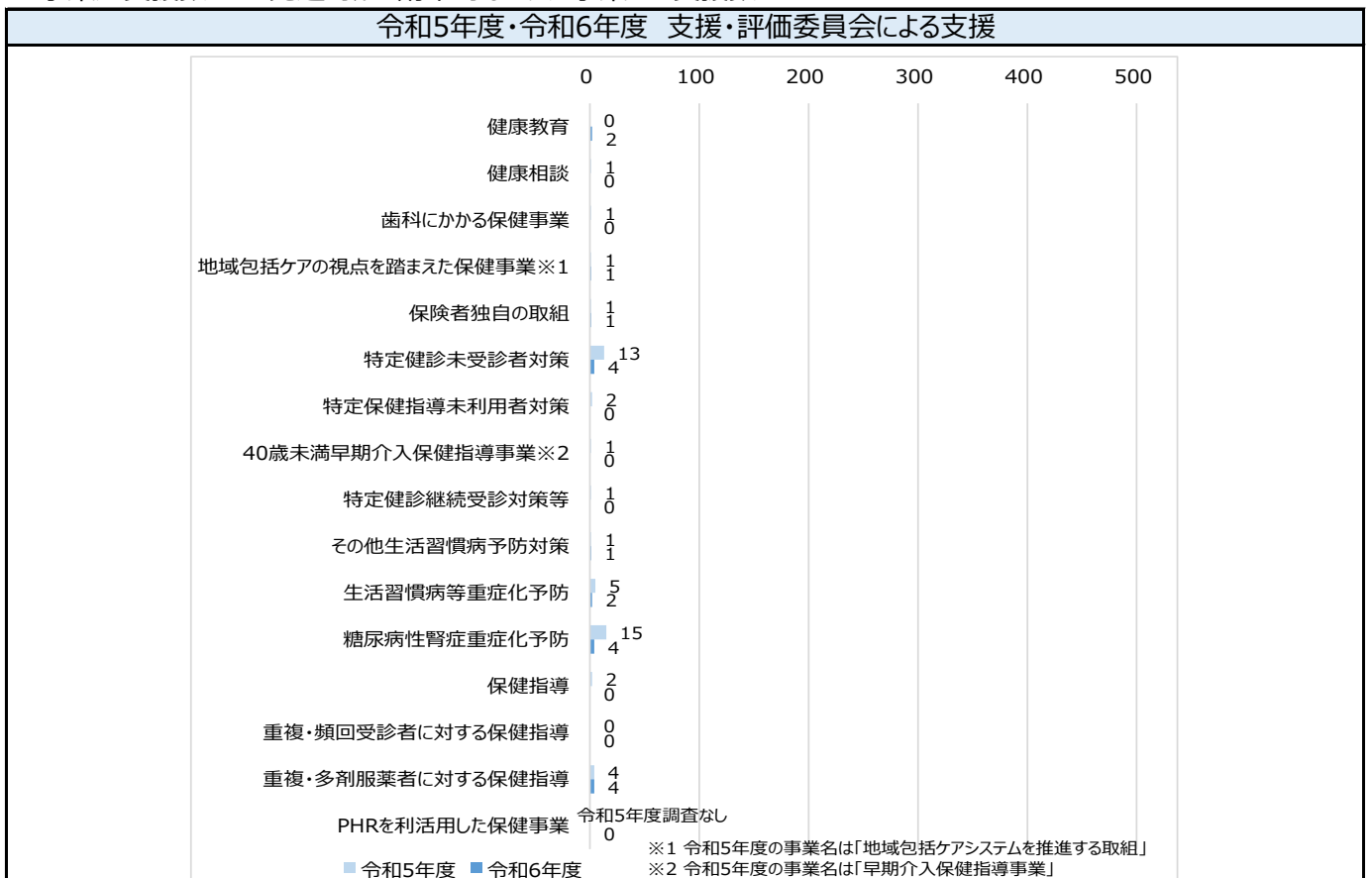
令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

＜事業別支援数のうちヘルスアップ事業についての支援数＞

（単位：市町村国保）



＜事業別支援数のうち先進的かつ効果的なモデル事業への支援数＞



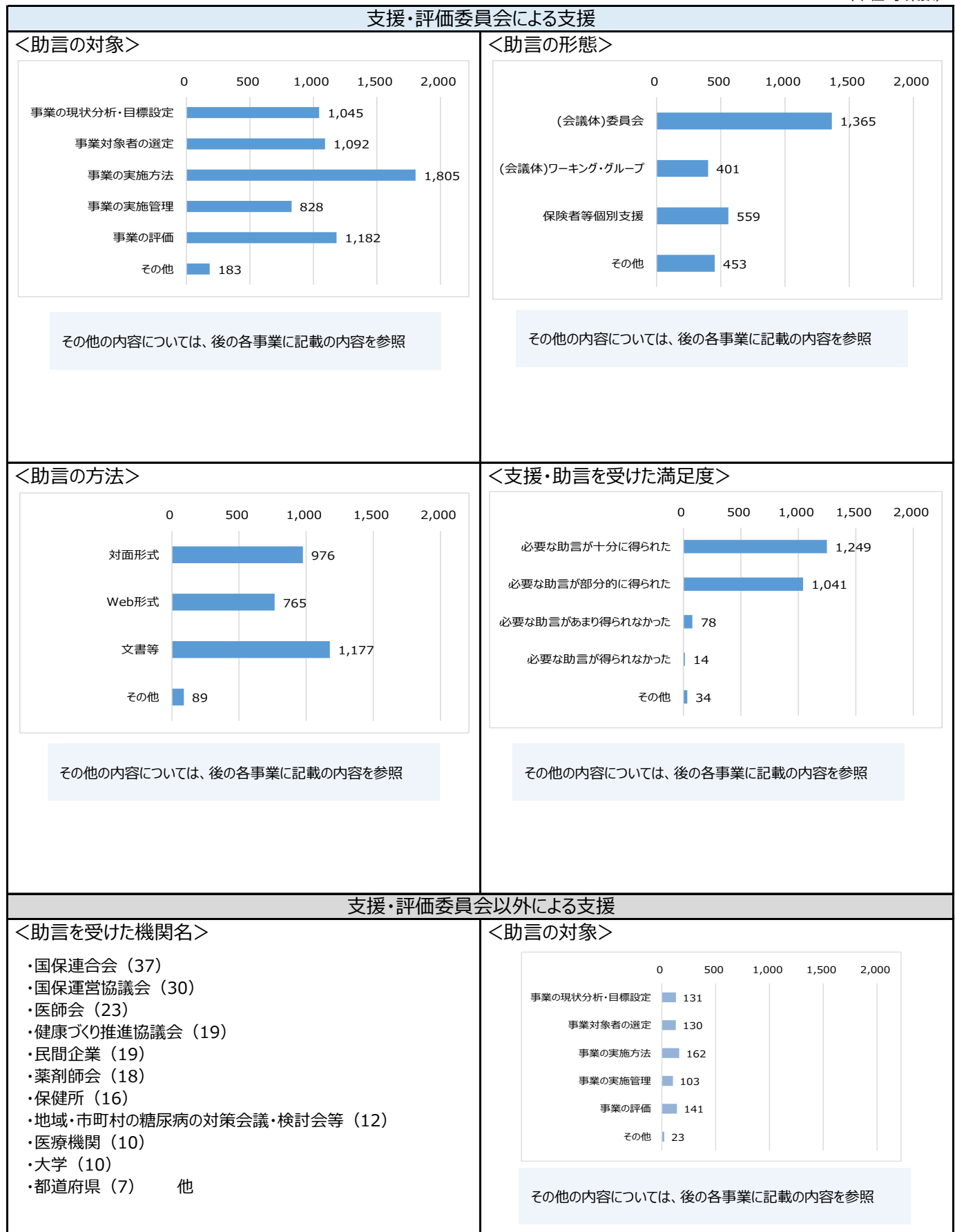
調査対象：市町村国保 回答数：令和5年度 1,185、令和6年度 985

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

事業総合計

（単位：事業数）



調査対象：市町村国保 回答数：985

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

①データヘルス計画策定

（※その他に記載されたデータヘルス計画関連については、「①データヘルス計画策定」に含めて集計）

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内・関係機関との連携について（2） ・PDCAの見直し（2） 	助言の対象	件数	事業の現状分析・目標設定	112	事業対象者の選定	75	事業の実施方法	85	事業の実施管理	99	事業の評価	157	その他	6	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（21） ・文書助言（20） ・基本支援（8） 	助言の形態	件数	(会議体)委員会	99	(会議体)ワーキング・グループ	17	保険者等個別支援	53	その他	47
助言の対象	件数																								
事業の現状分析・目標設定	112																								
事業対象者の選定	75																								
事業の実施方法	85																								
事業の実施管理	99																								
事業の評価	157																								
その他	6																								
助言の形態	件数																								
(会議体)委員会	99																								
(会議体)ワーキング・グループ	17																								
保険者等個別支援	53																								
その他	47																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（11） ・電話 	助言の方法	件数	対面形式	38	Web形式	52	文書等	140	その他	14	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考になる意見が得られた ・他市の取組など紹介があり参考となった 	支援・助言を受けた満足度	件数	必要な助言が十分に得られた	102	必要な助言が部分的に得られた	84	必要な助言があまり得られなかった	4	必要な助言が得られなかった	0	その他	2		
助言の方法	件数																								
対面形式	38																								
Web形式	52																								
文書等	140																								
その他	14																								
支援・助言を受けた満足度	件数																								
必要な助言が十分に得られた	102																								
必要な助言が部分的に得られた	84																								
必要な助言があまり得られなかった	4																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	2																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会（9） ・国保運営協議会（6） ・保健所（3） ・健康づくり推進協議会（3） ・医師会（2） ・民間企業（2） ・保健福祉事務所 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析 ・不足データの作成と個別支援における内容確認 	助言の対象	件数	事業の現状分析・目標設定	17	事業対象者の選定	7	事業の実施方法	10	事業の実施管理	8	事業の評価	17	その他	2										
助言の対象	件数																								
事業の現状分析・目標設定	17																								
事業対象者の選定	7																								
事業の実施方法	10																								
事業の実施管理	8																								
事業の評価	17																								
その他	2																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 188、支援・評価委員会以外による支援 22

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

②健康教育

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別も年代も様々な集団に対し健康教育をする際の留意すべき点やポイント ・健康教育の一環として、生活習慣病予防に重点を置いた健康づくりに関する情報提供 ・指導者の力量形成 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	23	事業対象者の選定	18	事業の実施方法	33	事業の実施管理	12	事業の評価	25	その他	3	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書助言（7） ・研修会（3） 	助言の形態	数	(会議体)委員会	36	(会議体)ワーキング・グループ	6	保険者等個別支援	11	その他	11
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	23																								
事業対象者の選定	18																								
事業の実施方法	33																								
事業の実施管理	12																								
事業の評価	25																								
その他	3																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	36																								
(会議体)ワーキング・グループ	6																								
保険者等個別支援	11																								
その他	11																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	数	対面形式	26	Web形式	24	文書等	19	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健康教育では、性差や年齢にこだわらず一般的な教育をすること ・個別性に関しては健診後の個別声掛けで実施するといいと助言を受けた ・きっちり分析され、内容も的確であるとの助言 	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	33	必要な助言が部分的に得られた	20	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	1	その他	2		
助言の方法	数																								
対面形式	26																								
Web形式	24																								
文書等	19																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	33																								
必要な助言が部分的に得られた	20																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	2																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会 ・市のデータヘルス計画推進委員会 ・保健所 ・医療機関 ・都道府県 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	2	事業の実施管理	2	事業の評価	2	その他	0										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	2																								
事業の評価	2																								
その他	0																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 55、支援・評価委員会以外による支援 3

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

③健康相談

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																																																																																					
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	100	200	300	400	500	事業の現状分析・目標設定	7						事業対象者の選定	6						事業の実施方法	8						事業の実施管理	5						事業の評価	6						その他	0						<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】 ・文書助言</p>		0	100	200	300	400	500	(会議体)委員会	8						(会議体)ワーキング・グループ	0						保険者等個別支援	2						その他	1					
	0	100	200	300	400	500																																																																															
事業の現状分析・目標設定	7																																																																																				
事業対象者の選定	6																																																																																				
事業の実施方法	8																																																																																				
事業の実施管理	5																																																																																				
事業の評価	6																																																																																				
その他	0																																																																																				
	0	100	200	300	400	500																																																																															
(会議体)委員会	8																																																																																				
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																																																				
保険者等個別支援	2																																																																																				
その他	1																																																																																				
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	100	200	300	400	500	対面形式	2						Web形式	1						文書等	7						その他	0						<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	100	200	300	400	500	必要な助言が十分に得られた	6						必要な助言が部分的に得られた	4						必要な助言があまり得られなかった	0						必要な助言が得られなかった	0						その他	0												
	0	100	200	300	400	500																																																																															
対面形式	2																																																																																				
Web形式	1																																																																																				
文書等	7																																																																																				
その他	0																																																																																				
	0	100	200	300	400	500																																																																															
必要な助言が十分に得られた	6																																																																																				
必要な助言が部分的に得られた	4																																																																																				
必要な助言があまり得られなかった	0																																																																																				
必要な助言が得られなかった	0																																																																																				
その他	0																																																																																				
支援・評価委員会以外による支援																																																																																					
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所 ・医療機関 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>10</th> <th>20</th> <th>30</th> <th>40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	10	20	30	40	事業の現状分析・目標設定	1					事業対象者の選定	0					事業の実施方法	0					事業の実施管理	0					事業の評価	0					その他	0																																														
	0	10	20	30	40																																																																																
事業の現状分析・目標設定	1																																																																																				
事業対象者の選定	0																																																																																				
事業の実施方法	0																																																																																				
事業の実施管理	0																																																																																				
事業の評価	0																																																																																				
その他	0																																																																																				

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 10、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

④ 歯科にかかる保健事業

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援								
＜助言の対象＞			＜助言の形態＞					
	0	100	200	300	400	500		
事業の現状分析・目標設定	5							
事業対象者の選定	5							
事業の実施方法	5							
事業の実施管理	2							
事業の評価	4							
その他	0							
＜助言の方法＞			＜支援・助言を受けた満足度＞					
	0	100	200	300	400	500		
対面形式	1							
Web形式	2							
文書等	3							
その他	1							
<p>【その他の主な内容】</p> <p>・助言はなかった</p>								
支援・評価委員会以外による支援								
＜助言を受けた機関名＞			＜助言の対象＞					
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所 ・医療機関 ・歯科医師会 ・国保運営協議会 ・健康づくり推進協議会 				0	10	20	30	40
			事業の現状分析・目標設定	2				
			事業対象者の選定	0				
			事業の実施方法	1				
			事業の実施管理	0				
			事業の評価	1				
			その他	0				

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 7、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑤地域包括ケアの視点を踏まえた保健事業

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	12	事業対象者の選定	7	事業の実施方法	11	事業の実施管理	7	事業の評価	12	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・文書助言（2） ・研修会</p>	助言の形態	数	(会議体)委員会	10	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	5	その他	3
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	12																								
事業対象者の選定	7																								
事業の実施方法	11																								
事業の実施管理	7																								
事業の評価	12																								
その他	0																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	10																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	5																								
その他	3																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会</p>	助言の方法	数	対面形式	3	Web形式	6	文書等	12	その他	1	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	6	必要な助言が部分的に得られた	9	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	3																								
Web形式	6																								
文書等	12																								
その他	1																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	6																								
必要な助言が部分的に得られた	9																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所 ・医療機関 ・国保運営協議会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	1	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	1	事業の実施管理	1	事業の評価	1	その他	0										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	1																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	1																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	1																								
その他	0																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 16、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑥保険者独自の取組

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携 ・事例発表による情報提供 	対象	数	事業の現状分析・目標設定	6	事業対象者の選定	3	事業の実施方法	10	事業の実施管理	2	事業の評価	6	その他	2	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（4） ・事例（2） ・文書助言 	形態	数	(会議体)委員会	7	(会議体)ワーキング・グループ	2	保険者等個別支援	1	その他	7
対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	6																								
事業対象者の選定	3																								
事業の実施方法	10																								
事業の実施管理	2																								
事業の評価	6																								
その他	2																								
形態	数																								
(会議体)委員会	7																								
(会議体)ワーキング・グループ	2																								
保険者等個別支援	1																								
その他	7																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	方法	数	対面形式	6	Web形式	8	文書等	4	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	数	必要な助言が十分に得られた	6	必要な助言が部分的に得られた	9	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
方法	数																								
対面形式	6																								
Web形式	8																								
文書等	4																								
その他	0																								
満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	6																								
必要な助言が部分的に得られた	9																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <p>・保健福祉事務所</p>	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	対象	数	事業の現状分析・目標設定	1	事業対象者の選定	0	事業の実施方法	1	事業の実施管理	0	事業の評価	1	その他	0										
対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	1																								
事業対象者の選定	0																								
事業の実施方法	1																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	1																								
その他	0																								

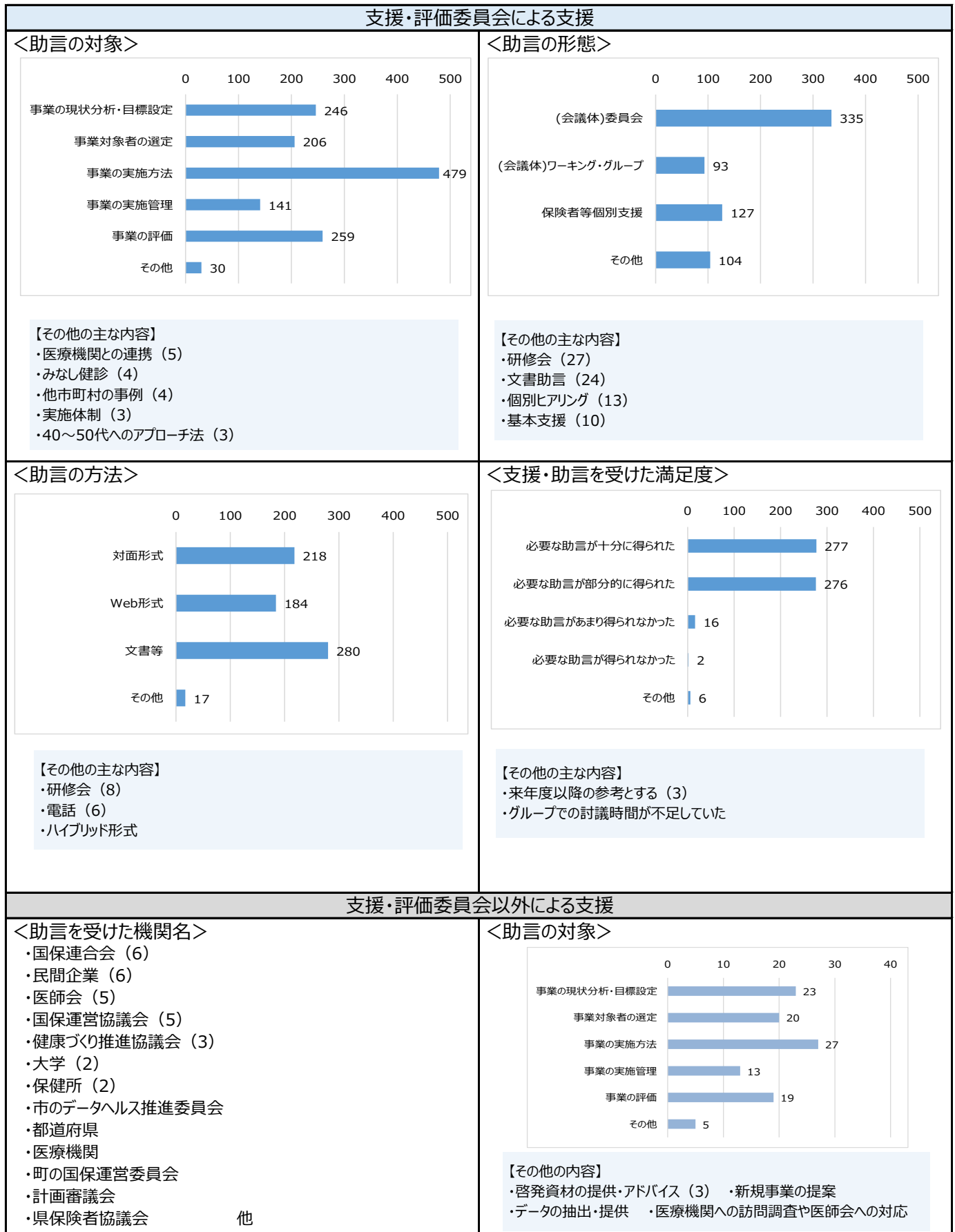
調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 15、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑦特定健診未受診者対策

（単位：市町村国保）



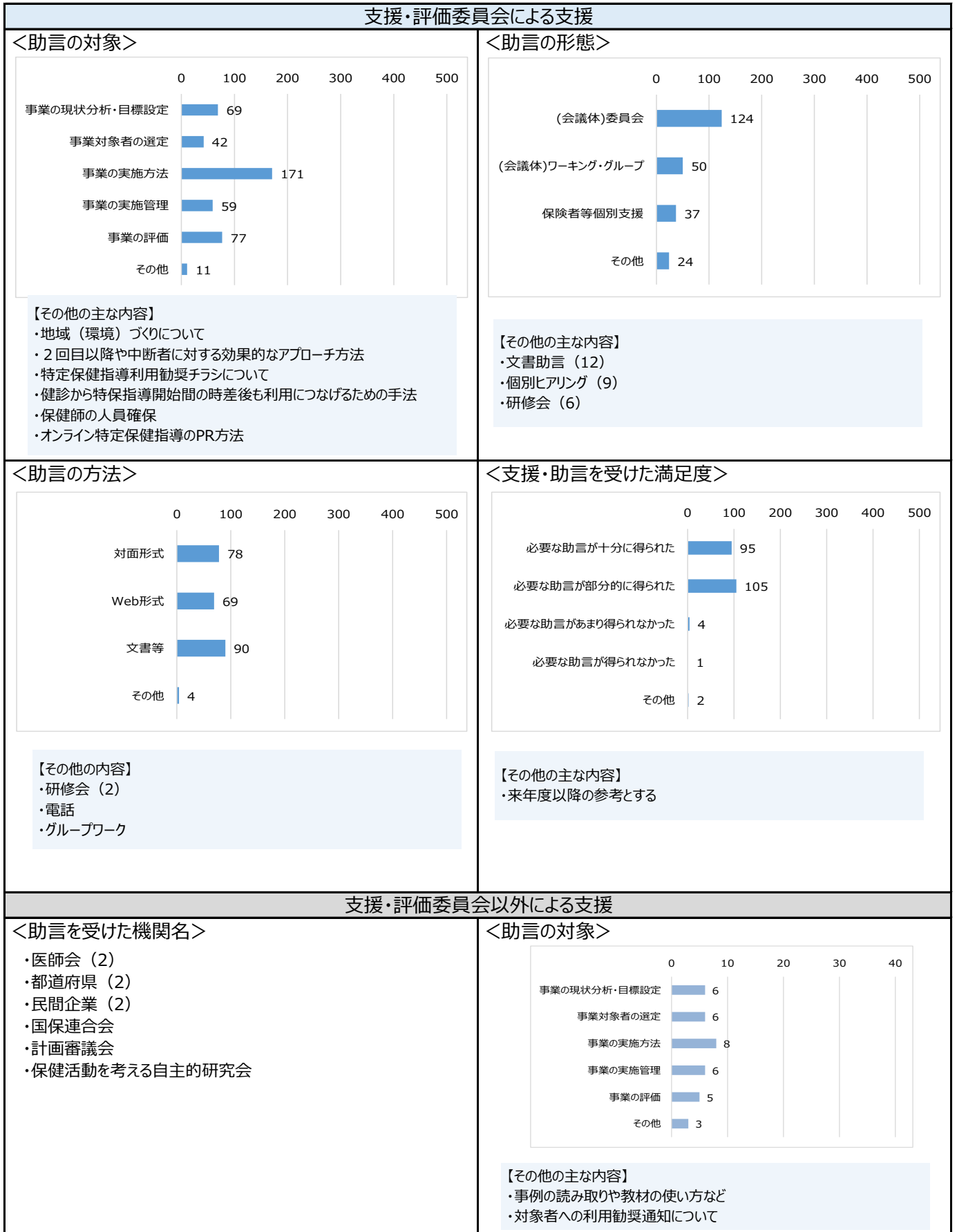
調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 569、支援・評価委員会以外による支援 32

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑧特定保健指導未利用者対策

（単位：市町村国保）



調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 204、支援・評価委員会以外による支援 9

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑨40歳未満早期介入保健指導事業

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携体制構築 ・勧奨通知の内容について ・働き世代への働きかけや協会けんぽとの連携 ・保健指導方法 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	50	事業対象者の選定	49	事業の実施方法	83	事業の実施管理	39	事業の評価	46	その他	5	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書助言（24） ・個別ヒアリング（5） ・研修会（13） 	助言の形態	数	(会議体)委員会	46	(会議体)ワーキング・グループ	8	保険者等個別支援	22	その他	42
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	50																								
事業対象者の選定	49																								
事業の実施方法	83																								
事業の実施管理	39																								
事業の評価	46																								
その他	5																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	46																								
(会議体)ワーキング・グループ	8																								
保険者等個別支援	22																								
その他	42																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（7） 	助言の方法	数	対面形式	32	Web形式	31	文書等	69	その他	7	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	51	必要な助言が部分的に得られた	41	必要な助言があまり得られなかった	5	必要な助言が得られなかった	1	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	32																								
Web形式	31																								
文書等	69																								
その他	7																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	51																								
必要な助言が部分的に得られた	41																								
必要な助言があまり得られなかった	5																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保運営協議会（3） ・国保連合会（2） ・健康づくり推進協議会（2） ・保健所 ・医療機関 ・市のデータヘルス推進委員会 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	5	事業対象者の選定	5	事業の実施方法	5	事業の実施管理	3	事業の評価	6	その他	0										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	5																								
事業対象者の選定	5																								
事業の実施方法	5																								
事業の実施管理	3																								
事業の評価	6																								
その他	0																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 99、支援・評価委員会以外による支援 7

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑩ 特定健診継続受診対策等

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診実施体制の構築について（2） ・プロセス計画による具体的な取組と効果 ・グループワーク 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	34	事業対象者の選定	25	事業の実施方法	48	事業の実施管理	25	事業の評価	35	その他	4	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（6） ・文書助言（5） ・個別ヒアリング（3） 	助言の形態	数	(会議体)委員会	36	(会議体)ワーキング・グループ	9	保険者等個別支援	16	その他	14
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	34																								
事業対象者の選定	25																								
事業の実施方法	48																								
事業の実施管理	25																								
事業の評価	35																								
その他	4																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	36																								
(会議体)ワーキング・グループ	9																								
保険者等個別支援	16																								
その他	14																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（5） ・電話 ・グループワーク 	助言の方法	数	対面形式	27	Web形式	14	文書等	35	その他	7	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	28	必要な助言が部分的に得られた	28	必要な助言があまり得られなかった	4	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	27																								
Web形式	14																								
文書等	35																								
その他	7																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	28																								
必要な助言が部分的に得られた	28																								
必要な助言があまり得られなかった	4																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業（3） ・国保連合会 ・保健所 ・都道府県 ・国保運営協議会 ・特定健診評価検討会 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	5	事業の実施方法	6	事業の実施管理	4	事業の評価	5	その他	0										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	5																								
事業の実施方法	6																								
事業の実施管理	4																								
事業の評価	5																								
その他	0																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 59、支援・評価委員会以外による支援 6

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑪その他生活習慣病予防対策

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	44	事業対象者の選定	43	事業の実施方法	51	事業の実施管理	24	事業の評価	41	その他	0	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（12） ・文書助言（4） ・個別ヒアリング（1） 	助言の形態	数	(会議体)委員会	39	(会議体)ワーキング・グループ	12	保険者等個別支援	16	その他	18
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	44																								
事業対象者の選定	43																								
事業の実施方法	51																								
事業の実施管理	24																								
事業の評価	41																								
その他	0																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	39																								
(会議体)ワーキング・グループ	12																								
保険者等個別支援	16																								
その他	18																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や資料 	助言の方法	数	対面形式	35	Web形式	34	文書等	22	その他	2	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	46	必要な助言が部分的に得られた	25	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	35																								
Web形式	34																								
文書等	22																								
その他	2																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	46																								
必要な助言が部分的に得られた	25																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会 ・保健所 ・民間企業 ・大学 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	1	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	2	事業の実施管理	2	事業の評価	3	その他	0										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	1																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	2																								
事業の評価	3																								
その他	0																								

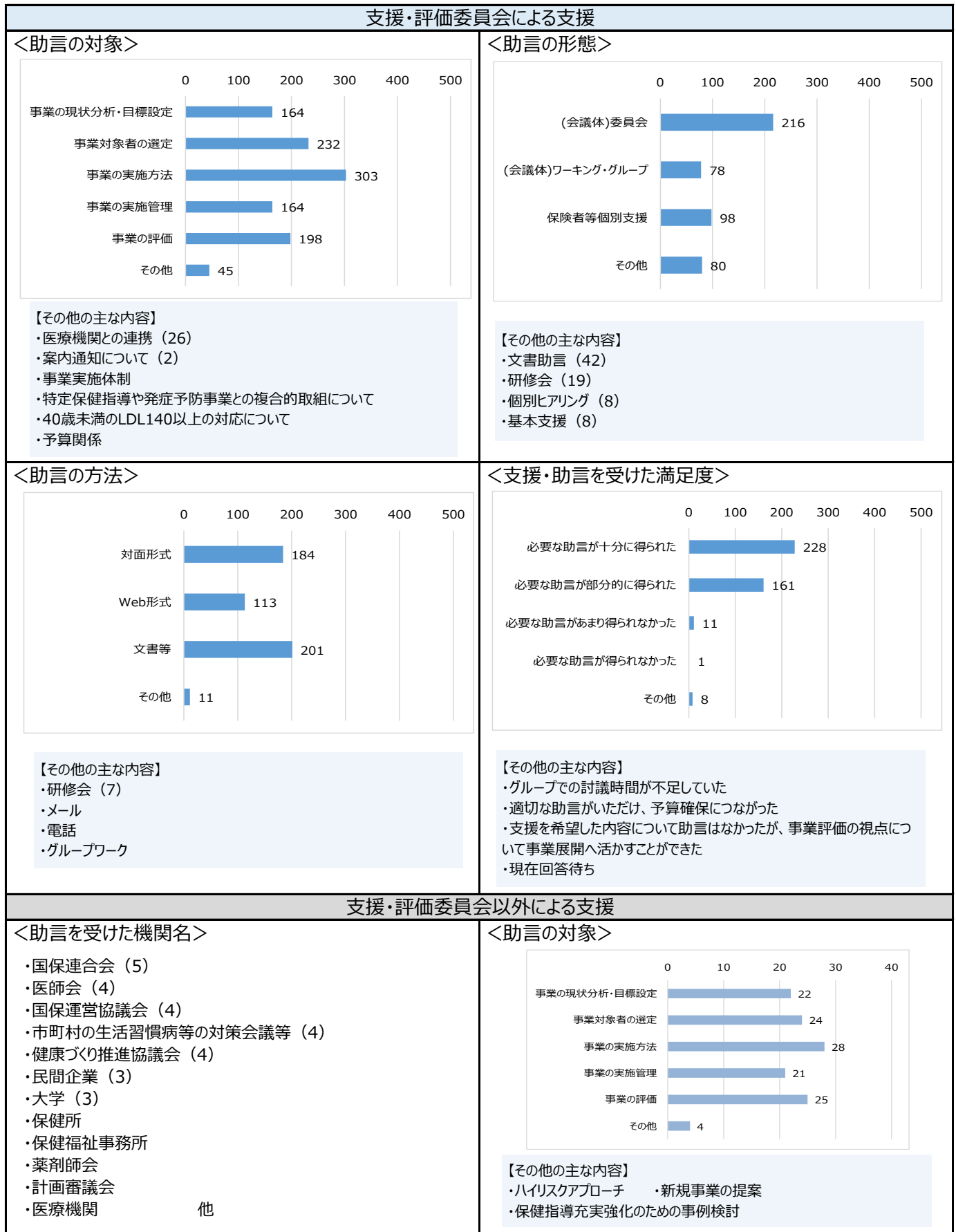
調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 71、支援・評価委員会以外による支援 3

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑫生活習慣病等重症化予防

（単位：市町村国保）



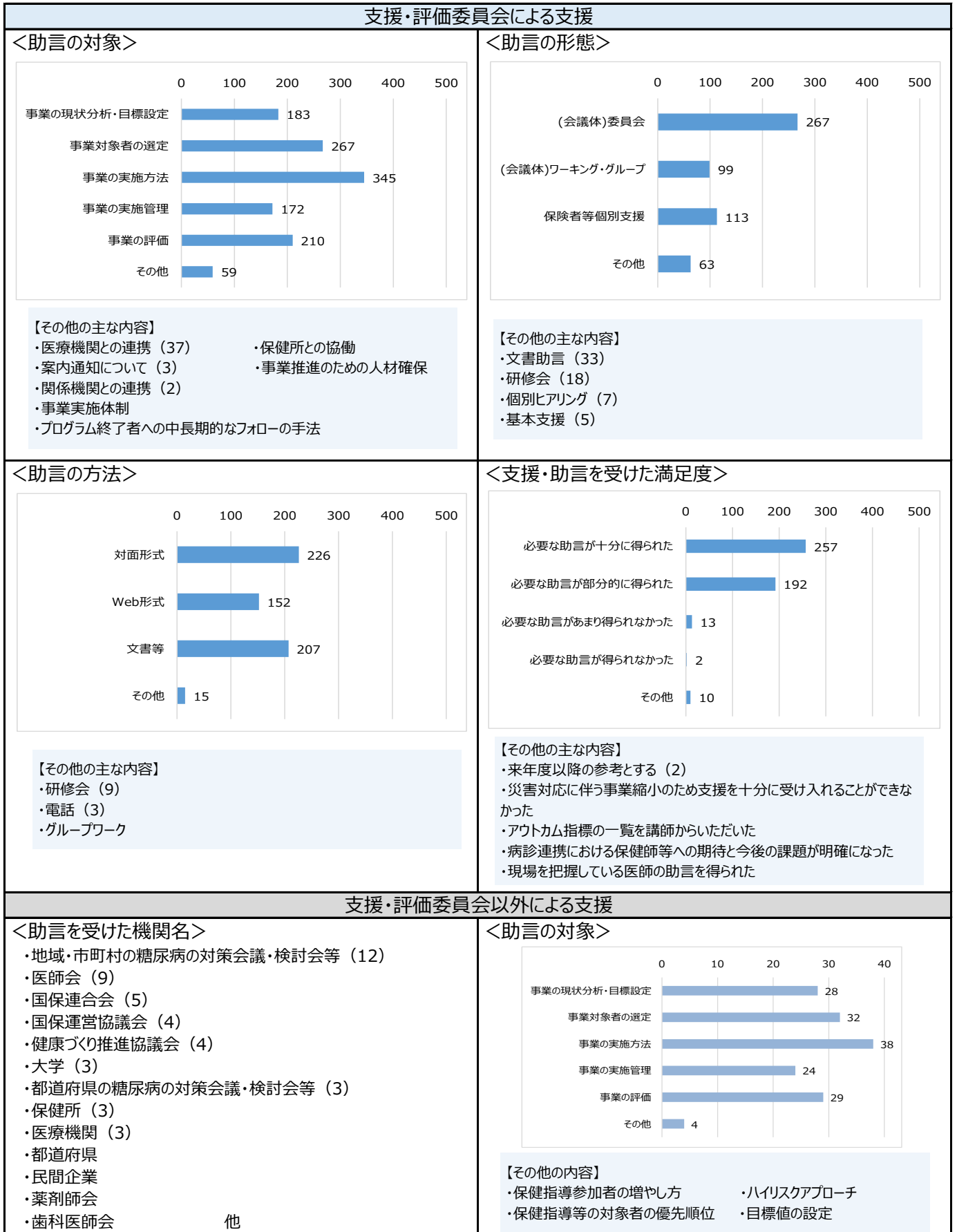
調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 401、支援・評価委員会以外による支援 32

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑬糖尿病性腎症重症化予防

（単位：市町村国保）



調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 467、支援・評価委員会以外による支援 45

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑭保健指導

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の継続性 ・保健指導の力量形成 ・継続利用者からの聞き取り 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	49	事業対象者の選定	41	事業の実施方法	84	事業の実施管理	40	事業の評価	49	その他	3	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（8） ・文書助言（5） ・基本支援（4） 	助言の形態	数	(会議体)委員会	61	(会議体)ワーキング・グループ	14	保険者等個別支援	24	その他	17
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	49																								
事業対象者の選定	41																								
事業の実施方法	84																								
事業の実施管理	40																								
事業の評価	49																								
その他	3																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	61																								
(会議体)ワーキング・グループ	14																								
保険者等個別支援	24																								
その他	17																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会 	助言の方法	数	対面形式	48	Web形式	26	文書等	42	その他	1	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの討議時間が不足していた ・他市町村の体制や力量形成のための研修実施状況を知ることが出来て大変参考になった 	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	60	必要な助言が部分的に得られた	37	必要な助言があまり得られなかった	4	必要な助言が得られなかった	0	その他	2		
助言の方法	数																								
対面形式	48																								
Web形式	26																								
文書等	42																								
その他	1																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	60																								
必要な助言が部分的に得られた	37																								
必要な助言があまり得られなかった	4																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	2																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会（2） ・医師会 ・国保運営協議会 ・健康づくり推進協議会 ・大学 ・保健活動を考える自主的研究会 他 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイスコアプローチ 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	6	事業対象者の選定	6	事業の実施方法	6	事業の実施管理	4	事業の評価	7	その他	1										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	6																								
事業対象者の選定	6																								
事業の実施方法	6																								
事業の実施管理	4																								
事業の評価	7																								
その他	1																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 101、支援・評価委員会以外による支援 7

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑮重複・頻回受診者に対する保健指導

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の展開について ・対象者への関わり方 ・高齢者の特性を踏まえた保健指導について（ガイドライン） 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	11	事業対象者の選定	19	事業の実施方法	28	事業の実施管理	9	事業の評価	20	その他	4	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（2） ・文書助言（1） ・個別ヒアリング 	助言の形態	数	(会議体)委員会	22	(会議体)ワーキング・グループ	5	保険者等個別支援	11	その他	5
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	11																								
事業対象者の選定	19																								
事業の実施方法	28																								
事業の実施管理	9																								
事業の評価	20																								
その他	4																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	22																								
(会議体)ワーキング・グループ	5																								
保険者等個別支援	11																								
その他	5																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（2） ・電話 	助言の方法	数	対面形式	17	Web形式	17	文書等	10	その他	4	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降の参考とする 	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	17	必要な助言が部分的に得られた	15	必要な助言があまり得られなかった	2	必要な助言が得られなかった	1	その他	2		
助言の方法	数																								
対面形式	17																								
Web形式	17																								
文書等	10																								
その他	4																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	17																								
必要な助言が部分的に得られた	15																								
必要な助言があまり得られなかった	2																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	2																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会（3） ・国保連合会（2） ・県保険者協議会 ・国保運営協議会 ・民間企業 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の提案 	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	5	事業の実施方法	7	事業の実施管理	5	事業の評価	6	その他	1										
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	5																								
事業の実施方法	7																								
事業の実施管理	5																								
事業の評価	6																								
その他	1																								

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 37、支援・評価委員会以外による支援 7

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑯重複・多剤服薬者に対する保健指導

（単位：市町村国保）



調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 76、支援・評価委員会以外による支援 20

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（市町村国保）

⑰PHRを利活用した保健事業

（単位：市町村国保）

支援・評価委員会による支援																																																																																					
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	100	200	300	400	500	事業の現状分析・目標設定	2						事業対象者の選定	3						事業の実施方法	5						事業の実施管理	3						事業の評価	4						その他	0						<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書助言 ・研修会 		0	100	200	300	400	500	(会議体)委員会	4						(会議体)ワーキング・グループ	1						保険者等個別支援	2						その他	2					
	0	100	200	300	400	500																																																																															
事業の現状分析・目標設定	2																																																																																				
事業対象者の選定	3																																																																																				
事業の実施方法	5																																																																																				
事業の実施管理	3																																																																																				
事業の評価	4																																																																																				
その他	0																																																																																				
	0	100	200	300	400	500																																																																															
(会議体)委員会	4																																																																																				
(会議体)ワーキング・グループ	1																																																																																				
保険者等個別支援	2																																																																																				
その他	2																																																																																				
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話 ・メール 		0	100	200	300	400	500	対面形式	3						Web形式	3						文書等	3						その他	1						<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>100</th> <th>200</th> <th>300</th> <th>400</th> <th>500</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	100	200	300	400	500	必要な助言が十分に得られた	3						必要な助言が部分的に得られた	1						必要な助言があまり得られなかった	1						必要な助言が得られなかった	1						その他	0												
	0	100	200	300	400	500																																																																															
対面形式	3																																																																																				
Web形式	3																																																																																				
文書等	3																																																																																				
その他	1																																																																																				
	0	100	200	300	400	500																																																																															
必要な助言が十分に得られた	3																																																																																				
必要な助言が部分的に得られた	1																																																																																				
必要な助言があまり得られなかった	1																																																																																				
必要な助言が得られなかった	1																																																																																				
その他	0																																																																																				
支援・評価委員会以外による支援																																																																																					
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県 ・医師会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>10</th> <th>20</th> <th>30</th> <th>40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	10	20	30	40	事業の現状分析・目標設定	0					事業対象者の選定	1					事業の実施方法	2					事業の実施管理	1					事業の評価	1					その他	0																																														
	0	10	20	30	40																																																																																
事業の現状分析・目標設定	0																																																																																				
事業対象者の選定	1																																																																																				
事業の実施方法	2																																																																																				
事業の実施管理	1																																																																																				
事業の評価	1																																																																																				
その他	0																																																																																				

調査対象：市町村国保 回答数：支援・評価委員会による支援 6、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

その他の支援事業については以下の通り。

※事業名のみで支援内容等の記載がないものについては支援事業としてカウントしていない。

その他に記載されたデータヘルス計画関連については、上記の「①データヘルス計画策定」に含めて集計。

No.	その他 事業内容	市町村国保数
支援・評価委員会による支援		
1	骨折予防対策事業	14
2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	10
3	特定保健指導事業	8
4	特定健診受診率向上対策	4
5	高血圧重症化予防事業	2
6	後発医薬品の普及・啓発事業	2
7	受診勧奨判定値を超えているものへの受診勧奨	2
8	がん検診受診率向上事業（大腸がん検診）	1
9	医療と保健の連携	1
10	医療機関受診勧奨	1
11	健康づくり・インセンティブ	1
12	健康寿命延伸のための包括的啓発事業	1
13	健診結果提供促進事業	1
14	個別保健事業	1
15	高血圧症受診勧奨事業	1
16	脂質異常症受診勧奨事業	1
17	重症化予防事業	1
18	重複服薬患者への指導事業	1
19	情報提供事業	1
20	地域いきいきライフ推進事業	1
21	糖尿病未治療者及び治療中断者への受診勧奨	1
22	標準データセットの提供	1
23	慢性腎臓病（CKD）重症化予防	1
支援・評価委員会以外による支援		
1	がん検診受診勧奨	1
2	国保ヘルスアップ事業 OJT研修	1

「支援・評価委員会による支援」の記述形式部分「今後の助言への要望」について、事業ごとに分類し多かった意見をまとめた。

※回答のあった意見を集計作業にて分類。意見が複数の分類にまたがる場合はそれぞれの分類毎でカウントしている。

No.	事業内容	分類	主な内容（要約）
1	①データヘルス計画策定	中間評価に向けた助言（18）	○中間評価のポイントや準備が必要な点 ○評価指標の整理 ○経年データの評価方法
2		継続支援・同様の支援（12）	○今後も同様の助言 ○継続的な支援 ○研修会・資料等の継続提供
3		個別保健事業の事業評価（8）	○個別保健事業の評価等についての助言 ○評価がしやすい指標の提示
4		情報共有・好事例の共有（6）	○他市町の好事例紹介 ○グループワーク・情報共有の場の希望
5	②健康教育	継続支援・同様の支援（5）	○今後も同様の助言 ○研修会の継続
6		情報共有・好事例の共有（3）	○同事業（健康教育）でのグループワーク ○他の保険者や団体との連携等の事例
7	③健康相談	情報共有・好事例の共有（2）	○同規模区分等の先進的事例・好事例等の共有
8	④歯科にかかる保健事業	関係機関との連携（2）	○県や歯科医師会との連携について
9	⑤地域包括ケアの視点を踏まえた保健事業	効果的・効率的な実施方法（1）	○ロコモ予防の教室の効果的な通知物について
10	⑥保険者独自の取組	その他	○若年層の参加率向上に関する助言
11	⑦特定健診未受診者対策	情報共有・好事例の共有（52）	○他市町村の好事例 ○先駆的な取組 ○グループワーク・情報共有の充実
12		継続支援・同様の支援（30）	○今後も同様の助言 ○継続的な支援
13		効果的・効率的な実施方法（27）	○マンパワーや費用がかからない効果的な受診勧奨方法 ○若年層や無関心層への効果的な受診勧奨方法
14		個別・対面支援等支援方法（9）	○Web形式での開催 ○書面参加 ○対面方式での時間配分
15		事業評価・評価指標（8）	○ストラクチャー指標及びプロセス指標 ○評価の視点に関する助言
16		関係機関との連携（7）	○保健所と協力したデータ整理 ○医師会との連携
17	⑧特定保健指導未利用者対策	情報共有・好事例の共有（17）	○利用率向上が図られた取組等の情報 ○先進的・効果的なモデルの紹介
18		効果的・効率的な実施方法（7）	○データをポピュレーションに効果的活用する方法 ○未利用者の方への効果的な声かけ
19	⑨40歳未満早期介入保健指導事業	継続支援・同様の支援（6）	○相談する場があるのがありがたい
20		効果的・効率的な実施方法（6）	○効果的な若年層への保健指導方法
21	⑩特定健診継続受診対策等	継続支援・同様の支援（4）	○今後も同様の助言
22		情報共有・好事例の共有（4）	○受診率向上に向けた効果的な取組事例 ○同規模区分等の先進的事例・好事例
23	⑪その他生活習慣病予防対策	情報共有・好事例の共有（5）	○県外の同規模市町村の事例 ○事例についてのワーキングやグループ学習
24		継続支援・同様の支援（3）	○今後も同様の研修会を希望
25	⑫生活習慣病等重症化予防	継続支援・同様の支援（20）	○他市町村との比較資料の継続提供
26		情報共有・好事例の共有（15）	○対象者の抽出基準や優先順位づけについて他市町村の取組例 ○情報交換での議事録の共有
27		効果的・効率的な実施方法（13）	○ポピュレーションアプローチを組合わせた効果的な対策 ○マンパワーに合わせた効果的な保健指導
28		関係機関との連携（7）	○リスクの重複がある場合の医師との連携方法
29		事業評価・評価指標（7）	○評価方法についての専門的な助言

「支援・評価委員会による支援」の記述形式部分「今後の助言への要望」について、事業ごとに分類し多かった意見をまとめた。

※回答のあった意見を集計作業にて分類。意見が複数の分類にまたがる場合はそれぞれの分類毎でカウントしている。

No.	事業内容	分類	主な内容（要約）
30	⑬糖尿病性腎症重症化予防	継続支援・同様の支援（45）	○個別支援の継続 ○研修会の継続 ○多方面からの専門的な助言
31		情報共有・好事例の共有（25）	○保健所や他市町村との情報共有 ○医療機関と連携した効果的な事例 ○新規の人工透析患者数を減らす効果的な事業事例
32		関係機関との連携（17）	○医師会等医療連携 ○多職種連携の重要性やノウハウ
33		事業評価・評価指標（10）	○長期的な評価指標や評価方法 ○前後評価・中長期的評価について統計分析の指標
34		効果的・効率的な実施方法（10）	○意識改善等に効果的なアプローチ ○健診未受診者の中で人工透析になりそうなハイリスクの方を抽出し介入する方法
35		個別・対面支援等支援方法（8）	○市の現状に見合った助言 ○個別支援の希望
36	⑭保健指導	継続支援・同様の支援（11）	○専門的かつ具体的な助言の継続
37	⑮重複・頻回受診者に対する保健指導	その他	○実際うまくいっていない部分についての具体的な助言
38	⑯重複・多剤服薬者に対する保健指導	情報共有・好事例の共有（5）	○事例集やマニュアル等希望 ○他市町村の運営を情報交換する場
39		関係機関との連携（3）	○各医療機関へ重複多剤服薬の取組の周知を行ってほしい
40		個別・対面支援等支援方法（2）	○市の課題についての個別支援 ○個別性に沿った具体的な助言
41	⑰PHRを利活用した保健事業	情報共有・好事例の共有（2）	○実施市町村からの情報提供

「支援・評価委員会以外による支援」記述形式部分「支援・評価委員会以外に助言を求めた理由」について、事業ごとに分類し多かった意見をまとめた。

※回答のあった意見を集計作業にて分類。意見が複数の分類にまたがる場合はそれぞれの分類毎でカウントしている。

No.	事業内容	分類	主な内容（要約）
1	①データヘルス計画策定	事業・実施方法への助言（9）	○データ作成方法、分析、評価方法を学びたい
2		都道府県・市町村の会議体等（5）	○市が開催する会議において医師会等から助言をもらえる
3		連携強化・情報共有（4）	○市や保健所との情報共有が必要 ○医療連携が推進しやすい
4	⑦特定健診未受診者対策	事業・実施方法への助言（9）	○電話勧奨事業の支援を受けるため ○継続受診に向けた具体的策の検討のため
5		都道府県・市町村の会議体等（7）	○市の協議会において意見を得られる ○県の事業により支援を受けられる
6		連携強化・情報共有（4）	○医療機関、地域医師会との連携強化
7		専門的知見の活用（4）	○地元医師、身近なかかりつけ医の助言を得たい
8	⑧特定保健指導未利用者対策	事業・実施方法への助言（5）	○デザインを含めた助言のため ○困難事例の課題解決のため
9	⑨40歳未満早期介入保健指導事業	都道府県・市町村の会議体等（4）	○市の協議会において意見を得られる
10	⑩特定健診継続受診対策等	都道府県・市町村の会議体等（2）	○努力支援事業の事業支援の一環 ○市で定期的に検討会を開催し、助言を得ている
11	⑪その他生活習慣病予防対策	事業・実施方法への助言（2）	○具体的な事業への助言を希望
12	⑫生活習慣病等重症化予防	都道府県・市町村の会議体等（8）	○市の専門部会で年1回助言を得ている ○市のデータヘルス計画推進に係る協議の場のため
13		事業・実施方法への助言（6）	○PDCAに沿った実践レベルでの支援
14		連携強化・情報共有（5）	○地域の医師との連携が必要であるため
15		地域の実情に精通（4）	○市の方針を医師会等と検討するため
16		継続的な支援（3）	○以前より支援を受けているため
17		専門的知見の活用（3）	○腎臓内科医からの助言を得たい
18	⑬糖尿病性腎症重症化予防	都道府県・市町村の会議体等（14）	○糖尿病事業は市独自で委員会を設置している ○定期的な委員会の場で、医師会や医師からの意見を得ている
19		専門的知見の活用（12）	○事業評価の採血項目について、医学的見地に基づく助言を得るため ○糖尿病専門医による助言を得るため
20		事業・実施方法への助言（9）	○対象者の優先順位や評価等について助言を得たい
21		連携強化・情報共有（6）	○医療連携の推進のため
22		地域の実情に精通（4）	○地域に特化した助言が得られる
23	⑭保健指導	事業・実施方法への助言（3）	○ロールプレイや講義を通して実践的な助言を得たい
24	⑮重複・頻回受診者に対する保健指導	都道府県・市町村の会議体等（2）	○県の事業により既に協力体制が構築されている
25	⑯重複・多剤服薬者に対する保健指導	専門的知見の活用（10）	○地域の薬剤師の専門的知識が必要 ○お薬手帳の活用について
26		事業・実施方法への助言（5）	○対象者の選定や保健指導実施のノウハウがなかったため
27		連携強化・情報共有（4）	○医療機関・薬局との連携が必要

支援・評価委員会等の支援状況

(1) 国保 ③国保組合

<保険者票より集計>

集計の内容

○事業別支援数

○ヘルスアップ事業についての支援数

○事業総合計

・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度

・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象

○事業別

・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度、
今後の助言への要望

・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象、支援・評価委員会以外に
支援を求めた理由

- ①保健事業全体の中長期的なデータヘルス計画の策定
- ②データヘルス計画に基づく個別の保健事業の単年度の実施計画の策定・実施評価
- ③生活習慣病等の予防の視点による健康意識の向上の取組の推進
- ④特定健診受診率・特定保健指導実施率向上のための対策
- ⑤保健指導（特定保健指導を除く）
- ⑥重複・頻回受診者への訪問指導
- ⑦健康相談
- ⑧健康教育
- ⑨糖尿病性腎症重症化予防
- ⑩保健事業の実施計画の策定
- ⑪がん検診事業

○その他の事業内容

支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）の概要

＜支援・評価委員会の支援＞

- 事業別の支援状況は「特定健診受診率・特定保健指導実施率向上のための対策」、「糖尿病性腎症重症化予防」、「データヘルス計画に基づく個別の保健事業の単年度の実施計画の策定・実施評価」の順で多く、市町村国保と支援が多かった上位2事業は共通していた。
- 全体で見ると、助言の対象は「事業の実施方法」、形態は「（会議体）委員会」、方法は「対面形式」が中心であった。事業別では、「データヘルス計画に基づく個別の保健事業の単年度の実施計画の策定・実施評価」で「文書等」による支援が多い一方で、「糖尿病性腎症重症化予防」では「対面形式」が多く、事業特性に応じた使い分けがされていた点も市町村国保と共通していた。
- 多くの事業で「必要な助言が十分に得られた」、「部分的に得られた」が多数を占め、支援に対する満足度は高かった。

＜支援・評価委員会以外の支援＞

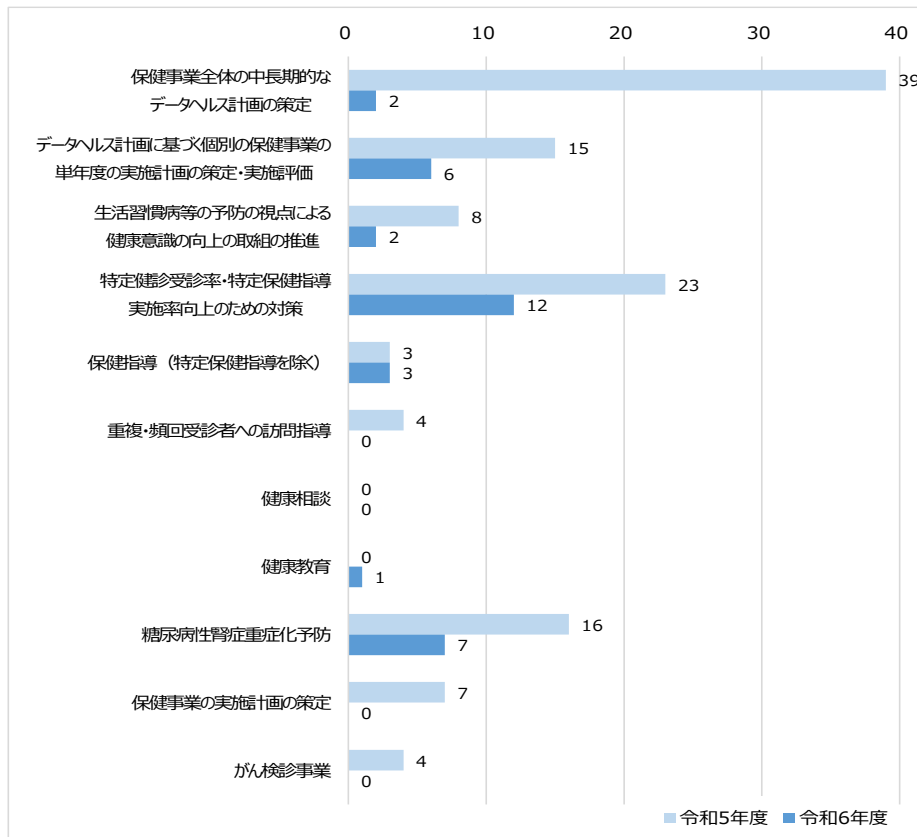
- 「支援・評価委員会以外」からの支援は、国保連合会の支援のわずか1件のみであった。多様な機関から支援を受けている市町村国保とは異なり、国保組合では支援体制がほぼ支援・評価委員会（国保連合会）に一本化されていた。

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

<事業別支援数>

（単位：国保組合）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会以外による支援



※令和5年度の調査なし

調査対象：国保組合 回答数：令和5年度 58、令和6年度 26

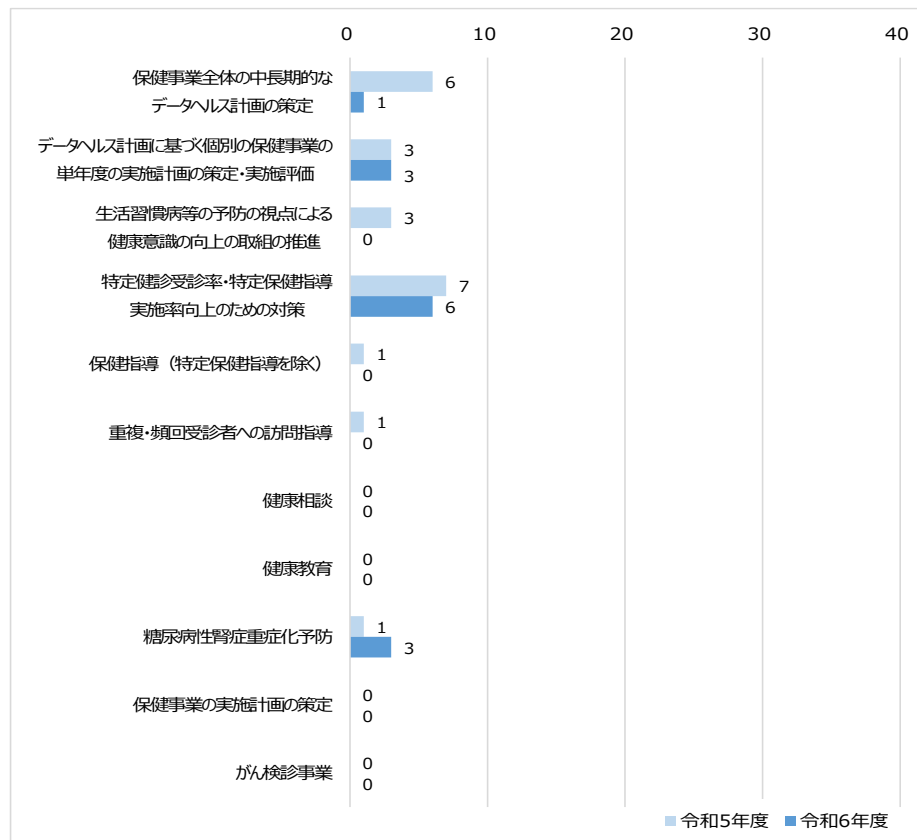
（複数回答）

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

<事業別支援数のうちヘルスアップ事業についての支援数>

（単位：国保組合）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



調査対象：国保組合 回答数：令和5年度 58、令和6年度 26

（複数回答）

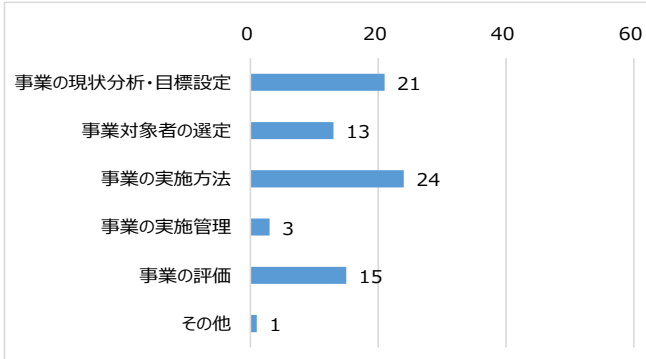
令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

事業総合計

（単位：事業数）

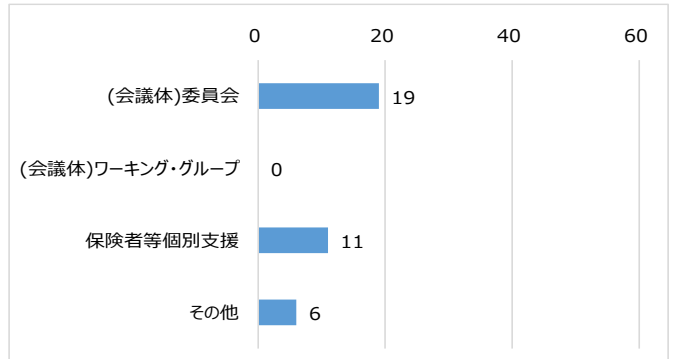
支援・評価委員会による支援

<助言の対象>



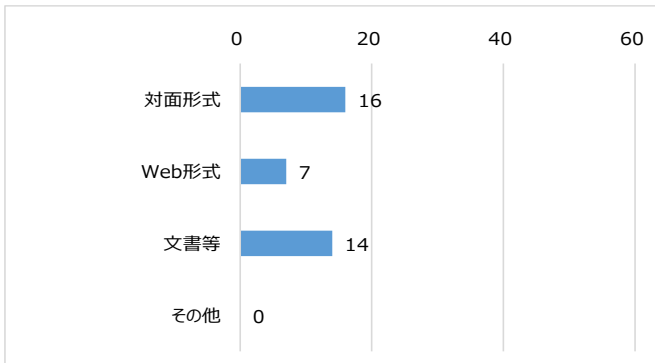
その他の内容については、後の各事業に記載の内容を参照

<助言の形態>

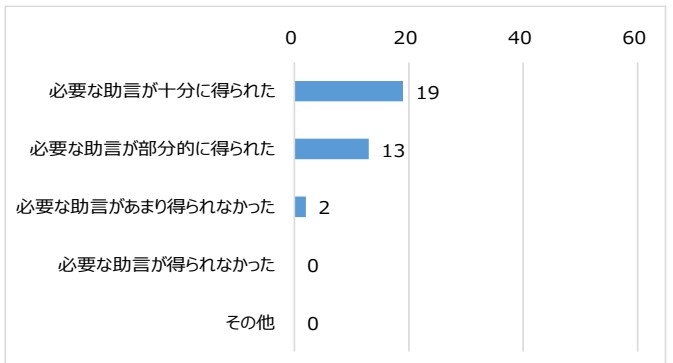


その他の内容については、後の各事業に記載の内容を参照

<助言の方法>



<支援・助言を受けた満足度>

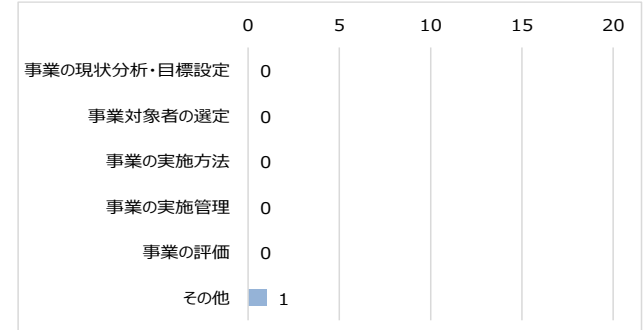


支援・評価委員会以外による支援

<助言を受けた機関名>

・国保連合会

<助言の対象>



その他の内容については、後の各事業に記載の内容を参照

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

①保健事業全体の中長期的なデータヘルス計画の策定

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																																																																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	事業の現状分析・目標設定	1					事業対象者の選定	0					事業の実施方法	1					事業の実施管理	0					事業の評価	0					その他	0					<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・データヘルス計画学習会・KDB研修</p>		0	5	10	15	20	(会議体)委員会	0					(会議体)ワーキング・グループ	0					保険者等個別支援	1					その他	1				
	0	5	10	15	20																																																																				
事業の現状分析・目標設定	1																																																																								
事業対象者の選定	0																																																																								
事業の実施方法	1																																																																								
事業の実施管理	0																																																																								
事業の評価	0																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
(会議体)委員会	0																																																																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																																								
保険者等個別支援	1																																																																								
その他	1																																																																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	対面形式	1					Web形式	0					文書等	1					その他	0					<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	15	20	必要な助言が十分に得られた	1					必要な助言が部分的に得られた	1					必要な助言があまり得られなかった	0					必要な助言が得られなかった	0					その他	0										
	0	5	10	15	20																																																																				
対面形式	1																																																																								
Web形式	0																																																																								
文書等	1																																																																								
その他	0																																																																								
	0	5	10	15	20																																																																				
必要な助言が十分に得られた	1																																																																								
必要な助言が部分的に得られた	1																																																																								
必要な助言があまり得られなかった	0																																																																								
必要な助言が得られなかった	0																																																																								
その他	0																																																																								
<p><今後の助言への要望> 要望なし</p>																																																																									
支援・評価委員会以外による支援																																																																									
支援なし																																																																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 2、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

②データヘルス計画に基づく個別の保健事業の単年度の実施計画の策定・実施評価

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	3	事業の実施管理	0	事業の評価	3	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・Webにて個別ヒアリング</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	3	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	2	その他	1
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	3																								
その他	0																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	3																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	2																								
その他	1																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	1	Web形式	1	文書等	4	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	3	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	1																								
Web形式	1																								
文書等	4																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	3																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価に向けた助言 ・継続的な支援 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 6、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

③生活習慣病等の予防の視点による健康意識の向上の取組の推進

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	1	事業の実施管理	1	事業の評価	1	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	2	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	1	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	1																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	1																								
その他	0																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	2																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	1																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	1	Web形式	0	文書等	2	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	2	必要な助言が部分的に得られた	0	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	1																								
Web形式	0																								
文書等	2																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	2																								
必要な助言が部分的に得られた	0																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>・継続的な支援</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 2、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

④特定健診受診率・特定保健指導実施率向上のための対策

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・事業案内通知、当日保健指導のデフォルト化（専門職の確保）、ナッジを活用したチラシ等の作成</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	7	事業対象者の選定	5	事業の実施方法	10	事業の実施管理	1	事業の評価	6	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会（2）</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	7	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	3	その他	2
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	7																								
事業対象者の選定	5																								
事業の実施方法	10																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	6																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	7																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	3																								
その他	2																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	5	Web形式	3	文書等	5	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	6	必要な助言が部分的に得られた	7	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	5																								
Web形式	3																								
文書等	5																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	6																								
必要な助言が部分的に得られた	7																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な支援 ・受診や意識改革が伝わるチラシやハガキの作成の仕方 ・保健指導に関する助言 ・利用意思のない対象者への利用勧奨について 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・資料作成</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	0	事業対象者の選定	0	事業の実施方法	0	事業の実施管理	0	事業の評価	0	その他	1										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	0																								
事業対象者の選定	0																								
事業の実施方法	0																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	0																								
その他	1																								
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確な資料を作成するため 																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 12、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

⑤保健指導（特定保健指導を除く）

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	2	事業の実施管理	1	事業の評価	2	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会（2）</p>	助言の形態	数	(会議体)委員会	1	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	1	その他	2
助言の対象	数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	2																								
その他	0																								
助言の形態	数																								
(会議体)委員会	1																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	1																								
その他	2																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	数	対面形式	1	Web形式	2	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	数	必要な助言が十分に得られた	1	必要な助言が部分的に得られた	1	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	数																								
対面形式	1																								
Web形式	2																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	数																								
必要な助言が十分に得られた	1																								
必要な助言が部分的に得られた	1																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 3、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

⑥重複・頻回受診者への訪問指導

支援なし

⑦健康相談

支援なし

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

⑧健康教育

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援					
<助言の対象>			<助言の形態>		
	0	5	10	15	20
事業の現状分析・目標設定	0				
事業対象者の選定	0				
事業の実施方法	1				
事業の実施管理	0				
事業の評価	0				
その他	0				
<助言の方法>			<支援・助言を受けた満足度>		
	0	5	10	15	20
対面形式	1				
Web形式	0				
文書等	0				
その他	0				
<今後の助言への要望>					
要望なし					
支援・評価委員会以外による支援					
支援なし					

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（国保組合）

⑨糖尿病性腎症重症化予防

（単位：国保組合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	3	事業の実施方法	6	事業の実施管理	0	事業の評価	3	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	6	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	2	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	3																								
事業の実施方法	6																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	3																								
その他	0																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	6																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	6	Web形式	1	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	5	必要な助言が部分的に得られた	1	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	6																								
Web形式	1																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	5																								
必要な助言が部分的に得られた	1																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ・好事例の共有 ・組織実態を踏まえた改善点等 ・糖尿病性腎症重症化予防者リスト作成 ・市町村と協力した保健指導の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・県の重症化予防プログラムに基づいた助言 ・個別支援 </div>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>支援なし</p>																									

調査対象：国保組合 回答数：支援・評価委員会による支援 7、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

⑩保健事業の実施計画の策定

支援なし

⑪がん検診事業

支援なし

その他の支援事業については以下の通り。

※事業名のみで支援内容等の記載がないものについては支援事業としてカウントしていない。

No.	その他 事業内容	国保組合数
支援・評価委員会による支援		
1	生活習慣病予防対策	2
2	ワクチン事業	1
3	医療費等分析事業	1
4	禁煙対策事業	1
5	後発医薬品利用促進	1
6	重複・多剤処方対象者への通知	1
支援・評価委員会以外による支援		
	なし	

支援・評価委員会等の支援状況

(2) 後期 ①広域連合

<保険者票より集計>

集計の内容

- 事業別支援数
- 一体的実施支援数、事業別取り纏めて支援・評価委員会に諮った構成市町村数
- 事業総合計
 - ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
 - ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象
- 事業別
 - ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度、
今後の助言への要望
 - ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象、支援・評価委員会以外に
支援を求めた理由

- ①データヘルス計画策定
- ②事業の企画・健康課題の分析等
- ③栄養に関する相談・指導
- ④口腔に関する相談・指導
- ⑤服薬に関する相談・指導
- ⑥生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導
- ⑦重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組
- ⑧健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続
- ⑨フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談
- ⑩低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援等
- ⑪高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくり

- その他の事業内容



支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）の概要

＜支援・評価委員会の支援＞

- 事業別の支援状況は「生活習慣病等の重症化予防」、「データヘルス計画策定」、「重複・頻回受診者等への相談・指導」の順で多かった。
- 全体で見ると、助言の対象は「事業の評価」が最も多く、助言の形態は「（会議体）委員会」、方法は「対面形式」が多かった。
- 多くの事業で「必要な助言が十分に得られた」、「部分的に得られた」が多数を占め、支援に対する満足度は高かった。なお、「助言があまり得られなかった」との回答は、「生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導」における1件のみだった。
- 今後の助言の要望として、継続的な支援や好事例の共有、関係機関との連携に関する助言を求める意見があった。

＜支援・評価委員会以外の支援＞

- 「支援・評価委員会以外」からの支援は会議体を通じて助言を得るケースが多かった。一方で、「口腔に関する相談・指導」では歯科医師会、「服薬に関する相談・指導」では薬剤師会、「生活習慣病等の重症化予防」では糖尿病対策会議のように、事業の専門性に応じた機関が選定されていた。

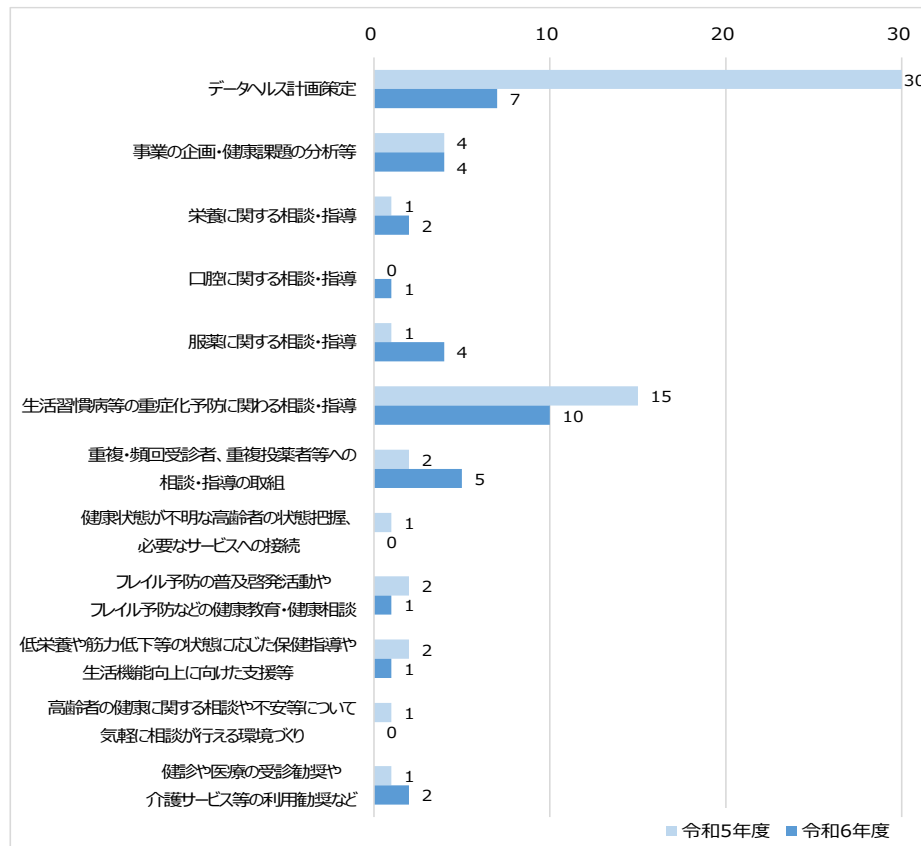


令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

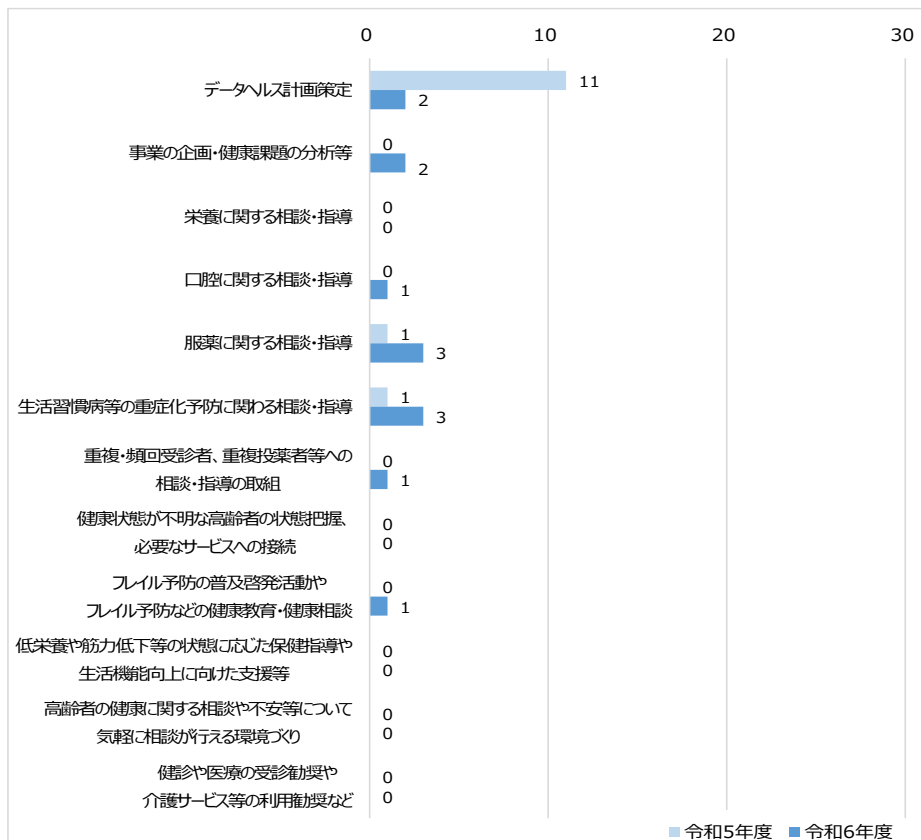
<事業別支援数>

（単位：広域連合）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会以外による支援



調査対象：広域連合 回答数：令和5年度 37、令和6年度 30

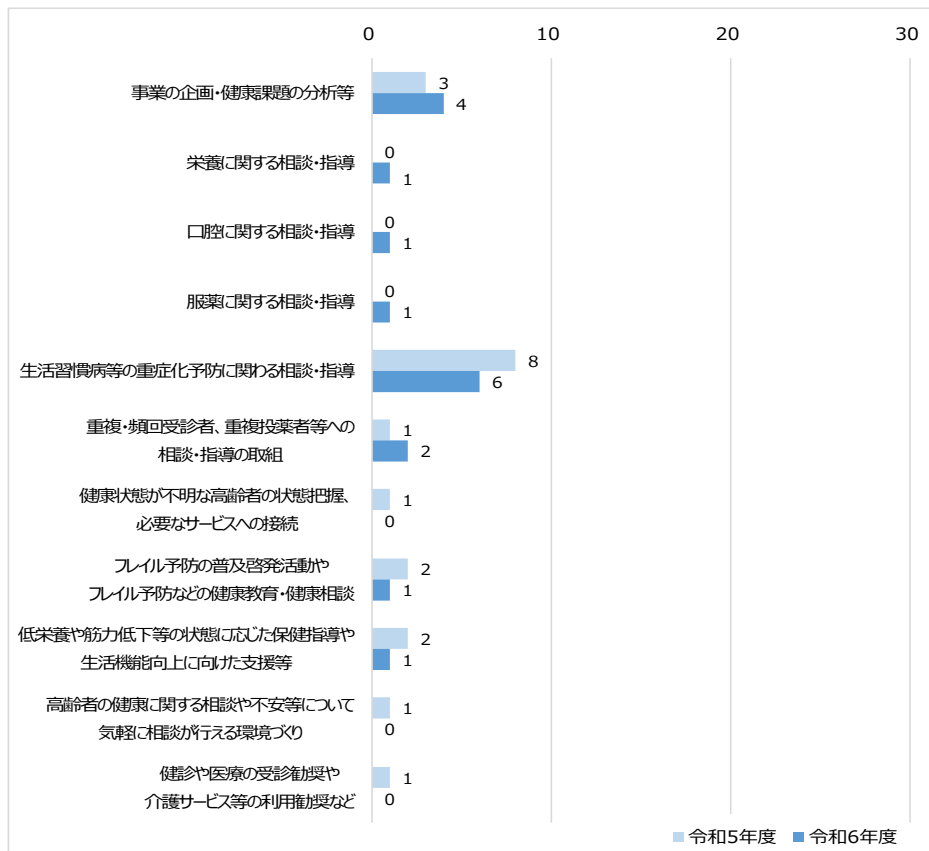
（複数回答）

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

＜事業別支援数のうち一体的実施支援（一体的実施特別調整交付金申請）数＞

（単位：広域連合）

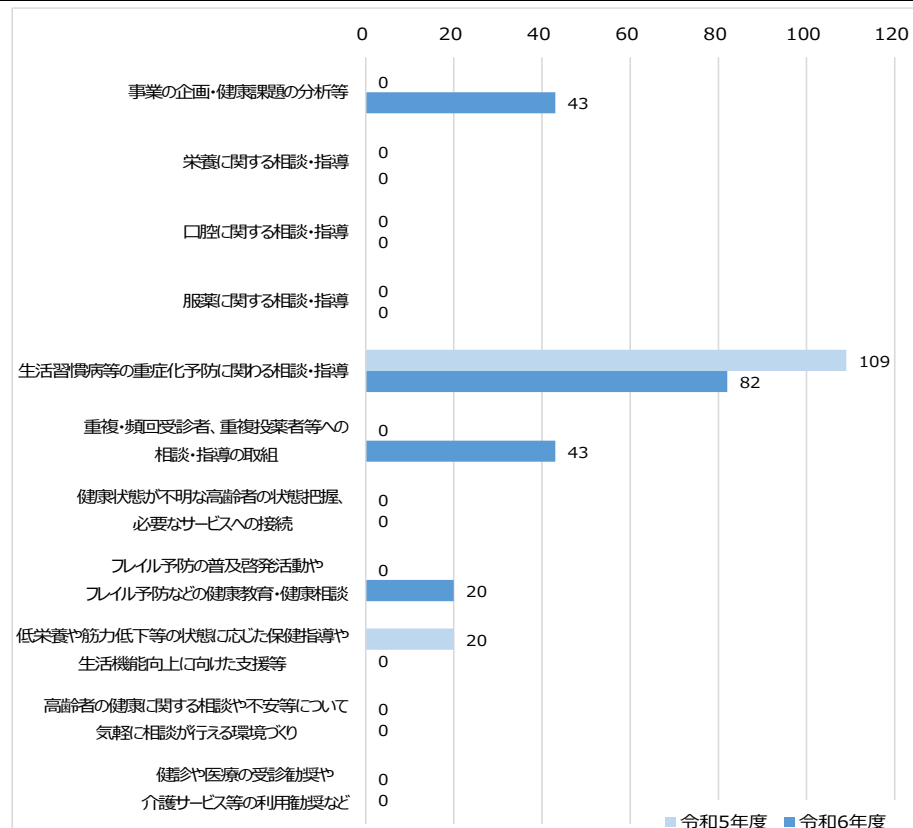
令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



＜事業別取り纏めて支援・評価委員会に諮った構成市町村数＞

（単位：構成市町村）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



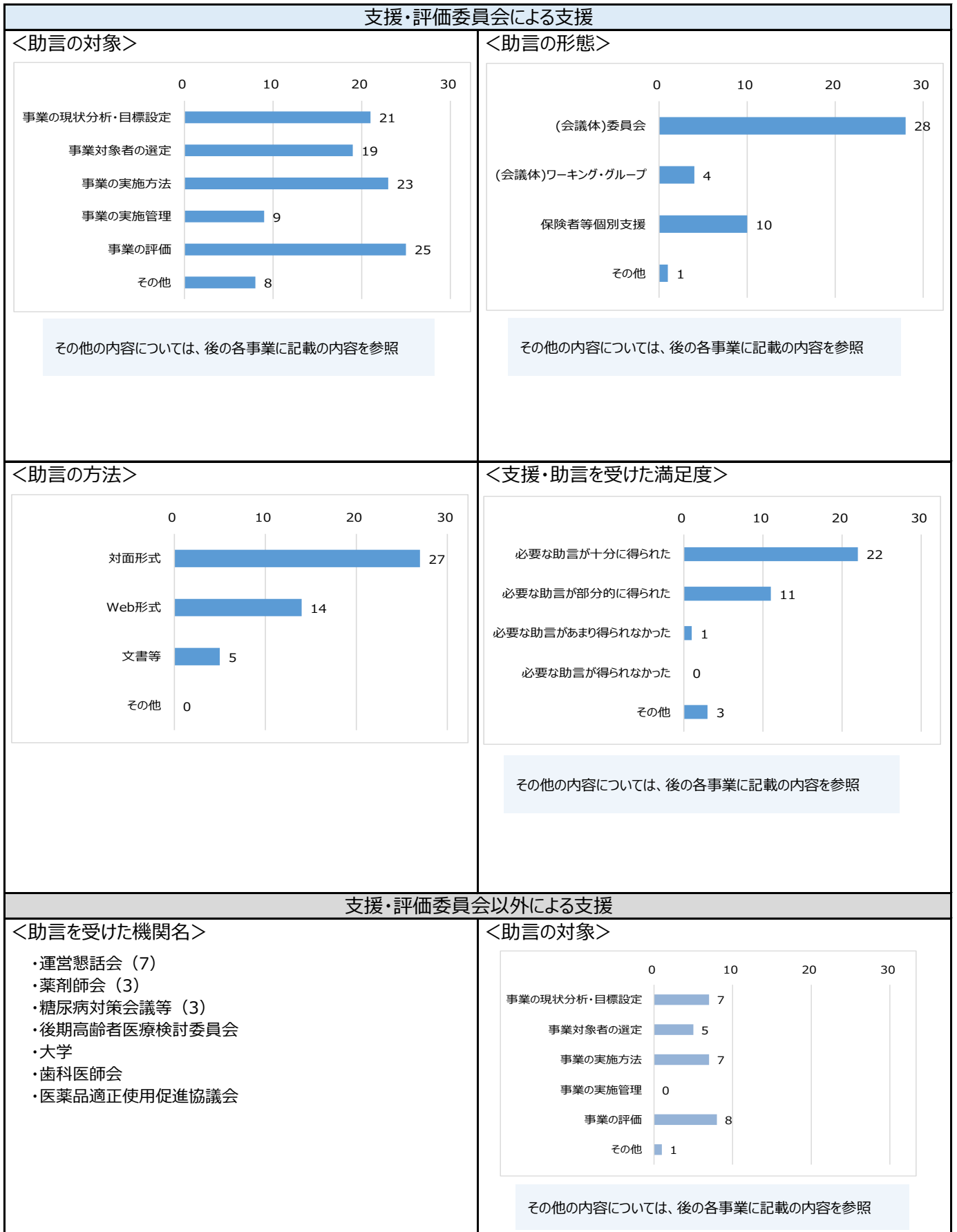
調査対象：広域連合 回答数：令和5年度 37、令和6年度 30

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

事業総合計

（単位：事業数）



調査対象：広域連合 回答数：30

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

①データヘルス計画策定

（※その他に記載されたデータヘルス計画関連については、「①データヘルス計画策定」に含めて集計）

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <caption>助言の対象</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストラクチャー及びプロセス評価の設定 ・第2期DH計画の最終評価・第3期DH計画の内容を報告 	対象	回数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	3	事業の実施管理	2	事業の評価	7	その他	2	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <caption>助言の形態</caption> <thead> <tr> <th>形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	形態	回数	(会議体)委員会	7	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	2	その他	0
対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	2																								
事業の評価	7																								
その他	2																								
形態	回数																								
(会議体)委員会	7																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <caption>助言の方法</caption> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	方法	回数	対面形式	7	Web形式	2	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <caption>支援・助言を受けた満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告のため助言等なし ・最終評価の整合性が確認できた 	満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	2	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	2		
方法	回数																								
対面形式	7																								
Web形式	2																								
文書等	1																								
その他	0																								
満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	2																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	2																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価に向けた助言 ・継続的な支援 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営懇話会 ・後期高齢者医療検討委員会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <caption>助言の対象</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	0	事業の実施方法	0	事業の実施管理	0	事業の評価	2	その他	0										
対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	0																								
事業の実施方法	0																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	2																								
その他	0																								
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体から助言が得られる（2） 																									

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 7、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

②事業の企画・健康課題の分析等

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	4	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	2	事業の実施管理	3	事業の評価	4	その他	0	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	3	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	2	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	4																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	3																								
事業の評価	4																								
その他	0																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	3																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	4	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	4	必要な助言が部分的に得られた	0	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	4																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	4																								
必要な助言が部分的に得られた	0																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p>＜今後の助言への要望＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な支援 ・ツール・KDBの活用方法 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営懇話会 ・大学 	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	0	事業の実施方法	0	事業の実施管理	0	事業の評価	2	その他	0										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	0																								
事業の実施方法	0																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	2																								
その他	0																								
<p>＜支援・評価委員会以外に助言を求めた理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体等から助言が得られる ・委託によるもの 																									

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 4、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

③栄養に関する相談・指導

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																																																	
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	事業の現状分析・目標設定	0			事業対象者の選定	1			事業の実施方法	0			事業の実施管理	1			事業の評価	0			その他	0			<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	(会議体)委員会	2			(会議体)ワーキング・グループ	0			保険者等個別支援	1			その他	0		
	0	5	10																																														
事業の現状分析・目標設定	0																																																
事業対象者の選定	1																																																
事業の実施方法	0																																																
事業の実施管理	1																																																
事業の評価	0																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
(会議体)委員会	2																																																
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																
保険者等個別支援	1																																																
その他	0																																																
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	対面形式	2			Web形式	0			文書等	0			その他	0			<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	必要な助言が十分に得られた	1			必要な助言が部分的に得られた	1			必要な助言があまり得られなかった	0			必要な助言が得られなかった	0			その他	0						
	0	5	10																																														
対面形式	2																																																
Web形式	0																																																
文書等	0																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
必要な助言が十分に得られた	1																																																
必要な助言が部分的に得られた	1																																																
必要な助言があまり得られなかった	0																																																
必要な助言が得られなかった	0																																																
その他	0																																																
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																																																	
支援・評価委員会以外による支援																																																	
<p>支援なし</p>																																																	

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 2、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

④口腔に関する相談・指導

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																																																	
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	事業の現状分析・目標設定	0			事業対象者の選定	1			事業の実施方法	0			事業の実施管理	0			事業の評価	0			その他	0			<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	(会議体)委員会	1			(会議体)ワーキング・グループ	0			保険者等個別支援	0			その他	0		
	0	5	10																																														
事業の現状分析・目標設定	0																																																
事業対象者の選定	1																																																
事業の実施方法	0																																																
事業の実施管理	0																																																
事業の評価	0																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
(会議体)委員会	1																																																
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																
保険者等個別支援	0																																																
その他	0																																																
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	対面形式	1			Web形式	0			文書等	0			その他	0			<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	必要な助言が十分に得られた	1			必要な助言が部分的に得られた	0			必要な助言があまり得られなかった	0			必要な助言が得られなかった	0			その他	0						
	0	5	10																																														
対面形式	1																																																
Web形式	0																																																
文書等	0																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
必要な助言が十分に得られた	1																																																
必要な助言が部分的に得られた	0																																																
必要な助言があまり得られなかった	0																																																
必要な助言が得られなかった	0																																																
その他	0																																																
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																																																	
支援・評価委員会以外による支援																																																	
<p><助言を受けた機関名></p> <p>・運営懇話会 ・歯科医師会</p>	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	事業の現状分析・目標設定	0			事業対象者の選定	1			事業の実施方法	1			事業の実施管理	0			事業の評価	0			その他	0																						
	0	5	10																																														
事業の現状分析・目標設定	0																																																
事業対象者の選定	1																																																
事業の実施方法	1																																																
事業の実施管理	0																																																
事業の評価	0																																																
その他	0																																																
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <p>・会議体等から助言が得られる</p>																																																	

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑤服薬に関する相談・指導

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	件数	事業の現状分析・目標設定	1	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	3	事業の実施管理	0	事業の評価	2	その他	0	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	件数	(会議体)委員会	2	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	2	その他	0
助言の対象	件数																								
事業の現状分析・目標設定	1																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	2																								
その他	0																								
助言の形態	件数																								
(会議体)委員会	2																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	件数	対面形式	3	Web形式	1	文書等	0	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	件数	必要な助言が十分に得られた	2	必要な助言が部分的に得られた	2	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	件数																								
対面形式	3																								
Web形式	1																								
文書等	0																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	件数																								
必要な助言が十分に得られた	2																								
必要な助言が部分的に得られた	2																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <p>要望なし</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会（2） ・医薬品適正使用促進協議会 ・運営懇話会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	件数	事業の現状分析・目標設定	0	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	2	事業の実施管理	0	事業の評価	1	その他	1										
助言の対象	件数																								
事業の現状分析・目標設定	0																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	1																								
その他	1																								
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体等から助言が得られる（2） ・専門的知見の活用のため 	<p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内文書の内容、周知方法 																								

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 4、支援・評価委員会以外による支援 3

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑥生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定に伴う広域連合版プログラムの改定について ・受診勧奨通知の内容 ・国保との連携 	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	7	事業対象者の選定	7	事業の実施方法	7	事業の実施管理	3	事業の評価	7	その他	3	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	9	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	1	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	7																								
事業対象者の選定	7																								
事業の実施方法	7																								
事業の実施管理	3																								
事業の評価	7																								
その他	3																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	9																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	1																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	5	Web形式	6	文書等	2	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	6	必要な助言が部分的に得られた	3	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	5																								
Web形式	6																								
文書等	2																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	6																								
必要な助言が部分的に得られた	3																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の抽出方法（2） ・継続的な支援 ・好事例の共有 ・市町村支援の方法 ・国保との連携 ・相談票の内容に沿った助言 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病対策会議等（3） ・運営懇話会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	2	事業の実施管理	0	事業の評価	3	その他	0										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	3																								
その他	0																								
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体等から助言が得られる（2） ・専門的知見の活用のため 																									

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 10、支援・評価委員会以外による支援 3

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑦重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療関係団体との連携方法の取組事例や連携方法 	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	4	事業の実施管理	0	事業の評価	3	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	2	(会議体)ワーキング・グループ	1	保険者等個別支援	2	その他	0
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	4																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	3																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	2																								
(会議体)ワーキング・グループ	1																								
保険者等個別支援	2																								
その他	0																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	3	Web形式	2	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	3	必要な助言が部分的に得られた	2	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	3																								
Web形式	2																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	3																								
必要な助言が部分的に得られた	2																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好事例の共有 																									
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営懇話会 ・薬剤師会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	0	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	1	事業の実施管理	0	事業の評価	0	その他	0										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	0																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	1																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	0																								
その他	0																								
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体等から助言が得られる ・事業を開始するにあたり、協力を得ていくため 																									

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 5、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑧健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続

支援なし

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑨フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援	
<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 1</p> <p>事業対象者の選定 1</p> <p>事業の実施方法 1</p> <p>事業の実施管理 0</p> <p>事業の評価 1</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・関係機関連携</p>	<p><助言の形態></p> <p>(会議体)委員会 0</p> <p>(会議体)ワーキング・グループ 1</p> <p>保険者等個別支援 0</p> <p>その他 0</p>
<p><助言の方法></p> <p>対面形式 1</p> <p>Web形式 1</p> <p>文書等 0</p> <p>その他 0</p>	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <p>必要な助言が十分に得られた 0</p> <p>必要な助言が部分的に得られた 1</p> <p>必要な助言があまり得られなかった 0</p> <p>必要な助言が得られなかった 0</p> <p>その他 0</p>
<p><今後の助言への要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 ・市町村支援の方法 	
支援・評価委員会以外による支援	
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営懇話会 	<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 1</p> <p>事業対象者の選定 0</p> <p>事業の実施方法 1</p> <p>事業の実施管理 0</p> <p>事業の評価 0</p> <p>その他 0</p>
<p><支援・評価委員会以外に助言を求めた理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議体等から助言が得られる 	

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 1

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑩低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援等

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																																																	
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	事業の現状分析・目標設定	1			事業対象者の選定	1			事業の実施方法	1			事業の実施管理	0			事業の評価	1			その他	0			<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	(会議体)委員会	1			(会議体)ワーキング・グループ	0			保険者等個別支援	0			その他	0		
	0	5	10																																														
事業の現状分析・目標設定	1																																																
事業対象者の選定	1																																																
事業の実施方法	1																																																
事業の実施管理	0																																																
事業の評価	1																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
(会議体)委員会	1																																																
(会議体)ワーキング・グループ	0																																																
保険者等個別支援	0																																																
その他	0																																																
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0	5	10	対面形式	0			Web形式	1			文書等	0			その他	0			<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0</th> <th>5</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・市町支援のための質問の場として活用した</p>		0	5	10	必要な助言が十分に得られた	0			必要な助言が部分的に得られた	0			必要な助言があまり得られなかった	0			必要な助言が得られなかった	0			その他	1						
	0	5	10																																														
対面形式	0																																																
Web形式	1																																																
文書等	0																																																
その他	0																																																
	0	5	10																																														
必要な助言が十分に得られた	0																																																
必要な助言が部分的に得られた	0																																																
必要な助言があまり得られなかった	0																																																
必要な助言が得られなかった	0																																																
その他	1																																																
<p><今後の助言への要望> 要望なし</p>																																																	
支援・評価委員会以外による支援																																																	
支援なし																																																	

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 1、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑪ 高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくり

支援なし

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（広域連合）

⑫ 健診や医療の受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨など

（単位：広域連合）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・医師会との連携方法</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	1	事業対象者の選定	1	事業の実施方法	2	事業の実施管理	0	事業の評価	0	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・Webにて個別ヒアリング</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	1	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	0	その他	1
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	1																								
事業対象者の選定	1																								
事業の実施方法	2																								
事業の実施管理	0																								
事業の評価	0																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	1																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	0																								
その他	1																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の方法	回数	対面形式	1	Web形式	0	文書等	1	その他	0	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	2	必要な助言が部分的に得られた	0	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	1																								
Web形式	0																								
文書等	1																								
その他	0																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	2																								
必要な助言が部分的に得られた	0																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	0																								
<p><今後の助言への要望> ・継続的な支援</p>																									
支援・評価委員会以外による支援																									
支援なし																									

調査対象：広域連合 回答数：支援・評価委員会による支援 2、支援・評価委員会以外による支援 0

（複数回答）

その他の支援事業については以下の通り。

※事業名のみで支援内容等の記載がないものについては支援事業としてカウントしていない。

その他に記載されたデータヘルス計画関連については、上記の「①データヘルス計画策定」に含めて集計。

No.	その他 事業内容	広域連合数
支援・評価委員会による支援		
1	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	3
2	インセンティブにおけるICTを活用した効果的な保健指導について	1
3	ハイレスクアプローチ「フレイル予防」の相談・指導の取組み	1
4	みなし健診	1
5	健康診査	1
6	歯科健診	1
7	医療機関受診勧奨事業	1
8	健診異常値放置者受診勧奨事業	1
9	糖尿病性腎症重症化予防事業	1
10	市町村支援の方向性	1
11	ジェネリック医薬品差額通知事業	1
12	服薬指導事業	1
支援・評価委員会以外による支援		
1	医療費分析について	1
2	一体的実施事業の効果的実施、評価、分析 後期高齢者質問票を用いた3年後の要介護認定の予測	1
3	一体的実施事業担当者会議	1
4	健康診査・歯科健康診査	1
5	保健事業評価のための研究分析 後期高齢者の骨折や転倒の発生率と骨折の新規発生に対する危険因子の分析	1

支援・評価委員会等の支援状況

(2) 後期 ②構成市町村

<保険者票より集計>

集計の内容

- 事業別支援数
 - 一体的実施支援数
 - 事業総合計
 - ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
 - ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象
 - 事業別
 - ・支援・評価委員会による支援：助言の対象、助言の形態、助言の方法、支援・助言を受けた満足度
 - ・支援・評価委員会以外による支援：助言を受けた機関名、助言の対象
- ①事業の企画・健康課題の分析等
 - ②栄養に関する相談・指導
 - ③口腔に関する相談・指導
 - ④服薬に関する相談・指導
 - ⑤生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導
 - ⑥重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組
 - ⑦健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続
 - ⑧フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談
 - ⑨低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援等
 - ⑩高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくり
 - ⑪健診や医療の受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨など
- その他の事業内容
 - 今後の助言への要望（支援・評価委員会による支援）
 - 支援・評価委員会以外に支援を求めた理由（支援・評価委員会以外による支援）

支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）の概要

<支援・評価委員会の支援>

- 事業別の支援状況は「生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導」、「事業の企画・健康課題の分析等」、「フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談」の順で多かった。
- 全体で見ると、助言の対象は「事業の実施方法」、助言の形態は「（会議体）委員会」が最も多かった。方法は「対面形式」と「文書等」がほぼ同数であった。
- 多くの事業で「必要な助言が十分に得られた」、「部分的に得られた」が多数を占め、支援に対する満足度は高かった。一方で、「フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談」は、「助言があまり得られなかった」、「得られなかった」と回答した件数が他の事業と比較して高かった。
- 今後の助言の要望として、「継続支援・同様の支援」を望む声が最も多く、次いで、「効果的・効率的な実施方法」や「情報共有・好事例の共有」に関する意見が多くあがっていた。

<支援・評価委員会以外の支援>

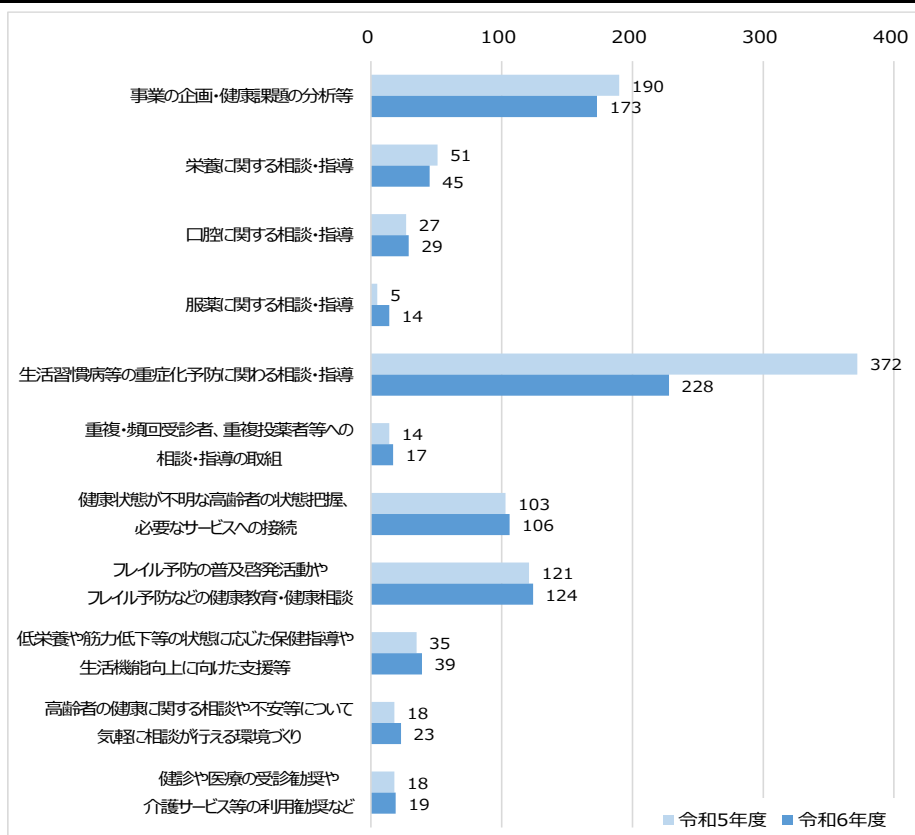
- 事業別の支援状況は、「生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導」が最も多く、支援数の上位3事業は、支援・評価委員会における上位事業と同様であった。一方、支援・評価委員会との違いとして、「口腔に関する相談・指導」への支援が多かった点が特徴的であった。また、11事業中10事業で令和5年度よりも支援数が増加していた。
- 「支援・評価委員会以外」からの支援は「広域連合」が突出して多く、全ての事業で助言が行われていた。また、栄養、口腔、服薬に関する各事業では、それぞれ、栄養士会、歯科衛生士会、薬剤師会といった専門職団体からの助言を受けており、事業の専門性に応じた機関が選定されていた。

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

<事業別支援数>

（単位：構成市町村）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会以外による支援



調査対象：構成市町村 回答数：令和5年度 530、令和6年度 399

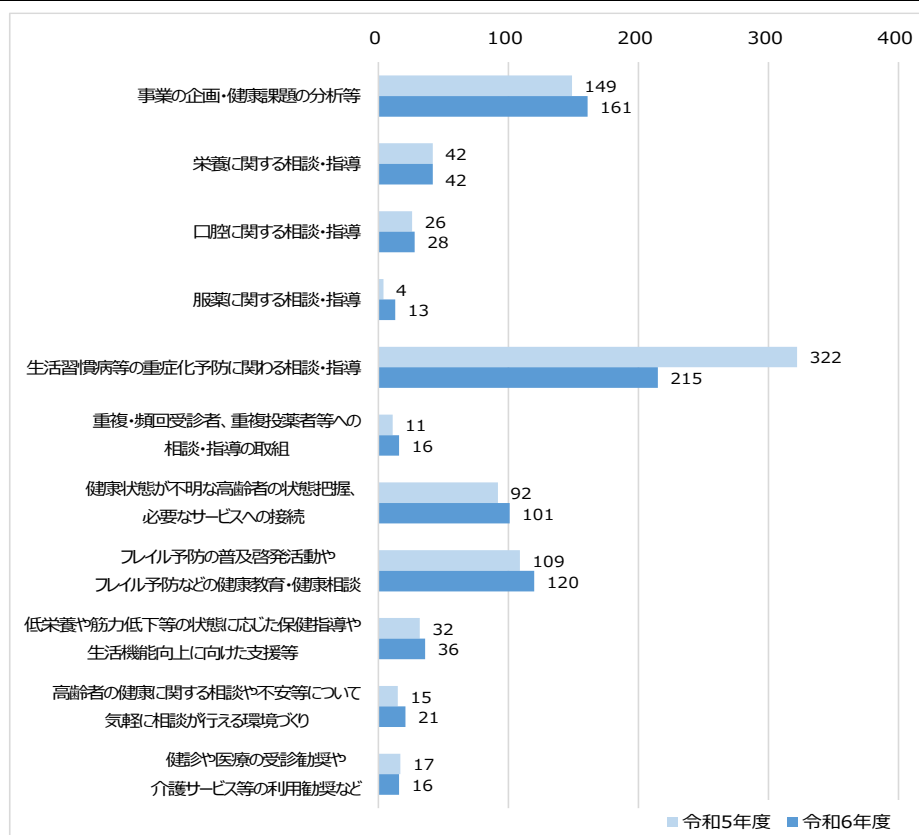
（複数回答）

令和5年度・令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

＜事業別支援数のうち一体的実施支援（一体的実施特別調整交付金申請）数＞

（単位：構成市町村）

令和5年度・令和6年度 支援・評価委員会による支援



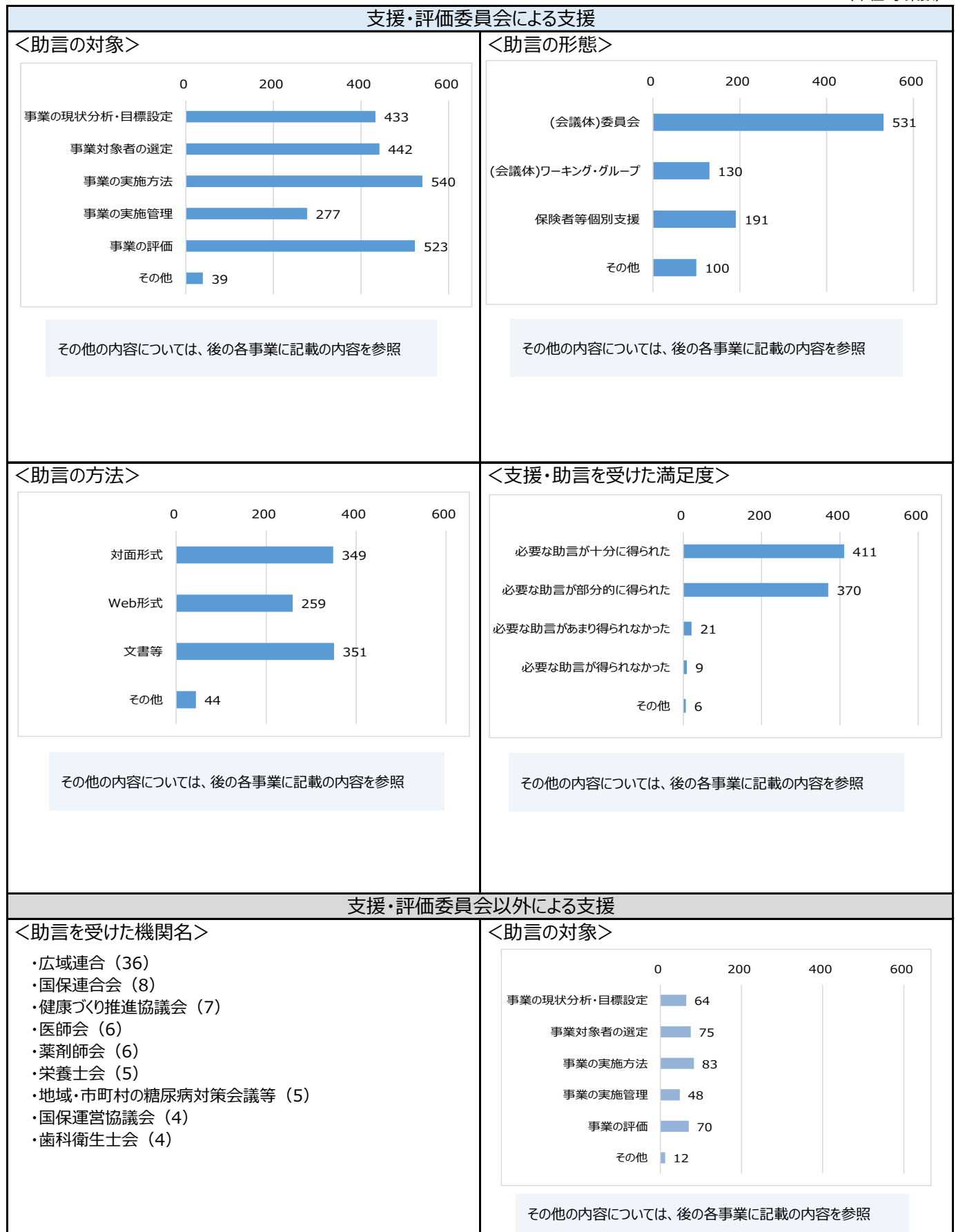
調査対象：構成市町村 回答数：令和5年度 530、令和6年度 399

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

事業総合計

（単位：事業数）



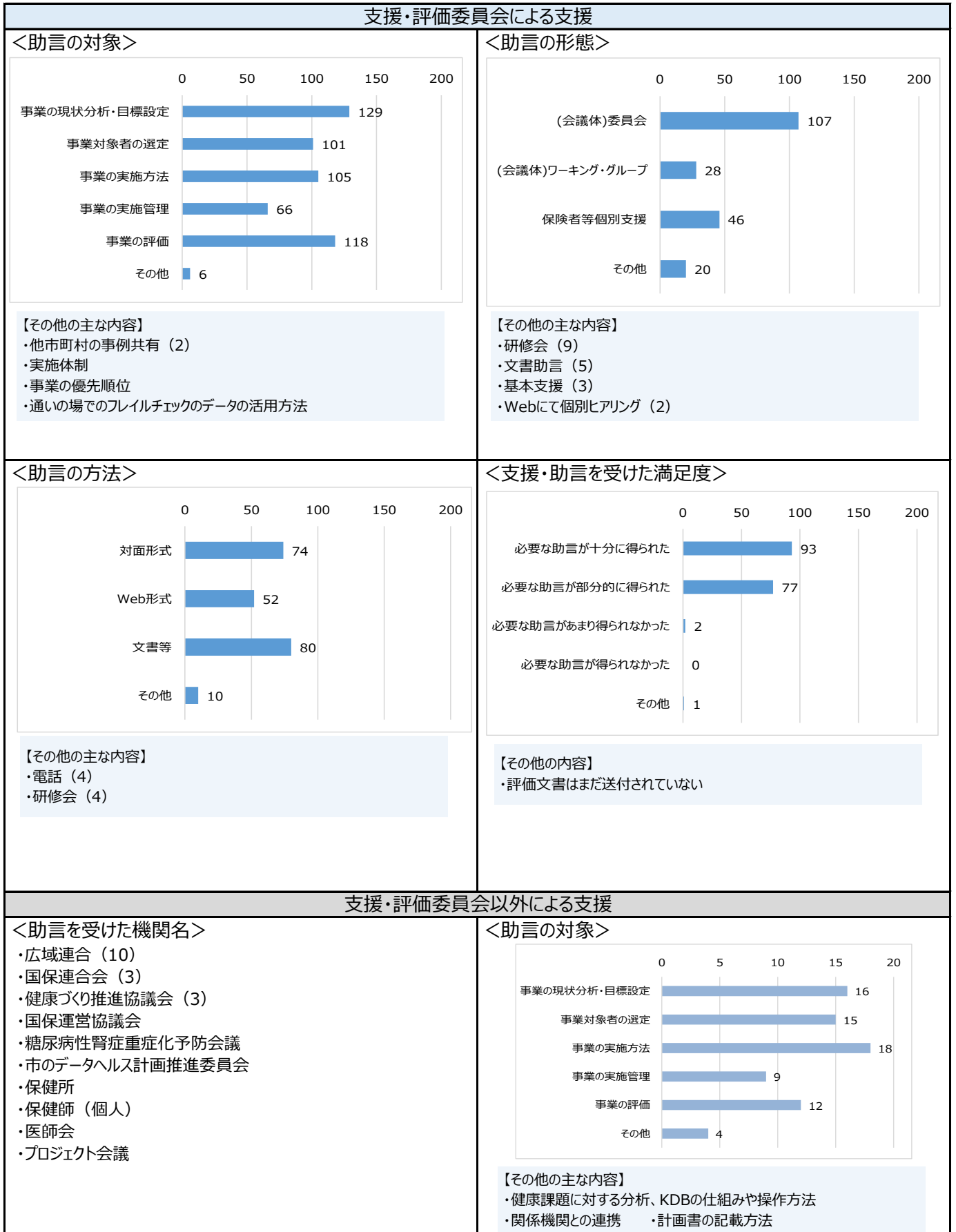
調査対象：構成市町村 回答数：399

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

①事業の企画・健康課題の分析等

（単位：構成市町村）



調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 173、支援・評価委員会以外による支援 22

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

②栄養に関する相談・指導

（単位：構成市町村）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の実施 ・他市町村の事例共有 	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	20	事業対象者の選定	26	事業の実施方法	33	事業の実施管理	18	事業の評価	31	その他	2	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（3） ・Webにて個別ヒアリング（3） ・基本支援 	助言の形態	回数	(会議体)委員会	29	(会議体)ワーキング・グループ	9	保険者等個別支援	10	その他	7
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	20																								
事業対象者の選定	26																								
事業の実施方法	33																								
事業の実施管理	18																								
事業の評価	31																								
その他	2																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	29																								
(会議体)ワーキング・グループ	9																								
保険者等個別支援	10																								
その他	7																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会（2） ・電話 	助言の方法	回数	対面形式	22	Web形式	18	文書等	19	その他	3	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村の様子を知ることができた 	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	27	必要な助言が部分的に得られた	18	必要な助言があまり得られなかった	0	必要な助言が得られなかった	0	その他	1		
助言の方法	回数																								
対面形式	22																								
Web形式	18																								
文書等	19																								
その他	3																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	27																								
必要な助言が部分的に得られた	18																								
必要な助言があまり得られなかった	0																								
必要な助言が得られなかった	0																								
その他	1																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連合（4） ・栄養士会（2） ・健康づくり推進協議会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士が栄養等の講話また、健康教育や健康相談を実施し、介護予防やフレイル予防に対する啓発を行う 	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	5	事業対象者の選定	5	事業の実施方法	5	事業の実施管理	4	事業の評価	6	その他	1										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	5																								
事業対象者の選定	5																								
事業の実施方法	5																								
事業の実施管理	4																								
事業の評価	6																								
その他	1																								

調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 45、支援・評価委員会以外による支援 7

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

③口腔に関する相談・指導

（単位：構成市町村）



調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 29、支援・評価委員会以外による支援 9

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

④服薬に関する相談・指導

（単位：構成市町村）

支援・評価委員会による支援	
<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 7</p> <p>事業対象者の選定 8</p> <p>事業の実施方法 8</p> <p>事業の実施管理 6</p> <p>事業の評価 7</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・マイナ保険証普及後の事業の在り方・必要性について</p>	<p><助言の形態></p> <p>(会議体)委員会 9</p> <p>(会議体)ワーキング・グループ 0</p> <p>保険者等個別支援 4</p> <p>その他 2</p> <p>【その他の内容】 ・研修会 ・書面助言</p>
<p><助言の方法></p> <p>対面形式 4</p> <p>Web形式 2</p> <p>文書等 8</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・研修会</p>	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <p>必要な助言が十分に得られた 4</p> <p>必要な助言が部分的に得られた 8</p> <p>必要な助言があまり得られなかった 1</p> <p>必要な助言が得られなかった 1</p> <p>その他 0</p>
支援・評価委員会以外による支援	
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会（3） ・医師会 ・広域連合 ・健康づくり推進協議会 	<p><助言の対象></p> <p>事業の現状分析・目標設定 4</p> <p>事業対象者の選定 5</p> <p>事業の実施方法 5</p> <p>事業の実施管理 2</p> <p>事業の評価 3</p> <p>その他 1</p> <p>【その他の内容】 ・残薬の取組みについて確認、方法</p>

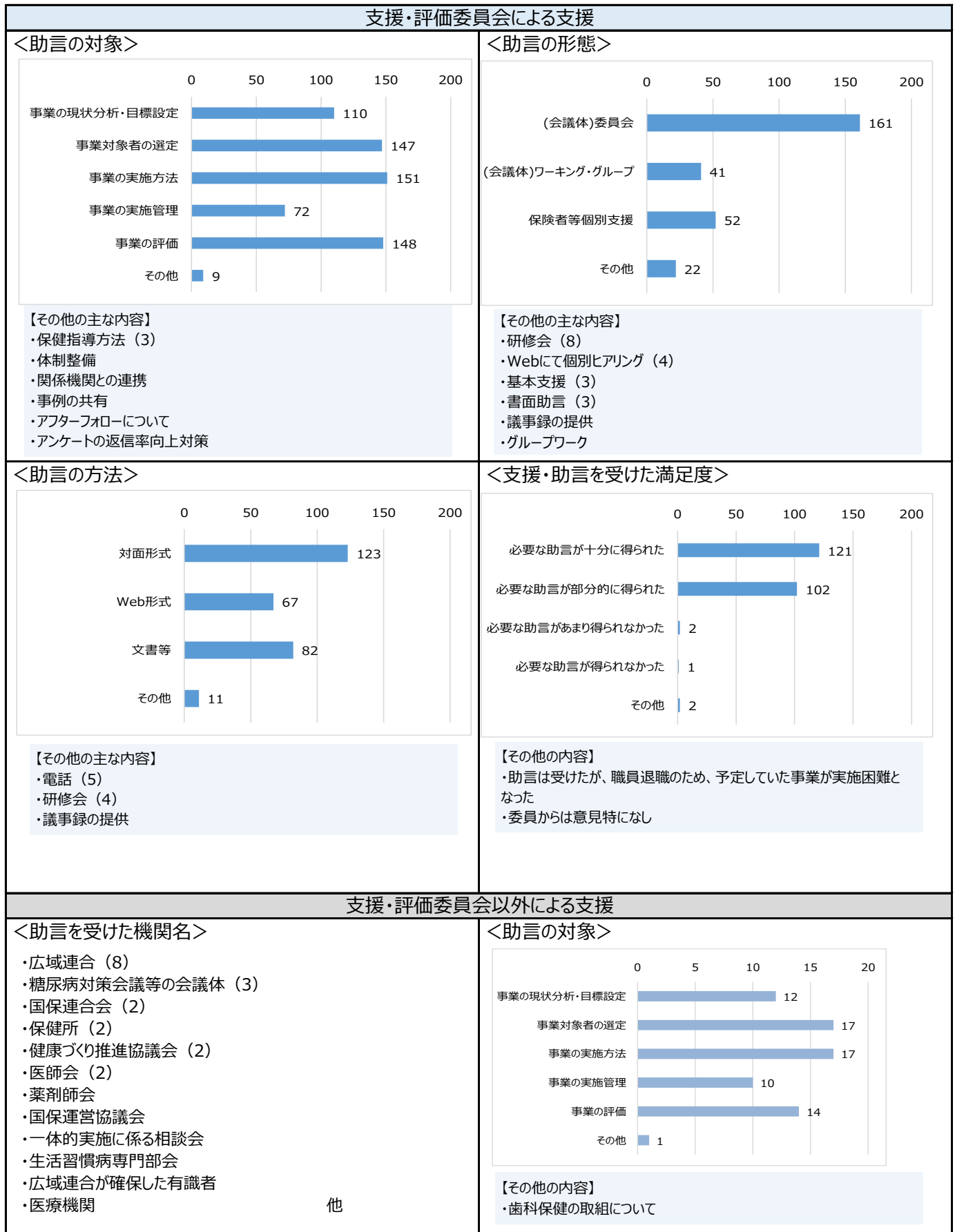
調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 14、支援・評価委員会以外による支援 5

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑤生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

（単位：構成市町村）



調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 228、支援・評価委員会以外による支援 23

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑥重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組

（単位：構成市町村）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・保健指導方法</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	8	事業対象者の選定	9	事業の実施方法	10	事業の実施管理	6	事業の評価	9	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会 ・Webにて個別ヒアリング ・書面助言</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	11	(会議体)ワーキング・グループ	0	保険者等個別支援	3	その他	3
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	8																								
事業対象者の選定	9																								
事業の実施方法	10																								
事業の実施管理	6																								
事業の評価	9																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	11																								
(会議体)ワーキング・グループ	0																								
保険者等個別支援	3																								
その他	3																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会</p>	助言の方法	回数	対面形式	4	Web形式	5	文書等	8	その他	1	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	8	必要な助言が部分的に得られた	7	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	1	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	4																								
Web形式	5																								
文書等	8																								
その他	1																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	8																								
必要な助言が部分的に得られた	7																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会（2） ・広域連合 ・医師会 ・国保運営協議会 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・残薬の取組みについて確認、方法</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	3	事業の実施方法	4	事業の実施管理	1	事業の評価	2	その他	1										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	3																								
事業の実施方法	4																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	2																								
その他	1																								

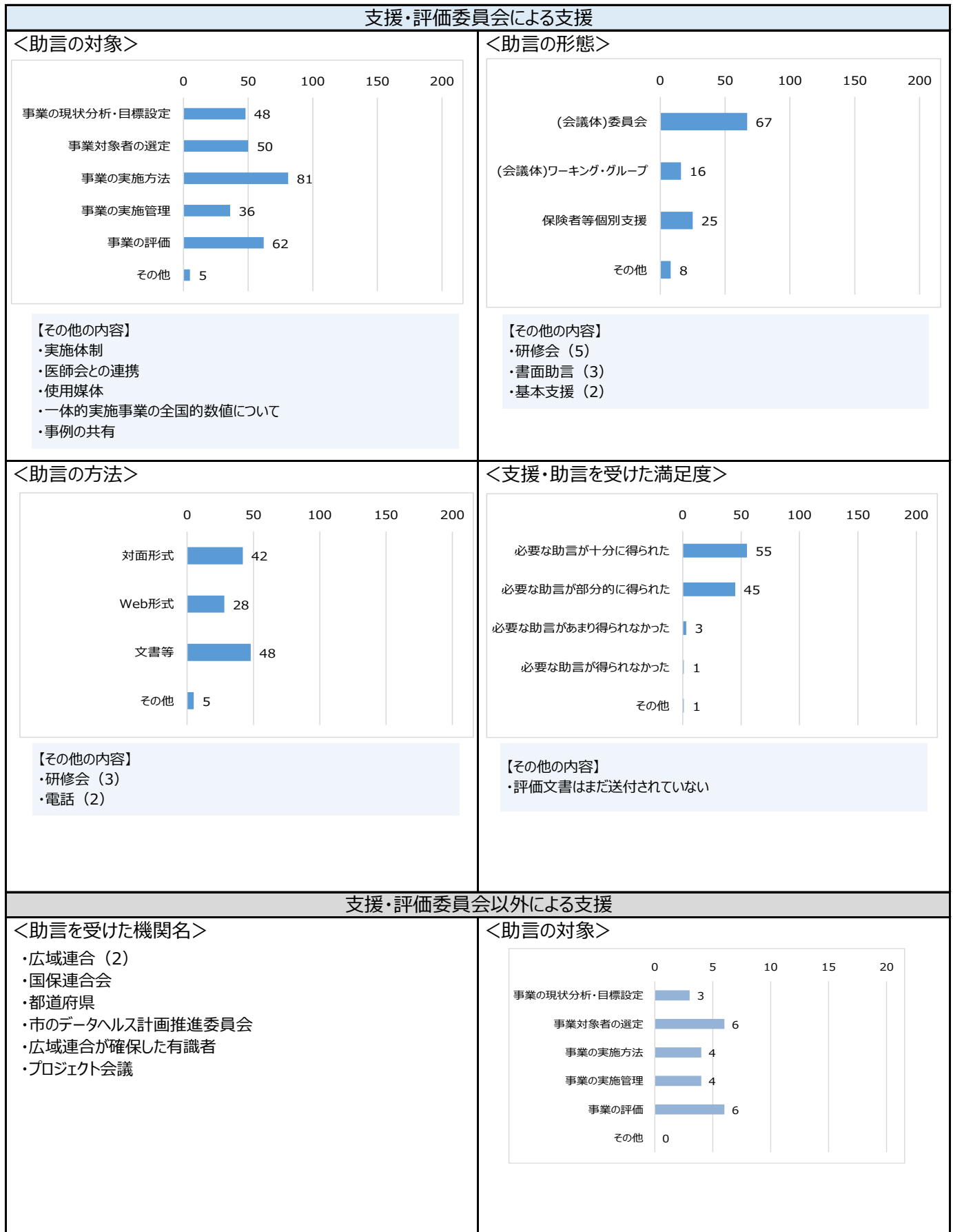
調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 17、支援・評価委員会以外による支援 4

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑦健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続

（単位：構成市町村）



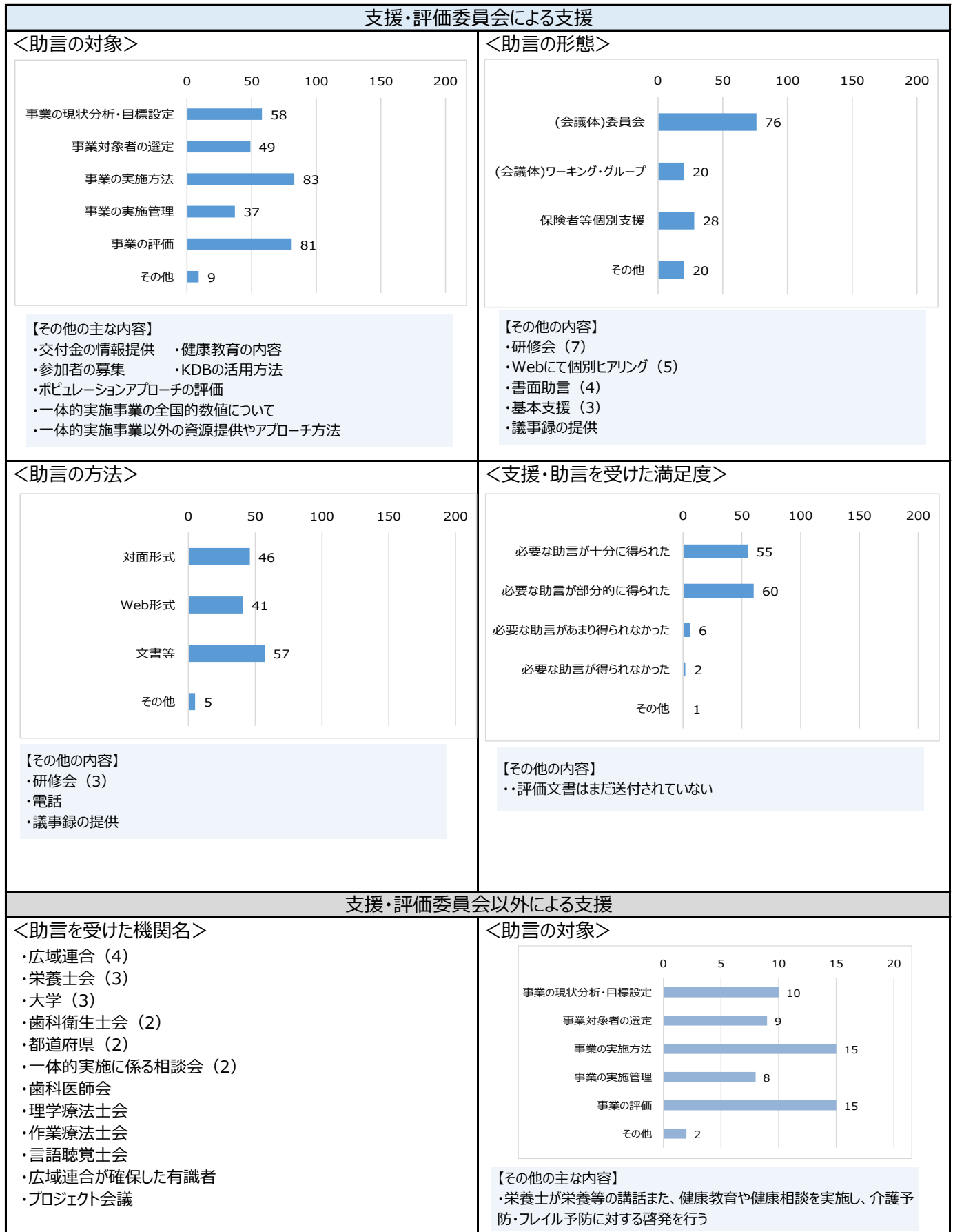
調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 106、支援・評価委員会以外による支援 7

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑧フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談

（単位：構成市町村）



調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 124、支援・評価委員会以外による支援 20

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑨低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援等

（単位：構成市町村）



調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 39、支援・評価委員会以外による支援 6

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑩ 高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくり

（単位：構成市町村）

支援・評価委員会による支援																									
<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・交付金の情報提供</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	14	事業対象者の選定	9	事業の実施方法	16	事業の実施管理	8	事業の評価	15	その他	1	<p>＜助言の形態＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会（2） ・Webにて個別ヒアリング（2）</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	13	(会議体)ワーキング・グループ	2	保険者等個別支援	5	その他	4
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	14																								
事業対象者の選定	9																								
事業の実施方法	16																								
事業の実施管理	8																								
事業の評価	15																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	13																								
(会議体)ワーキング・グループ	2																								
保険者等個別支援	5																								
その他	4																								
<p>＜助言の方法＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会 ・電話</p>	助言の方法	回数	対面形式	3	Web形式	10	文書等	15	その他	2	<p>＜支援・助言を受けた満足度＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	9	必要な助言が部分的に得られた	12	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	1	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	3																								
Web形式	10																								
文書等	15																								
その他	2																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	9																								
必要な助言が部分的に得られた	12																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p>＜助言を受けた機関名＞</p> <p>・広域連合 ・広域連合が確保した有識者</p>	<p>＜助言の対象＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	2	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	1	事業の実施管理	1	事業の評価	2	その他	0										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	2																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	1																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	2																								
その他	0																								

調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 23、支援・評価委員会以外による支援 2

（複数回答）

令和6年度における支援・評価委員会等の支援状況（構成市町村）

⑪ 健診や医療の受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨など

（単位：構成市町村）

支援・評価委員会による支援																									
<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の内容 記載なし</p>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	14	事業対象者の選定	10	事業の実施方法	12	事業の実施管理	7	事業の評価	9	その他	1	<p><助言の形態></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の形態</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(会議体)委員会</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>(会議体)ワーキング・グループ</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>保険者等個別支援</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の主な内容】 ・研修会 ・書面助言</p>	助言の形態	回数	(会議体)委員会	14	(会議体)ワーキング・グループ	4	保険者等個別支援	4	その他	3
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	14																								
事業対象者の選定	10																								
事業の実施方法	12																								
事業の実施管理	7																								
事業の評価	9																								
その他	1																								
助言の形態	回数																								
(会議体)委員会	14																								
(会議体)ワーキング・グループ	4																								
保険者等個別支援	4																								
その他	3																								
<p><助言の方法></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の方法</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対面形式</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>Web形式</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>文書等</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の内容】 ・研修会 ・電話</p>	助言の方法	回数	対面形式	9	Web形式	5	文書等	10	その他	2	<p><支援・助言を受けた満足度></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援・助言を受けた満足度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な助言が十分に得られた</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が部分的に得られた</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>必要な助言があまり得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>必要な助言が得られなかった</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	支援・助言を受けた満足度	回数	必要な助言が十分に得られた	8	必要な助言が部分的に得られた	9	必要な助言があまり得られなかった	1	必要な助言が得られなかった	1	その他	0		
助言の方法	回数																								
対面形式	9																								
Web形式	5																								
文書等	10																								
その他	2																								
支援・助言を受けた満足度	回数																								
必要な助言が十分に得られた	8																								
必要な助言が部分的に得られた	9																								
必要な助言があまり得られなかった	1																								
必要な助言が得られなかった	1																								
その他	0																								
支援・評価委員会以外による支援																									
<p><助言を受けた機関名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連合 ・国保運営協議会 ・医師会 ・プロジェクト会議 ・広域連合が確保した有識者 	<p><助言の対象></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言の対象</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の現状分析・目標設定</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業対象者の選定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業の実施方法</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業の実施管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業の評価</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	助言の対象	回数	事業の現状分析・目標設定	3	事業対象者の選定	2	事業の実施方法	3	事業の実施管理	1	事業の評価	1	その他	0										
助言の対象	回数																								
事業の現状分析・目標設定	3																								
事業対象者の選定	2																								
事業の実施方法	3																								
事業の実施管理	1																								
事業の評価	1																								
その他	0																								

調査対象：構成市町村 回答数：支援・評価委員会による支援 19、支援・評価委員会以外による支援 5

（複数回答）

その他の支援事業については以下の通り。

※事業名のみで支援内容等の記載がないものについては支援事業としてカウントしていない。

No.	その他 事業内容	構成市町村数
支援・評価委員会による支援		
1	身体的フレイルに関する事業	19
2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	3
3	ポピュレーションアプローチ	2
4	糖尿病性腎症重症化予防	2
5	ポリファーマシー啓発事業（服薬情報通知）	1
6	医師会との連携について	1
7	運動教室	1
8	健康教育・健康相談（糖尿病）	1
9	健診業務	1
10	骨折予防対策	1
11	骨粗しょう症ハイリスクアプローチ	1
12	庁内連携体制の構築	1
13	低栄養防止事業	1
支援・評価委員会以外による支援		
1	後期高齢者心電図検査モデル事業	1
2	訪問支援	1

「支援・評価委員会による支援」の記述形式部分「今後の助言への要望」について、事業ごとに分類し多かった意見をまとめた。

※回答のあった意見を集計作業にて分類。意見が複数の分類にまたがる場合はそれぞれの分類毎でカウントしている。

No.	事業内容	分類	主な内容（要約）
1	①健康課題分析	継続支援・同様の支援（11）	○継続的な助言を希望 ○研修会の継続的な実施 ○現状の方法での支援
2		情報共有・好事例の共有（8）	○国・県の動向等の情報提供 ○近隣市町とのグループディスカッション ○他市町村の好事例
3		事業評価・評価指標（4）	○保健事業を評価するためのデータ活用の方法 ○個別保健事業を評価する具体的な視点について
4		事業計画・課題（4）	○成人期および前期高齢者からの連続性を考慮した保健事業の企画・立案
5		効果的・効率的な実施方法（4）	○連携機関との地域課題の共有についての効果的な手法 ○無関心層への効果的なアプローチ
6	②栄養に関する相談・指導	効果的・効率的な実施方法	○ポピュレーションアプローチの方法
7	③口腔に関する相談・指導	KDB・ツール等システム	○一体的実施・実施支援ツール入力・活用方法
8	⑤生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導	継続支援・同様の支援（15）	○引き続き専門的な視点から助言いただきたい ○次年度も同じような形式での支援
9		効果的・効率的な実施方法（12）	○効果的な指導方法を具体的に ○効果的な受診勧奨について ○一体的に重症化予防を実施していくための手法
10		情報共有・好事例の共有（10）	○先進的な取組を行っている自治体の内容 ○ツールの他市町村における具体的な活用方法
11		事業評価・評価指標（8）	○サルコペニアを併発している対象者の評価方法 ○評価指標のポイント
12		個別・対面支援等支援方法（8）	○委員からの助言時間を長くしてほしい ○電話より対面での助言
13		対象者抽出基準・優先順位（7）	○経年的な対象者管理の視点 ○リスクが重複している場合の重症化予防の優先順位
14	⑦健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続	継続支援・同様の支援（6）	○同様の方法での助言を希望
15		情報共有・好事例の共有（5）	○グループ支援での他市町の活動の情報共有 ○町の資源やサービスへの連携がうまくいっている事例
16		個別・対面支援等支援方法（3）	○次年度は個別支援を希望 ○地域のことを理解し助言してほしい
17	⑧フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談	効果的・効率的な実施方法（6）	○質問票の活用方法 ○フレイル予防について理解していない層への介入方法
18		事業評価・評価指標（5）	○ポピュレーションアプローチを継続するうえでの質的な評価基準 ○一度しか介入できない場合の有効な評価指標・方法
19		継続支援・同様の支援（4）	○引き続き研修会を希望 ○引き続き実施や評価について書面での助言を希望
20	⑨低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上に向けた支援等	継続支援・同様の支援（2）	○市町村の実情を把握している大学教授からの助言を引き続き希望
21		経過・事後フォロー（2）	○実施後の参加者フォロー

「支援・評価委員会以外による支援」記述形式部分「支援・評価委員会以外に助言を求めた理由」について、事業ごとに分類し多かった意見をまとめた。

※回答のあった意見を集計作業にて分類。意見が複数の分類にまたがる場合はそれぞれの分類毎でカウントしている。

No.	事業内容	分類	主な内容（要約）
1	①健康課題分析	事業・実施方法への助言（10）	○訪問支援でシステムを使用しながら相談できたため ○対象者の抽出方法等で不明点があった
2		都道府県・市町村の会議体等（4）	○医療関係者や県等との連絡・協議の場としているため ○市が開催する会議において学識経験者や医師会等から直接助言をもらえるため
3		地域の実情に精通（3）	○地域の現状を知る関係機関から助言を受けるため
4	②栄養に関する相談・指導	委託によるもの（3）	○一体化事業の一部事業委託をしているため
5		事業・実施方法への助言（2）	○実施計画作成時に助言を受けたかったため
6	③口腔に関する相談・指導	事業・実施方法への助言（4）	○事業評価への助言を受けるため ○レセプトデータを取得したかったため
7		委託によるもの（2）	○業務委託先のため ○委託契約を結び、後期高齢者の重症化予防について共通認識する必要があったため
8	④服薬に関する相談・指導	都道府県・市町村の会議体等（3）	○市が開催する会議において学識経験者や医師会等から直接助言をもらえるため
9		委託によるもの（2）	○服薬指導事業を委託しており、会議を定期開催しているため
10	⑤生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導	事業・実施方法への助言（7）	○次年度に向けてどのようにしていくかを整理する機会が欲しかったため ○来年度の事業計画について相談したかったため
11		都道府県・市町村の会議体等（6）	○定期的に開催する会議において、各市町村から有識者に助言を求める機会が設けられている
12		地域の実情に精通（3）	○地域の関係者の方の協議、助言がいただける
13		連携強化・情報共有（3）	○「健康なまちづくりに関する連携協定」に基づき、連携により事業を実施している ○住民の身近なかかりつけ医として町民の健康増進のため各方面でご協力をいただいているため
14		専門的知見の活用（3）	○対象者の選定や実施方法等について、専門医の意見を伺うため
15	⑦健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続	連携強化・情報共有	○医療関係者や県等との連絡・協議の場としている
16		専門的知見の活用	○歯科医師の視点での専門的な助言が欲しかった
17	⑧フレイル予防の普及啓発活動やフレイル予防などの健康教育・健康相談	事業・実施方法への助言（7）	○ポピュレーションアプローチに関する助言を受けた ○口腔フレイルの実施に当たり、実施内容と今後の評価について助言を求めた
18		委託によるもの（3）	○業務委託先のため
19		専門的知見の活用（2）	○通いの場に協力頂いている専門職の意見を聞き、事業に反映させるため
20		その他	○支援・評価委員会後に令和7年度の事業計画を立てる上で相談したいことが生じたため
21	⑪健診や医療の受診勧奨や介護サービス等の利用勧奨など	連携強化・情報共有（2）	○医師会が所属する委員会に助言を求めることで、医療連携が推進しやすくなる ○健診を実施している地元の医療機関の協力を得て、健診の受診率を上げるため

委員または委員会としての支援状況

<委員票より集計>

集計の内容

- 支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
- 支援における成果_具体的内容
- 今後の支援の方向性_具体的内容
- 支援を行った感想等

※掲載については順不同。

個人・団体等を識別できる記述等については、一部を削除又は置換して掲載している。

支援にあたって抱えていた課題_具体的内容

No.	支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
1	市町村の支援をするためには、管轄する市だけでなく、管外や県外の市町村の事例を知らなければ助言が難しく、実務を担っていない保健所が市町村に対して助言することが難しく感じました。そのため、具体的な助言を求めている市に対して、抽象的だったり、市の実情に沿わなかったりする助言になってしまい、市が求める回答ができなかったと思う時もありました。
2	今年度新たに委員に就任するにあたり、管内各保険者のニーズについては不明であり、手探りで支援を開始した。 また、当然ながら、各保険者間で体制（予算・人員）に差があり、取組の度合いに格差があるのを感じた。
3	保険者には、委員からの支援に合わせて、他保険者の状況を知りたいというニーズがあり、今年度は第2回にグループによる意見・情報交換が設けられていました。支援希望保険者が多い中、難しい状況ですが、全ての回でグループによる意見・情報交換ができるとよいと思いました。
4	各保険者（市町村）間の取り組みの格差を感じるが、事業評価委員会に出されない自治体もあり、保険者での取組の詳細について把握は難しい。また、マンパワー不足等の理由から、事業の企画・運営・評価が一人担当者に任されており、事業をこなすことに手一杯となり、保険者内で十分検討できていない自治体も見受けられる。
5	コロナ禍を挟んでの担当者の異動等があり、各保険者の状況が把握できていなかった。
6	支援にあたって、それまでの関わりがなかったため、詳細な実態が把握できていなかった。
7	今年度のワーキンググループ（WG）では、各地域においてグループ形式による支援を実施した。グループ支援であったことから情報の横展開は一定程度可能となったものの、個別課題を深く掘り下げる点において課題が残った。例えば、服薬支援等、少数の保険者のみが抱える特定の課題については、グループ支援後に個別支援で対応したが、その過程において他保険者への情報共有・横展開が十分にできなかったことも課題として挙げられた。さらに、保険者支援を充実させるためには、支援・評価委員会開催前に、事務局による参加保険者へのヒアリング実施や、事務局と委員との事前情報交換の機会を複数回設けるなど、保険者が抱える課題をより丁寧に掘り下げることが必要であった。
8	一体的実施については県内全市町で取り組みを始めたものの、特別調整交付金申請書にはアウトプット・アウトカム指標の記載あるもののストラクチャーやプロセスについて記載を求められていないため、各市町での取り組みや実施体制、保健事業のどこに困難を感じているかを把握しづらい状況であった。
9	司会担当者の力量で、事前準備、委員会での資料提供など格差がある 保険者間で取り組みに温度差があり、担当者が代わると進捗が後退する傾向がある(共有が不十分) 支援数が時期によってバラツキがあり、特定の時期に集中する傾向が高い
10	今年度委員に就任したところであり、保険者にどのようなニーズや実態があるのか、事前に資料の送付を受けていても委員会での短時間で把握できるのか不安であった。 また、保険者の地域での特性もあり様々な取組があり取組具合の格差があったように思われる。
11	保険者数が多く、委員会の負担が大きいため、市町村の人事制度による数年単位での担当者の異動が生じるため、担当者の知識や経験が醸成されず、データヘルス計画策定が始まってから、約10年が経過し、保険者間の力量の格差が広がっている印象を受ける。この背景には、担当者の異動の問題だけでなく、専門職不在であって、衛生部門との連携が取れていない、上司の理解が得られないなど組織の課題も無視できない。
12	保険者の求める助言内容が、複数保険者で共通であることが多く、もう少し、効率的・効果的な支援の方法を検討する時期に来ていると感じました。
13	対象自治体数も多く、キャリアもまちまちで、知識や視点も異なる。また、毎年担当者が変わるため、前年度の支援が表層的に伝達されるにとどまっている 評価の方法に対するニーズがあるが、自治体が解決したい課題が明確でない
14	保険者への支援のうえで、都道府県側や関係機関（特に医師会）との連携が重要と考えているが、その連携が不十分で、必要な情報共有なども十分にできていなかったと感じている。 保健事業の評価シートを事前に確認して検討会等に出席するも、シートにある情報以外が多く、保険者によってはまとめきれないため時間を要してしまい、検討や議論の時間が少なくなってしまう、十分な支援になっていないのではないかと感じることもあった。
15	各保険者から事前に提出する資料が事務局の方で整理されていて見やすかったが、保険者の規模や健康課題については掲載する欄がなく、保険者ごとにHP等でデータヘルス計画書やその他の情報を収集する必要があった。
16	具体的で細かな助言を求められていることが多いと見受けられるので、委員会としての負担を懸念する。FAQで対応する等の簡素化を図れないか。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催回数が多く、事前協議も含め委員会にかかる時間が長いので、委員の負担が大きく、全員出席することが難しい。委員の欠席が多い会では十分な助言が得られない場合もあったのではないかと感じる。 ・オンラインの支援では、事務局と保険者とも通信環境が不安定等のトラブルがあった。市町村間の情報交換も行いにくい。 ・支援を希望する内容の格差が見られ、委員の助言よりも保険者間の情報共有や好事例の共有が効果的に感じる事例もあったと思う。 ・委員会では支援することが難しい個別性の高い事例に関する相談や、助言をする上で十分なデータ等が示されない中での相談等、委員が対応に苦慮するケースもあった。 ・市町の事業担当者が交代となった場合に、過去の相談内容や委員会での助言等が担当者間で共有されず、毎年同じような相談内容で支援を希望する場合がある。 ・重複頻回事業に係る取組は、医師会との調整が必要であったり、骨折予防事業においては、骨折の要因は多岐にわたることから、助言をするのが難しく、一般的な内容の助言になることがある。 ・今年度、国民健康保険組合の委員会の活用はなかったが、保険者の生活リズムが異なる等、一般論があてはまらない組合もあり、相談にのることが難しい。

No.	支援にあたって抱えていた課題 具体的内容
18	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者のニーズに対して、具体的な対策や助言を行うのは難しいと感じた。 ・保険者のニーズを具体的に把握することが難しい。 ・管内保険者間での取り組み度合いに格差があり、助言を受けるとすぐに取り入れて実施されているところもあれば、なかなか進まず同じような助言を繰り返し助言しなければならないような保険者もあった。 ・支援については事前に資料をいただいて意見を出す方式に変更されたが、短期間での資料の確認だけでも大変であり、また資料だけではわからないことも多く、結局は支援の場で確認しなくてはならず、時間がかかってしまう。
19	<p>支援数の増加により、委員の負担が大きくなっている。また、支援数が多くなることで、事務局サイドも保険者のニーズや実態の把握が的確にできているのかといった問題も発生している。令和6年度からグループ支援を取り入れたことで、保険者間の情報共有についての課題は若干ではあるが改善傾向にあると考えられる。本県は、広域に渡っているためWebでの参加も多く、保険者間の意見交換や、委員への問いかけなどまだまだ少ない傾向にあり、今後委員会の運営方法についても考えていく必要がある。</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> ・本県では、治療中でありながら血糖等の管理が不十分な方の割合が年々増加している。市町保健師は重症化予防としてこれらの方々への保健指導に取り組んではいるものの、既に重症化した事例だと時間がかかり成果も得られにくい。治療中は本来医療の責任、この点を県・医師会に理解していただいた上で、保健との連携を進めたい。 ・医療連携の課題：医療受診が必要な方を受診につなぐための保健指導の力量の課題と医療機関と連携体制の構築のために医師との関係づくりの課題がある。 ・市町の取組みの差：保健事業の実施体制の差がある。保健指導の優先者の決め方、指導の実践と評価に課題を感じている。 ・保険者のニーズ・実態の把握：保健事業の人員体制が整っていない、または人員がいても保健事業や指導の経験不足から、効果的な実践を行うための育成支援が必要と感じている。 ・委員の支援スキル向上に係る助言等が欲しく感じることもあるが、何より事務局である国保連への人的・経済的な十分な支援があるべきではないかと感じる。少数精鋭で非常に多くのことを頑張っているが大変そうなのでお願いしたい。支援を受けるため・課題抽出のための提出資料が市町の負担になってないか気になる。それを読取って、委員会開催する事務局の負荷軽減も必要だと感じる。市町支援と評価委員への支援という両刀使いは申し訳ない。 ・後期高齢者の市町別の健康課題整理などへの国保連としての支援を多く頂いており感謝している。欲を言えばKDBシステムを使って整理した健康課題解決のための「一体的実施事業」を効果的・効率的に実施されているか否か、市町国保の保健事業の延長線上で講評頂ける時間が微増することを願っている。
21	<p>保険者ごとに委員会にける事業の内容が異なり、また参加する職員が委員会に参加する年数も異なることから、助言を与えた際の理解度、事業への反映度合いに違いが生じる。</p> <p>経験の浅い担当者ほど、まずは特定健診受診率を上げることばかりに気をとられて、健診自体の運営の工夫、特定保健指導の質の向上などには関心を払わない傾向がある。</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ・医療分野との連携体制を含む地域特性や保険者のマンパワーの状況により、保険者ごとに、この取組に費やせる時間や今後の取組を拡大している可能性等が異なる中で、どこに照準をあて二次医療圏別研修を実施したらよいか悩んだ。しかし、研修会や支援（個別・集団）を重ねていく中で、どの保険者も抱える共通の課題、地域特性やマンパワーの状況に応じた個別の課題が整理できてきたため、手上げをしていない保険者への働きかけも含め、次年度以降の参考にしていきたいと考えている。 ・積極的に支援を希望する市町村が少ない。
23	<p>効果的・効率的な保健事業の実践が保険者によって取り組み状況に違いがある。成果が見えてきている保険者もあるが、各保険者が実施していく経過の中でどの段階で困っているのかを具体的に把握することが大事。</p> <p>保険者によって課題解決への意識にも差がある。各々、解決に向けて実践しなくてはと気づける実態を共有していくことも必要</p>
24	助言希望事項の内容も保険者間によって差がみられ、助言・支援も苦慮した。
25	委員会として、各保険者の詳細な状況が把握できていない。
26	現在の委員7人で、全6回のグループ支援に参加するほか、委員会として個別支援のコメントの内容確認をこなすのは負担が大きく、各市町村の事情に沿った十分な支援をすることが難しかった。
27	事業を推進する上で妨げとなっている課題が何かの把握。（マンパワー、体制作り、その他）
28	グループ支援時に、先進的（優良）保険者のニーズ（悩み）に対して、十分な助言を提供できなかった。
29	<ul style="list-style-type: none"> ・支援する保険者の数が年々増加し、負担もその分増している。 ・支援事業数が多く、委員や参加者の負担が大きくなりがちだった。 ・支援を希望する部分や内容を、本音も含めて聞き出すスキルも必要である。 ・連携機関が医師会に限られる場合も多く、地域の専門職の活用などを考える余地がある。 ・他の好事例を参考に組み立てるよう、自組織の体制や地域資源などの要素も含め情報提供できるとよい。 ・保険者より「よいのか、よくないのか」の判断を求められることがあるが、短時間の説明であり、考え方の助言はできるが、保険者の実態把握が十分にできないままの判断は難しいと感じている。 ・各保険者のニーズに対して、専門以外の課題については、具体的な対策や助言を行うのは難しいと感じる。 ・事前の会議資料配付によりある程度把握して会議に参加できているが、保険者のニーズや実態に沿った支援の限界を感じている。 ・毎年同じコメントをしていることが多いので、これらの対応を検討する必要があると感じる。また、これらの対応がスムーズに行えれば、時間も短縮でき、効果的な協議ができるのではないかと。 ・申請書や実施計画、事業評価シート等の委員会資料は詳細に作成、整理されている。今年度から委員として参画したが、それら資料を事前に確認し、他の委員の助言を踏まえながら自身の立場で助言ができるよう心掛けた。一方で、限られた時間の中で保険者が期待する助言が十分にできたかどうかという不安もある。また、資料作成の負担感の声もある中で、多くの保険者が参加し効率的・効果的に実施できる体制の検討など、引き続き連携・協力していきたいと考える。

No.	支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
30	国保・後期高齢者に関する事業を実施した経験がないので、直接的な事業へのアドバイスが困難であった。 庁内担当者の意見を確認するとともに他領域の保険担当者としての視点から助言を行い対応させていただいた。
31	事務局が調整・支援してくださっていたので、支援市町村数は多いですが、委員負担は軽減されていたと思います。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・他町村の医療状況や地域資源等、知識がなくてアドバイスしたことが的外れになってしまわないか不安に思っている。医療機関と連携をすることは地域によってはかなり難しいので、進展しにくい。 ・（単に自分の力不足だが）それぞれの保険者の実情や地域特性をふまえた助言をするのが難しい。事務局が事前にアヒリングにより保険者のニーズや実態を把握し、支援委員会に情報共有してくださったので委員としての負担感はそれほど感じなかった。 ・既に課題対応のための工夫に取り組んでいるが、保険者のニーズにあった支援・助言ができるよう常に試行錯誤しており、書面から保険者の実態を理解することに時間を要している。 ・事前に事務局が詳細に情報収集してくださり内容を把握することができましたが、オンラインの性質上、担当の本音をつかみきれず、どのレベルの助言を求めているのか、行った助言の方向性が違っていなかったか、少なからず不安に感じることがありました。 ・市町村の困り感が支援・評価委員会の活用に繋がらず、相談件数が少ない。市町村からは、そもそも何を相談したら良いかわからないとの声もある。
33	マンパワー不足の保険者の中には、事業評価を実施、整理をしていない保険者があったことから、特定健診開始年度（平成20年度）もしくは過去5年間からの保健事業（特定健診・保健指導、健診未受診者、生活習慣病予防、重症化予防、医療機関未受診者、治療中断等）を取り纏めて一覧表にもらった。 中には、少ない人数で平成20年度から20以上の保健事業を抱え継続している保険者もあり、事業評価、事業整理ができていないことがわかった。
34	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者が抱えている実態やニーズを正確に把握する方法（時期をとわない等）は検討課題と思われる。 ・糖尿病性腎症重症化予防に対するハイスコアアプローチにおける重症化予防対象者の優先度。 ・以前から医療機関との連携について難渋しているケースが必ず存在している。その都度、医師会からの働きかけという結論になる。しかし、現時点でもその相談が散見されており、全体的に進展に乏しい印象である。県医師会レベルではなく、郡市医師会レベルの参加があれば進んでいくのではないかと。 ・保険者のニーズに関して、過去に相談があったような内容のもの、内容がいまいち把握しにくいものが散見される。あらかじめ、事務局でスクリーニングと調整を行ってほしい。
35	小規模町村の専門職不在や専門職不足などにより、保健事業の取り組みや第3期データヘルス計画等の推進が難航する可能性がある。
36	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者が増加するなか、保険者のニーズ・実態把握や、限られた委員会開催時間の中で必要な助言・支援を行うための準備が、委員会、特に事務局の大きな負担となっている。 ・熱心に取り組んでいる保険者の場合、考えられる取組は既に実施しており、保険者の参考となる助言を十分には行えなかった。
37	支援を希望する保険者の増加により、提出いただいた書類全部に目を通すことができず、質問に答えるだけの支援になってしまった感が否めない。資料に目を通し、保険者が気が付かない問題点に対し質問を寄せ、キャッチボールができるような支援を目指したが、時間的に難しかった。
38	<p>（１）市町村格差に対する関係機関の役割と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当県は多くの市町村あり、自治体の規模も市から村までと、体制や社会資源等に大きな差があるため、体制や社会資源等を踏まえた支援が必要である。また、糖尿病性腎症重症化予防事業等の重症化予防対策において、医療連携の課題を抱えている自治体が多く、専門医との連携や地域医師会との調整等については、自治体単位ではなく保健医療圏域内で課題を共有し、保健所とともに取り組みを推進していくことが必要である。これらの現状・課題を踏まえ、「医療連携」「地域連携」の充実・強化の観点から、県と連携し、地域性・継続性のある支援を目指す。また、二次医療圏の医療連携や職域連携を推進する立場の保健所にも委員会へ参画いただき、保健医療圏域内の現状・課題の共有及び取り組みについて協議・助言を行うこととする。 <p>（２）参加者の負担軽減のための運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会への提出書類等については、市町村の負担にならないよう書類様式の簡素化を図る必要がある。 ・好事例の紹介等を取り入れ、より効果的な支援を目指す。 ・開催日程や場所、設備等に対する要望があがっており、特に開催場所については遠方の市町村より要望が多くあがっているため、保険者のニーズに合わせた企画を行う必要がある。
39	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者内部においても国保部門と保健部門、担当者と担当者以外で意識の差を感じる。わが町の健康課題を共有し、解決に向けた目標や取組、役割分担など話し合いながら進めていく必要がある。 ・課題の解決・取組の推進に向けたPDCAサイクルでの保健事業の展開が十分できていない。何をしたかは整理しているが、その結果がどうだったのか、よかったのか・悪かったのか、成果につながったのかを丁寧に確認して具体化していく必要があるができておらず、取組の改善には繋がっていない。 ・人事異動により取組が積みあがっていない（引継ぎがうまくいかない）。
40	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村国保の多くは基本的な保健事業に大きな違いはないが、独自の取組について、自治体の状況が十分に把握できず、課題やニーズを理解することが難しかった。 ・また、求められる助言のレベルが大変詳細な内容のため、実態がわからず助言に苦慮した。
41	委員会の運営、保険者のニーズ把握は、事務局の献身的な働きでスムーズに行われた。しかし、対象となる保険者数が多い本県では、運営にあたっての事務局負担は非常に大きい。保険者側の取り組み態度や地域事情に濃淡がある中では、メリハリをつけた支援をせざるを得ない。
42	早い時期に保健計画など実態を捉えるための資料をいただいていたので、対象保険者の状況を理解できたが、委員会に求めている支援の背景までは理解することは難しかった。しかし国保連合会の担当の方が事前に詳細に聞き取りされ方向性を導いてくださったので、非常に助かった。 毎年感じるが、国保連合会の担当者の方々の負担が大いと思う。
43	委員会の活用を希望しない未支援保険者（市町村）への関わり、支援の有り方について
44	医師会との連携が課題

No.	支援にあたって抱えていた課題 具体的内容
45	支援を希望された自治体のニーズについて、会議で状況を教えていただいた上で明確にすることが、支援を効果的に行うためにも重要だと思います。保険者が当初申込書に記載している内容が真のニーズであるか、希望されているニーズの解決の際に一緒に取り組めそうなニーズはないか等の検討が必要です。事務打ち合わせの後に会議を開催すること、事務打ち合わせの状況を委員に教えてくださり対応と一緒に検討できたことで、この課題に対応することができたと考えます。
46	保険者数の多い本県においては、保険者のニーズに合わせて効果的に支援を行うために、複数の支援方法を用意している。支援側のリソースにも限りがあるため、今年度のフォローアップ支援対象の保険者に対しては、ニーズ調査を行った上でWeb会議による支援も取り入れて対応している。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施をさらに推進するためには、県と後期高齢者医療広域連合との連携が欠かせないが、連携体制としては十分ではなかった。
47	支援に関する課題はありません。 国保連合会は、保険者のニーズと実態を丁寧に分析し、把握しており、委員会に向けて事前に保険者の課題を整理してくれました。また、委員会での到達目標を明確に設定したことで、支援はスムーズに進行しました。結果として、支援を受けた保険者からは高評価が得られていたと考えます。
48	当職の経験・知識不足により、保険者の準備状態やニーズ等を掘り下げる視点、目指す方向性を整理・焦点化する視点が不十分だった。そのため、保険者にとって実現可能な工夫等を提案するのが難しい。
49	支援は大きくは2点あり、健康課題等の解決に向けての戦略をどう考えるかと、担当者の企画評価のスキルアップをどう図るかがある。保険者が支援を求める際は大体、行き詰まったときである。限られた時間の中で、保険者の求めに応えつつ、委員会としての支援上のニーズを把握し、担当者が前向きに考えられる形で終了できるための進行方法について、技術が必要と感じている。事前の国保連事務局の準備に支えられている。
50	Webでの支援を担当した。Webでの支援だったため相手方とのコミュニケーションをうまくとれるのか不安があった。担当した保険者は、昨年対面にて支援しており忌憚なく話していただけたことから、対応に苦慮することなく支援できた。しかし、Webで短時間で1回のみの支援では相手方の環境を把握し、ニーズに合った助言をすることは難しいのではないかと感じた。また、対象となる保険者の主観的な意見だけでなく客観的な情報も踏まえて助言するには、管轄保健所等からの情報提供があるとより確かな助言になると感じた。
51	・保健事業支援・評価委員会の限られた時間の中で、参加保険者全てに助言するため、1保険者あたりの持ち時間が少なくなり、十分な助言ができない。 ・特定健診未受診者対策を助言希望事業とする保険者が多いが、助言希望内容が似通っている。
52	支援年数を重ねることで、保健事業の質の向上が見られる。一方で、同様の助言を繰り返している状況もあり保険者間での取組の格差を感じる。業者委託する場合、保険者が実績を分析・評価して次年度計画に反映できるような支援を実施しているが継続が必要と考える。
53	今年、初めての対応だったこともあるが、保険者のニーズや事業内容の方法などをまずはイメージすることに時間がかかり、評価に時間がかかった。保険者の代表者に参加してもらって説明してもらったこともよいと考えるが、学識者の大学委員による保険者ヒアリング支援事業を事前に行ってもらい効果的に取組んでいるので、ここをもう少し詳細に共有する時間があると評価をしやすいと思う。
54	・支援にあたり、年度ごとの評価、計画となっているため、多くの保健事業のアウトカム評価結果が出ていない（未評価）の段階での評価となり、評価の意味が薄く、評価・支援が行いにくい事態が生じている。PDCAサイクルを回すことができにくい運用方法になっている。 ・ストラクチャー評価、プロセス評価、アウトプット評価、アウトカム評価の4つの観点別に評価を行っているが、本来目指す成果であるアウトカム評価のために各観点が位置づくのに対し、観点別に達成未達成と今後の計画を考えている自治体が多く、観点別の評価を踏まえた総合評価を行う仕組みが十分に機能していない。
55	特定健診・特定保健指導が医療費の削減、自治体の健康指標の改善に有効であるという前提が国内外で否定されている現状で、委員会の意義を見出すことが難しい。膨大な税金と自治体の最前線でのマンパワーが投入されている健康施策が効果的でないとすれば、その資源をどこに、どの様に振り向けるかを議論すべき時期に来ているのではないか。例えば対象ではないがん検診は、エビデンスもしっかりしているので、こちらへの資源投入が妥当ではないか。
56	少しずつ支援評価の希望者数が増えることによって委員会の負担が増し、委員会の実施方法の改善が必要となっている。
57	・助言希望事項を事前に伺い、そこを包含する形で集団支援を実施していた。助言については、講演会議事録から事務局で抜粋して記載し、記載が難しい部分は委員に記載いただいていた。集団支援としながらも、個別支援の要素も大きかった。 ・集団支援と個別支援というのはそもそもの目的が違いため、集団支援で個別支援を包含するというのは現実的には難しい。
58	・「各自自治体における医療分析やデータヘルス計画（後期高齢者も）」について、事前に情報提供がなく、ネットで情報収集また途中で必要なデータは国保連合会に依頼をしていた。それらの情報について委員には、国保連合会あるいは医療・保険課からの事前の情報提供があってもよいと考える。
59	委員として、各保険者からの相談に応じた助言、また事業評価に対するスキルが不足している
60	保険者への発言がニーズに沿ったものになっていかと反省します。
61	保健所が、本事業や協議内容などを知らず、管内市町村の実態を知らない。自治体内で、保険者の事業などの課題が共有されておらず、市町村内で協働作業になっていない。
62	・高齢者で健診を受けない、医療機関を受診しないひと（高齢者の関心不足や移動手段の問題） ・多剤服用（ポリファーマシー）による健康リスクの管理が難しい ・低栄養やフレイル予防の必要性があるが、個別対応が十分にできない
63	保険者ニーズをより具体的に把握することが難しかった場合があります。一方で、ニーズは把握できるもののその解決法について、有効な対策の提案が難しい場合があります（健診受診者割合の増加をどのようにするか？等）。
64	各保険者の人口、担当者数などの体制に応じて、実施内容も変わってくると思われます。

No.	支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
65	<ul style="list-style-type: none"> ・支援保険者数の増加に伴い、少人数委員による訪問支援をしているが、委員間の目線合わせなどの学習の場を作ることにより、委員のブラッシュアップが重要。また保健所の関わりの強化を考える必要がある。 ・保険者のレベルアップにより分析に関する質問が多いが、保健事業の実施状況が理解できないと助言が的外れになる。 ・小規模保険者はマンパワー不足の影響が大きく、配慮した支援が必要である。 ・保険者内の部署を超えた連携は取れているが、外部機関との連携のために多方面に理解・協力を求める方策が不十分である。 ・少人数委員による訪問支援を導入することで、支援未実施保険者への支援につながり、取り組み度合いの格差の解消に貢献できている。 ・支援保険者数増加による委員会の負担については、委員数の増加、委員会支援については2班体制とすることで大幅に軽減された。
66	<p>委員の立場からは、国保連合会は単なる場の設定という事務作業だけを担い、市町村保健事業の指導は委員に丸投げに見え、県国保連の技術的な面での指導・助言機能の強化にはつながっていないのではないかと危惧する。例えば、県国保連職員も評価・支援委員に加わって、市町村への支援を行うべきではないかと考える。</p> <p>委員としては、多忙な中で資料の事前確認に時間を要し、当日は長時間の聴取と責任ある発言を要するため、緊張感と負担感が高い。市町村毎に要点を絞った資料作成と質問を準備していただけたのは良かった。</p>
67	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が多く読み込むまでに時間を要するため、課題把握が十分にできないままの支援となっている。 ・これまでの経過の中で、同じような課題を抱える保険者に対し、過去のアドバイスなども提示できると、より効果的な支援につながると考える。
68	<p>支援・評価委員会に委員として参加するに当たり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特に、当保健所管外の保険者の地域課題等の把握・考察が十分できているのか、 ○保険者は、地域特性・マンパワー等が様々であり、求められている必要な支援は異なること等について常に念頭において支援に取り組みました。
69	支援にあたり抱えていた課題として、各保険者の保健事業やPDCAサイクルを把握し、適切な助言や支援を行うこと。
70	保険者の取組格差
71	<p>支援数が増加すると業務量が増加するが、特に支援内容の確認、委員への質問の振分けなどを行っている国保連合会の負担が大きい。</p> <p>保険者から委員会への質問について、事業の実施と必ずしも結びつかない質問をする保険者が少なからず存在する。そのような保険者には支援・評価委員会だけの支援は難しいと考える。</p>
72	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から県（国民健康保険課）も保険者となり、支援を受ける立場になっている。そのため、委員として県（国民健康保険課）の職員が就任していることには違和感を感じる。
73	<p>事務局で助言者について調整していただいており、過度な負担とはなりませんでした。助言希望内容が多岐にわたること、また、助言を希望する保険者の実態等について把握した上で現状に即した助言を行うのは大変でした。</p>
74	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村数が多く、一市町村の支援に使える時間が限られてしまう。 <p>※以下は個人的な課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疫学・統計面での知識不足、費用対効果だけにとどまらない保健事業のエビデンスのある評価方法の知識不足。 ・従来の支援に加え、市町村の取組を尊重し、良いところを伝えモチベーションを上げる支援に取り組みたかったが、不十分だった。
75	<p>委員会からの助言が、保険者の保健事業の質や事業効果にどれほど寄与しているのか図れる指標があると良いが、各保険者の取り組み方法が多岐にわたるため、単純に支援した結果として効果を図ることが難しい。</p> <p>保健事業支援評価委員会報告会に参加したが、各県の取り組みがこれほど違うのかと驚いた。本県の良さを感じた部分もあったので他県での取り組みを把握することの必要性を感じた。</p>
76	<p>本県の支援・評価委員会はWeb形式で開催し、情報の横展開、他保険者からの発言による活発な意見交換を目的として、傍聴を可能としているところだが、委員会当日に他保険者へ情報提供を求めることに難しさを感じていた。</p>
77	<p>運営として、保険者間での意見交換を想定されていた回があったが、委員会の流れがうまく伝わっておらず、退室してしまった市町がみられた。</p>
78	<p>どの保険者においても効果的な保健事業を展開したいのははずであり、日々努力していると思われる。</p> <p>各種保健事業が住民の健康や笑顔、生き生きとした生活につながっていることを実感したいところだが、アウトカム評価で成果を求めることは実際には難しく、手応えが感じられないまま事業を継続することになる。</p> <p>保険者の実態にあった評価方法や考え方について具体的かつ丁寧に助言する必要がある。</p>
79	<ul style="list-style-type: none"> ・職種としての知識と視点で支援を担わせていただいているが、実際の日常業務で国保・後期高齢者事業に直接携わっている状況にはないので、自身に通知や制度他最新の認識があるか、が常に課題です。
80	<p>書面助言においては、保険者数が非常に多く、自身の所属での業務と重なることが殆どないため実態を捉えられず、どこにポイントを置けばよいのかわからなかった（委員個人の課題）。</p> <p>担当保険者については、昨年度と同一であったこと及び事務局から丁寧な事前情報提供等が得られたことで、保険者の現状やニーズ等の把握がしやすかった。</p>
81	<ul style="list-style-type: none"> ・支援希望する保険者は地域的な偏りがある。 ・支援後、助言がどのように活かされているか把握が難しい。
82	<p>支援を希望する保険者数が少ないことが課題であるため、今後はより多くの保険者から支援希望が挙がるよう、保険者側のニーズの把握に努めるとともに、当委員会の活用のメリットを保険者側に積極的に発信していく必要があると思われる。</p>
83	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の委員会につき5～6保険者の支援を行うため、委員会の事前の資料読み込みやコメントの検討に負担を感じた。（事前資料は膨大ではあるが、保険者の方から詳細な資料を出してくれることで事業の実際もわかることから、資料が多いことが一概に悪いとは言い切れない部分もある） ・今年度初めての参加だったため、保険者が具体的に委員にどのようなことを求めているのか、助言だけでよいのか、悩むことが多かった。 ・診療情報提供について、医師会との連携が一層必要だと感じているが、十分な取り組みができなかった。

No.	支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
84	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体間の格差の解消が引き続き望まれる。本県は依然として循環器疾患の死亡率が高い状態が続いている。 ・支援数（参加数）減少による取り組み度合いの格差が広がると思われる。 ・支援数増加と様式の変化（量が増えた）により、委員会用の資料が物理的に多くなった。そのため会議前の準備が事務局及び委員の負担が増えた（資料の印刷、通読など）。 ・保険者間の格差が明らかに大きくなっている。委員としての委員会当日の助言が、以前に比較して全ての参加保険者に役立つとは言えなくなっている。 ・今年度は昨年度より支援した保険者は少なかったが、支援を希望したのは意欲が高く、PDCAサイクルに沿った事業実施が可能な保険者が多かった。傍聴のみ参加する保険者もあるが不参加の保険者もあり、保険者間の取り組み度合いの格差はなかなか縮まらないと感じた。 ・様式の記入方法に対して毎回同じ様な助言（指摘）を保険者に行うことが多かった。また、健康課題に対して効率的・効果的に事業に取り組んでもらえるようにとの思いから委員は助言しているが、事業の計画及び実施にどれだけ助言が取り入れられているのか（役立っているのか）が分からず、委員としての役割が果たせているのかが不明。 ・委員会の支援を受けるに当たっては、市町村ごとに現状・課題等を整理する必要がある、準備が大変であると聞いている。「委員会のため」ではなく、通常の事業スキームにおいて、無理なくPDCAを把握し、より良い事業を検討していく方法を提案できれば良いと感じた。
85	<p>全体会や保険者訪問での支援では、各保険者の実態をある程度把握できるので、それに応じてできる限りの支援ができるが、資料による文書支援では、各保険者の実態が見えないところもあり、支援が実態に応じているのかの反応も見えにくい。また文書中心になるので、支援がどこまで各保険者に届いているのかわかりづらい。保険者によっては担当どまりになっていることもみられる。</p>
86	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村によって業務に携わる人員のマンパワーの違いが存在する。 ・最も人口の多い市とそれ以外の市町村とでは組織形態や規模の点などが大きく違っている。 ・市町村によって力を注ぎたい疾患対象が異なる可能性がある。
87	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村からの質問について、提出された資料からは分からない質問があり、その質問に関連する自分の市町村の資料をきちんと提出してもらわないと、推測にしかならず助言が難しい。
88	<p>個々の保険者の健康課題はヘルスアップ事業計画やデータヘルス計画、ホームページ等をもとにして、ニーズに合わせた支援に心がけた。しかし自分の勤めている人口規模で行う事業に関することなら助言できるが、経験値でしかコメントできない部分も多くあった。</p>
89	<p>保険者のニーズに応じ、実態の把握については保険者から提出されたデータ等より提出された資料で臨んだが、ニーズにマッチしていたのか気になった時もあった。資料を読み込んだうえで、こちらからの追加資料の希望についてきちんと伝えることにより、よりニーズに応じることができたのではないかとと思う。</p>
90	<ul style="list-style-type: none"> ・連合会（事務局）の事前準備等によって、保険者のニーズ・実態把握をまとめていただき、たいへん円滑に委員会運営されていた。 ・「保険者間の取組度合いの格差」には、「各保険者内部の組織体制、および組織間・組織内の連携」が大きく影響していると考えられた。 ・「その他」として、糖尿病腎症重症化予防の取組みにおいて、困難事例（経済的余裕のなさ等の社会的要因を伴うケース）に苦慮している保険者保健師への支援が必要と思われる（好事例の共有等）。
91	<p>質問項目を拝見しても、例年同じ質問をしている保険者もあり、抱えている課題が明確に把握が難しい。助言を受けて行った対策とその成果について等の、経年的な経過についても把握できると具体的に検討ができると感じた（保険者によっては、ヒアリングの際に、助言を踏まえて行った対策とその結果についての説明があり、大変解り易かった。）また、保険者のマンパワーについても把握が難しく、課題感・解決に向けて費やせるマンパワー・コスト等の実態についても把握したうえで回答させていただく方が良かったと思われる。</p>
92	<ul style="list-style-type: none"> ・支援希望の保険者が多くなり、委員会の負担の増大や一保険者あたりにかける時間の減少により保険者のニーズに沿った支援が困難になることを課題と感じていたが、今年度は、第3期データヘルス計画がスタートしたことで、支援希望保険者が少なかったため、予想していたような状況は生じなかった。 ・一方で、参加する市町村の数が少ない場合、支援を希望しない市町村の状況が把握しにくく、その点が懸念された。
93	<p>・小規模保険者やマンパワー不足等の未支援保険者に対するアプローチ</p>
94	<p>支援者全員がKDBを解析できる環境にはないため、受援者に伴走する形での支援が難しいと感じた。</p>
95	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高い地域では、医療費や要介護率などの指標の標準化が課題となっている。 ・事業計画の理想的な目標を達成するためには、人手不足の現場に対して実現可能なアドバイスを提供することが依然として課題である。
96	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者により委員会参加のニーズが異なり、他保険者・委員との情報共有内容や質問内容の質と量にばらつきが大きい。 ・事業内容の充実化に伴い、保険者と医師会や薬剤師会などの他機関との連携が必要となり、外部機関との連携をどのように進めていくとよいかについて、委員としての関わりが難しいと感じた。
97	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者から質問したい事項は示されましたが、それが保険者の本当のニーズかが分かりませんでした。
98	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する委員会は日程を調整していただいたが、時期が集中することがあり、負担が大きかった。資料の量も多く、データヘルス計画も併せて確認が必要であったため、事前の準備に時間を要した。 ・各保険者が期待する助言内容について不明確な部分があり、参加した保険者のニーズを満たしていたのか不安があった。
99	<p>支援を希望する保険者が多数であることは望ましいですが、委員会としての負担は増えていくことになります。これをどのように効率よく実施していくかを検討する必要があるのだと思います。</p> <p>委員会において、「他保険者と意見交換」や「委員からの助言」を積極的に求める保険者とそうでない保険者の差がみられたと思います。せっかくの機会ですので有効に使っていただけたらと思います。</p>
100	<p>事前の資料確認や準備に時間を要し、当日も長時間の協議となるため、やや負担感が高い。今年度同様に、市町村毎に要点を絞って資料作成いただき、委員に意見を伺い点等が資料にまとまっていると事前の準備がしやすいと思われる。</p>

No.	支援にあたって抱えていた課題_具体的内容
101	今の形でよいと思われますが、常勤1人の小規模医療機関からの参加は、診療所を休診にする必要があり、地域住民には不便をかけているのではと危惧します。
102	健診や国保医療、人口動態等のデータ分析は年々充実してきたが、市町村の規模が大きくなったこともあり、保健師の保健活動等による五感を使った地域特性の把握は弱くなってきている。 保険者から委員会に提出された資料や市町村のホームページなどから得られる資料・情報は年々充実してきており、委員として地域特性の把握に意識的に役立てる必要がある。自治体内の関係団体・組織との連携（ソーシャルキャピタルの活用）については、広がり、深まりが見えてこない。
103	各自治体（保険者）において類似課題について、地域の特性を踏まえて解決策を共に考えて支援・発言をしているが、的を得ていないように感じることもある。各自治体からは、当該地域の特性（地域診断）をもっと聞かないといけないと感じている。
104	保険者のみで考えることによる保健事業の手詰まり感
105	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会に提出された資料により助言をしたが、その資料を作成する段階での質問等ができると、保険者のニーズがもう少し掴めるように思う。 ・各市町で地域性が異なることから、各保険者から提出のあった資料だけでは、ニーズなどの把握が難しい部分があった。助言（支援）が各市町が求めていた内容、実態に即したものであったのかと悩ましいところだった。 ・短い時間の中での委員会において、多数の市町村の意見に対応する点が困難であった。また、保険者の質問や要望に関してもより具体的なものである必要があると感じた。 ・ピンポイントで解決に導ける支援は難しいと感じている。 ・今回の最終評価は、セルフ評価が別となっており、資料をみながら評価する際、負担に感じた。 ・個別事業計画、事業評価シートの記載のみでは、事業の実態や課題、各保険者のニーズ等の把握が難しい。 ・支援件数が増加すると、評価表の作成等の負担が増加する。 ・医師会との連携が困難である。 ・本来業務があり、緊急事案や別会議等で会議までに資料をしっかりと読みとることが難しい状況があり、委員としての役割が果たせていない状況である。
106	これまで目標を達成したことがない保健事業、目標値のない保健事業の経験しかない状況で、保険者と同レベルの経験や知識のない委員が支援すること、開催される委員会ですれらの委員にも助言を求めること、目標値だけでは保険者の担当者が考えや行動を変える支援にならないということを理解せず時間と発言であればよかったと思って終わる運営。
107	全般的に委員からの意見が少なく、委員会の活動の活性化が必要である。市町村の国保連合会だけでは問題解決が実効性が限られており、地域の保険者協議会や医師会など他のステークホルダーの参画が必要と考える。
108	委員会に参加することで、管内市町村等の状況や取り組みについて理解を深める貴重な機会となっています。これを通じて、地域ごとの課題や取り組みの特徴を知ること、今後の業務や協力の場面で活かせると感じています。引き続き、状況把握や情報共有に努めていきたいと考えています。

支援における成果_具体的内容

No.	支援における成果_具体的内容
1	支援・助言を希望する保険者が保健事業を立案・実施するために必要な知識やノウハウの提供を行うことはある程度できたのではないかと考える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・各保険者が自ら課題を抽出し、より具体的な形で支援を求めてくるようになった。 ・保健事業に際して使用する資料の内容の改善がみられた。 ・保険者間の情報共有の場を設けたことで、課題や好事例の共有が図られた。 ・委員のコメントによる成果というより、他保険者の事例から学ぶという成果が大きいと思う。特に近隣市町村同士であれば医師会や医療機関との連携などは情報交換しながら進められるメリットもあるし、同規模の市町村同士の事業の進め方についての学び合いも大きいと考える。 ・支援結果の共有について、支援を受けて保険者の実施した事業の評価、助言をどう活かしたか、活かされたかを共有していただければ、今後の支援に参考になる。 ・各自治体マンパワー不足で委託業者に投げているところが散見される。
3	市町の担当者が保健医療福祉の専門家ではないこともあったので、事業計画の構想段階から関わることができると良かったのではないかと感じた。また、委員に対するフィードバックも必要ではないかと思いました。私も含めて、委員全員が的確にアドバイスできているのか、その評価も重要だと考えます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者間での情報交換や持続的な支援活動により、各事業の実施内容の調整や評価指標の見直しが一定程度進み、地域間の格差が縮小しつつある。 ・各地域事業運営において、国保連合会や後期広域連合などの関係機関との連携体制が強化されている。特に、定期的な情報提供や共通評価指標の提示といった取り組みが着実に実施されている。
5	・グループ支援により、他保険者の取り組みをうまく取り入れて保健事業や評価内容、ワークシートの記載内容の質向上につながっていたと感じる。上手にワークシートと委員会を活用している保険者もあると感じる。
6	・他の保険者の取組みを把握することで事業に幅が出ていると思われます。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する保険者は資料化し、助言を受け、評価についても助言を受ける体制が整っており、保険者が課題に気づきができています。 ・聴講により他保険者の取組みを情報共有・好事例の共有ができ保健事業の質の向上につながっている。 ・助言集があるため、委員会後に各保険者で振り返り等でき保健事業の計画・評価に活かすことができる。
8	グループ支援では、様式の記載方法といった初歩的なところも他保険者から習得することができると思います。グループ支援を継続して実施していくことで、保険者間の格差縮小に貢献していると思います。 「重症化予防」「一体的実施」において専門の先生が助言してくださることは、保険者のみならず委員にとってもかなり参考になったと思います。
9	第3期データヘルス計画が開始され、単年度評価や着実にPDCAを展開する必要性について支援できたと考える。
10	保険者間のグループワークを実施したことにより、保険者間の情報共有が図れた。
11	国保保健事業及び高齢者の保健事業で3日間、全6回の日程で午前・午後とグループ支援を実施したところ、他の保険者の事業実施方法や創意工夫した点について情報を得ることができて参考になったという意見が多かった。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者における取り組みには地域特性や地域差がみられるが、本支援により情報共有することで各保健者が抱える課題、推進をする上での解決のヒントを得る事ができたのではないかと。 ・現地でのGrディスカッション実施により他の保険者との連携強化が図れたと思う。（顔の見える関係の強化）
13	・専門医からの助言は、エビデンスのある保健事業対象者の抽出等に役立ったと感じる。
14	第三者としての助言が、保険者にとっては刺激となり業務改善を検討するうえで良いきっかけになっている。 業務改善した結果（方法を変更した効果）等については、継続的な把握が必要であると考え。 保健事業担当者は、住民と真摯に向き合い一生懸命取り組んでいるケースが多く、出来ていることを客観的に評価することで、モチベーションに繋がっているようだ。
15	<p>【情報の横展開】</p> <p>委員会の開催にあたり、委員への質問と併せて他保険者への質問を募っており、今年度からはその内容について、ZOOMの投票機能やGoogleフォームにより事前調査を行った。近年の支援希望内容が、より事業展開に関する内容が増えている中で、委員の助言だけでなく、この調査結果により全体の状況をお伝えすることで支援に厚みを持たせることができた。</p> <p>このような総合的な支援により、保険者の取組を前進させる助言ができ、かつ支援を行っている委員も自身の考えが深まる場になっていると実感している。</p> <p>今後もこの取組を継続し、この委員会をきっかけとして委員会以外の場でも保険者の担当者間で情報共有を図る関係性を築いてほしい。</p>
16	連合会を通じて同様の課題を抱えている保険者間での情報共有の推進
17	保険者担当者から支援を受けて、「参考になった。」「今後検討したい。」などの声がみられた。
18	この事業をきっかけに、市の担当者と関係を築くことができました。オンラインであっても顔が見えるため、大変良いと感じました。
19	今年度3回にわたり、保健事業支援・評価委員会を行った。この委員会においては、同様の課題をもつ保険者同席のもと、各委員による専門性を活かした助言や指導を行うことで、保険者のレベルアップや保険者間における情報共有・好事例の共有を行うことができたと考え。
20	保健事業担当者がどの保険者も熱心であり、保健事業の組み立て、次年度への工夫など丁寧に考えられているため、委員会への質問がとても具体的だったり、取り組んだ上でさらに保健事業をよくするためにどうしたらいいかというものが多かった。十分支援できていたか分からないが、保健事業の質の向上に寄与できていたらよいと思う。
21	支援における成果として、委員会を通じ各保険者が好事例を共有したことで、横展開につながった。

No.	支援における成果_具体的内容
22	今年度は、課題を明確にした中で個別支援が実施され、その成果として、支援を受けた保険者は、より具体的な助言を得ることができたため、取り組むべき方向性や次のステップに繋がる道筋を見出せたと感じました。加えて、視聴した保険者も事例や課題を自分事として共有することで、知見を深められたと考えています。
23	モデル保険者の選定、専門的知識を活かした支援によりレベルアップがみられている
24	・県の課題である心不全を早期に予防するため、心電図検査を詳細健診対象だけでなく全数実施することの有効性を確認（費用対効果を示す資料作成等）したり、先に全数実施をしている市町から、実施に至った経緯を情報共有することで、全数実施の市町が6市町（R3）から15市町（R6）と増加した。
25	担当者の交代により一時的にレベルの低下した市町村に対して支援を行いレベルの向上に努めた。
26	・研修会の実施により、保険者間の情報共有や好事例の共有を行うことができ、市町村職員の取組姿勢の向上に寄与できたのではないかと感じている。
27	各専門分野の委員の助言により保険者のみでは解決が難しい課題について検討できたことはよかったですと思います。また、グループでの情報交換により、他の保険者の取組が共有できたことで今後の取組につながるのではないかと思います。
28	・グループ支援を3回にわたって実施したが、その時に直接の支援対象となっていない保険者も傍聴を可能とし、資料共有も行うなど、保険者間の情報共有・好事例の共有につなげる工夫がされていた。また、福祉保健所担当者に集団支援やグループ支援に参加・傍聴してもらうことで、日頃からの福祉保健所と保険者の連携強化、福祉保健所担当者のレベルアップを図ることができた。
29	支援会議を2回、国保職員の方を通じてのメールや電話でも助言の機会があったことなどにより、保険者の具体的な事業展開方法について検討・助言し質の向上に寄与できたと考えます。専門的知識や研究知見などをもとに支援し、担当者が住民の生活をよく見て声をよく聞いて、自分たちの事業を検討すること、工夫することのポイントを掴んでくださったと感じました。担当していない事業や関連機関ともつながることが重要であると再確認され、連携をさらに進めていくという声が聴かれました。
30	フォローアップ支援においては、一度支援に入っている保険者ということもあり、前回の支援後に困っている点、迷っている点を中心に支援を行った。それにより、健康課題と個別事業のつながり、健康課題から考える事業の優先順位の考え方などについて、担当課・関係課間の共通認識と理解、事業立案・実施に対する担当者のモチベーションアップにつなげることができた。 県および後期高齢者医療広域連合の合同で支援を行うことで、互いにもっている市町村保険者での課題についての情報共有を図ることができ、今後両者が集まって検討を行う会議体の設置などの成果につながった。
31	・後期高齢者医療広域連合の場合 →市町村支援の現状と悩みなどを出し合う機会を設けたことで、現状の整理と課題の明確化により、委員から実状に対する助言を行うことが出来た。 ・県・後期高齢者医療広域連合合同支援の場合 →今後の支援の方向性や方法に関する情報共有の場を得ることが出来、情報共有の重要性を確認することが出来た。
32	保険者の事業評価に関するニーズに対応し、評価指標や評価方法の工夫を町の実態にあわせて工夫し、それを支援の一環として保険者と共有しました。この共有が評価実施に向けた動機づけとなり、次のステップにつなげることが期待されます。また、保険者がこの委員会を通じて組織内の関係部署と連携する経験を得たことは、今後の保健事業の運営や評価に活用できる貴重な経験であると考えます。
33	・支援直後の感想を伺うと、保健事業全般の見直しに繋がると期待できるが、実際にどのような修正・見直しをしたか見えない。
34	委員会という他者の目が入ることで、それまで気づかなかった課題や可能性を所属内で共有できました。これは、支援方針、事業を考える上で参考になったのではないかと思います。 また、成果を得るためには、もっと住民の生活や医療行動の実態を知った上で事業を組み立てることが必要といった声も聞かれ、事業がより住民のニーズに基づいたものとなることが期待できました。 委員会支援はWebを活用。遠方であっても関係者（地元の保健所も含む）が揃って参加することができ、横の連携強化につながった。
35	保険者の要望に添って、実現可能な具体的な助言を心がけた。保険者からは新たな気づきや取組の工夫点を知ることができたと意見があった。
36	毎年の評価は保健事業の成果を確認できるものに限り、その小さなPDCAサイクルの積み重ねが最終的に大きなアウトカムにつながるということを各保険者にご理解いただけたことで、データヘルスに一層積極的に取り組むことにつながったと思われる。
37	・支援対象保険者の担当が、支援の際のやり取りで現状を整理し、数値やデータなどの背景にある課題～地域の住民の実情と保健活動のズレや活動体制の課題など～に気づき、今後の動きを見当付けることができたようでした。 その課題解決から、住民へのアプローチ方法や事業内容が変わることで保健事業の質の向上が期待され、住民の健康課題改善に最終的に繋がるとよいと思われました。
38	・個別で助言を受けた保険者は、「必要な助言が十分受けられた」という満足度の高さは100%であった。委員会前のヒアリングを含め、当日、委員と丁寧にやり取りしながら助言を実施した成果だと思われる。 ・一部の市ではあるが、集団支援での助言を受けてこういう工夫をしたという書きぶりが結構多く、そうした姿というのは非常に望ましい。 ・情報交換会は非常に良かったと思う。顔が見える関係性づくりに貢献できたのではないかと。
39	ヒアリングや質問内容を通じて、保険者間の課題や対応方法の共有が行えた。また、他都道府県での事例や、職域における事例を検索し共有することが行えた。 業務委託先などで既にナッジの活用や行動変容ステージに応じた支援方法などについて実施しているが、保険者に応じた個別的な支援に至っていない場合の対応方法や業者との対応についても助言を行えた。
40	・委員として県保健所の所長、基幹保健所の主管課長に加わっていただいたことで、委員会としてより管内の状況や実践をふまえた助言等ができた。 また、保健所と市町村の間で質問や意見のやりとりを行うことで、現場の保健師が抱える問題がより具体的に明らかになった。 ・委員会前後の情報交換会と委員会での助言との組み合わせにより、保険者間の情報共有が促進された。

No.	支援における成果_具体的内容
41	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長と密に連携を図り、事前に保険者の課題を共有した。 ・委員会では支援保険者が出席し個別保健事業を説明することで、課題を共有することができた。 ・各委員がそれぞれの立場、専門領域で発言し、助言した。
42	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の巡回支援では、糖尿病専門医・循環器専門医からデータの読み取り、かかりつけ医との連携等事例を踏まえた助言、また市町委員からは、業務の仕方や保健指導等について実践的な助言が行われており、保険者からは保健事業の遂行、保健指導の実践に役立っているという意見があった。 ・市町の巡回支援に県の糖尿病対策担当医師が参加。地域の実態を知っていただき、糖尿病対策推進会議地域連携会議に生かしていただいた。 ・集合研修をシリーズで行い、計画・実践・評価のそれぞれについて取組みを共有。優先順位の考え方や進捗管理の方法等事業の効率化・効果化に向け見直しを行った保険者も多い。 ・現場での保健事業を担いながら委員として出席をした。他の保険者の取組みについて共有をする中で、保健指導の個別事例の悩みや困難な支援を、自分が現場で感じていることも重ねながら、取組みの情報交換ができる時間を持つことができた。 ・糖尿病重症化予防の保健指導については医療連携が欠かせないものであり、各地域の実情や取り組み方に差がある中で、どのような体制整備、主治医との連携の進め方など、各委員の専門性からの助言内容が次につながる支援となっていると感じた。 ・今回の巡回支援を受けて優先課題が整理できたとの声があった。 ・事例検討において、委員の専門知識や経験等の助言を受けて関心が高まり、活発な意見交換ができた。 ・2年前の巡回支援後の各市町の評価として、保健指導の優先順位を決めたことや事例検討会を定期的に実施したこと等実施体制の改善や特定健診受診率の向上、保健指導実施者数の増加、改善者の増加等の評価があることを報告資料から確認した。 ・保健事業の質は、地域による差を感じるが、国保連による継続的な専門職等向けの継続的な研修等により全体に改善しているように思われる。その一方で新たに従事する地区担当者の力量形成はまだ課題が残っており引き続きの国保連からの支援が必要だと思われる。 ・専門分野及び経験、立場からの多角的視点での助言もあり、それらを参考に保険者が支援体制や実施方法を改善することを提言するなど、保険者の事業の捉え方や事業自体の質の向上が可能となっている。 ・巡回支援の場を、市町の保健事業担当者レベルにとどめず、医療保険課職員や、部署の長を招く場と位置付け、保健事業の方向性や健康課題を共通認識できるようにする等、有効活用する市町も出始めており、頼もしい。ともすれば担当者の方に事業成果・取組課題等の解決などがおしつけられがちであるが当該事業があることで市町の医療保険者における事業に係る取組のモチベーションアップや事業継続の後押し等の効用が期待できる場面を目にする。
43	<p>上記と関連するが、参加する職員の練度が高いほど、委員会からの助言を正しく理解して、事業計画を的確に改訂できる。練度の低い保険者は本来伸びしろが大きいはずであるが、うらはらに保険者間の格差が拡大しかねない。</p> <p>すべての参加保険者には、委員会が他の保険者に助言する内容を傍聴しているので、保険者間での情報共有や刺激の機会となっている。好事例があれば委員が明確に賞揚するようにしている。</p>
44	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者への個別・集団支援においては、事務局がニーズ調査から支援の終結に至るまで、本当に綿密かつそれぞれの保険者の状況に配慮されたサポートを行ってくれたので、支援過程を通し、保険者がイキイキ前向きな取組姿勢になられていく様子がよく見えてきた。この双方向の綿密な支援ができることが本県の強みであると改めて感じた。 ・支援を受けた市町村は、健康課題等の実態を踏まえた取組内容の見直しや、適切な事業対象者の選定に繋がった。 ・二次医療圏別研修会では、保険者間の情報共有ができた。
45	<p>結果を出していくためには、保健指導の質を上げることが重要</p> <p>支援評価委員会の中では、各保険者の実践を共有、保健事業の考え方を学びあうことで保険者間相互の学習の場にもなっている。</p>
46	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート事業において、「保険者が集う形式」・「保険者に出向いての形式」のいずれも重要である。前者は、「管内保険者間での情報共有・好事例の共有」につながり、後者は「各保険者内部の組織体制、および組織間・組織内の連携」の実態（課題や良い取組み）を把握することにつながったと思われる。 ・効果的な個別・集団への関わり方について、専門知識（保健指導、ヘルスプロモーション）を活かした支援を行うことができたと考え、「保険者のレベルアップ」が十分に評価できていないのではないかと考える。今後、その評価項目の検討が必要ではないかと考える。
47	<p>保険者がどのような事業を実施しているかを把握していなかったため、実態を知ることができた。現在までの事業を取り纏めた担当からは「取り組んだ事業を整理することができた」、「事業を整理し、今後の取組に活かして行きたい」と声があった。</p> <p>事業評価および整理ができていない保険者に対しては、継続して支援していく。</p>
48	<ul style="list-style-type: none"> ・他の保険者の取組内容や実施状況を共有することで、更なる次の展開に役立てることができる。また、互いのレベルアップにもつながっている。 ・重症化予防の前提としては、尿蛋白陽性や腎機能障害がある人を対象とするが、支援側のマンパワーの問題もあるため、糖尿病、高血圧、脂質異常症など、様々な疾病を合併している人、特に肥満の人などリスクの高い人を優先的に支援する。 ・経験値の上昇により、個別介入方法に工夫が見られている。保健指導対象者のセクションが洗練されてきている。
49	<p>健康課題は山積しているが、第2期データヘルス計画中間評価以降「メタボ＋高血圧」未治療者を最優先課題として市町村にはデータヘルス計画をより具体的に実施できるようプロセス計画を立てていただき、集中的に取組んだ成果として、県全体や多数の市町村において、メタボ該当者・予備群を含むほぼ全ての項目において有所見割合が減少していた。さらに、中長期目標の対象疾患である脳血管疾患・心疾患・透析の医療費割合についても減少傾向がみられた。データヘルス計画の対象疾病について、各専門医である委員の先生をはじめその他委員の方々から、最新の知見に基づく見解や具体的な助言が得られた。</p>
50	<p>グループによる情報交換で他保険者の取り組み工夫を共有できた。また、委員からも他保険者の取り組み例を紹介することで、保険者の対応力向上につながった。</p> <p>特に、積極的に福祉保健所との協働について助言し、保険者の視野を広げたり、医療機関との連携を深めることにつながった。</p>
51	<p>統計学に関する専門的知識を活かして、指標の評価などについて支援を行いました。</p>

No.	支援における成果_具体的内容
52	<p>支援による成果を具体的に確認する方法は今のところないため、どのようにするとよいのか検討が必要であると思いました。</p> <p>(1) 小委員会での委員による支援力アップ ・令和5年度より委員を7名増員し、専門医や保健所長等の幅広い領域での構成となったことで、市町村の幅広い質問や課題に対し、各領域から専門的な助言に対応することができた。 【事後アンケートより市町村の感想】 ・委員より現実的で具体性のある助言をいただき大変参考になった。 ・委員より医療機関側の代弁者のような率直な意見をいただき参考になった。</p> <p>(2) 小委員会での関係機関との情報共有と課題の共有 【事後アンケートより市町村の感想】 ・ファシリテーターを保健事業支援・評価委員、記録を連合会職員が担うことで、各市町村や保健所はグループワークに集中できた。 ・同保健医療機関でグループワークを実施したことで、現状の把握や課題の共有がしやすかった。 ・市町村と保健所で、その場で課題や解決策を共有できた点がよかった。</p> <p>(3) 先駆的取組事例(6自治体)の紹介 取組事例を紹介したことで課題解決のための取組に関するグループワークを行う際の参考となり、活発な意見交換へとつなげることができた。 【事後アンケートより市町村の感想】 ・様々なパターンでの取り組みを紹介いただき参考になった。</p> <p>(4) 小委員会の評価と市町村支援における総評 【事後アンケートより市町村の結果】</p> <p>53 小委員会での満足度(100点満点で採点)について、市町村の約8割が100～80点と回答し、満足度が高かった。 ・グループワークの運営や、委員からの助言、取組事例の紹介などに対する満足度が高かった一方で、グループワークの編成や設営等に関する意見・要望も一部見られた。 ・保険者において今後の取組に活かせる内容については、「医療機関との連携」の回答が最も多く、次いで「事例検討会の実施」「保健所との連携」が続いた。</p> <p>(5) 医療連携における県(保健所)の役割の明確化 【小委員会参加後の県(保健所)からの意見】 ・医療連携は広域調整であり、保健所が役割を担っていると考え。各保健医療圏で医療連携会議等を実施しており、課題解決に向けて引き続き取り組みを推進する必要がある。また、市町村によって医療資源やマンパワー等が異なるため、各市町村の実施状況を踏まえてフォローを行ってきたい。 【総評】 ・グループワークを中心とした小委員会を展開したことで、「委員・圏域内市町村・保健所」の三者で協議を行うことができた。また、参加者同士でフラットに意見交換を行うことができ、課題共有や取り組みの検討を行う上で、とても効果的であったと考える。引き続き、効果的な保険者支援のために、関係者間で課題や情報の共有を実施する等の連携を図る必要がある。 ・昨年に続き小委員会等を通して、保健事業実施における保険者の現状や課題・ニーズ等を把握することをできた。今後も引き続き、さらなる保険者支援の充実や強化を図る必要がある。</p> <p>(参考) 支援実績 1) 都道府県ヘルスアップ支援事業への助言 2) 後期高齢者医療広域連合への助言 3) 小委員会の開催</p>
54	<p>市町村は、委員会に参加することでSPO指標やPDCAサイクルを意識して事業を実施し要点を文書に取りまとめ、これを発表して別の視点を持つ委員等から専門的助言を得られるため、関係職員の資質向上につながっていると期待する。また、保健所・支所等職員も参加させていただき、資質向上にも繋がっていると思う。</p> <p>市町村国保担当職員の、限られた人員と予算での工夫と努力、真面目さを、発表の中から感じる。</p>
55	<p>市町村は委員会に参加することで、分析した健康課題から、事業実施、事業評価のPDCAサイクルに沿った事業展開について各委員から専門的な助言がいただけるため、実施する事業の根拠がより明確になる。また保健所・支所が参加することで市町村支援に繋がる。評価のフォーマットを記入することで、事業の実績や課題が明らかになると考え、それを元に外部委員の意見がもらえるのは効果的である。</p>
56	<p>学識経験者、行政、現場の3方向からの議論および助言は大変意義深く、異なった視点による効果的な支援が可能であったと思います。それにより保険者のレベルアップも十分成果を上げているものと考えます。</p>
57	<p>庁内連携についてはほとんどの保険者(市町村)で連携の努力がされており、連携の会議が持たれるようになってきている。</p> <p>行動経済学の理論を活用した広報や受診勧奨等は、民間事業者への委託の増加とともに年々拡がってきた。</p>
58	<p>医師会との協働を推進することで、多くの知恵を借りることができ、多くの課題解決が実現すると感じている。保険者に協働の提案をしてもやはり敷居が高いのか、どの保険者も進んでいないように思う。県単位または国単位で支援評価委員会の委員に医師会会員を入れるように指導してはどうかと思う。</p>
59	<p>オンラインで実施されていたので、担当圏域内の保険者が圏域外の保険者と情報交換する様子もあった。</p>
60	<p>支援評価委員会へ提出のあった事業について、支援・評価委員会ワーキンググループを通じ、管内であるからこそ分かる現状を踏まえ支援を行った。</p>
61	<p>関係機関と顔を合わせて協議でき、連携強化につながった。</p>
62	<p>具体的な助言による支援により、事業実施上の困っていることを改善することができた。</p>
63	<p>支援・評価委員会では、各専門の委員から多角的かつ専門的な視点に基づいた助言を行うことができた。また、支援・評価委員会WGでは、グループ支援を通じて委員等からの助言だけでなく、参加保険者間の情報交換の時間を設けることで、課題共有や事例の横展開が図られた。加えて、委員会やWGにおける相談内容や助言内容を整理した資料を作成し、保険者全体に配付することで、事例共有の促進に一定の成果を上げることができた。</p>

No.	支援における成果_具体的内容
64	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会で助言を保健事業に反映することで、保健事業のPDCAをまわすことができ、次年度事業の実施の方向性を検討することが出来た。 ・委員会を複数の保険者を対象として実施することで、保険者間の情報共有が図ることが出来た。
65	<p>担当者が継続すれば、事務職員担当でも成果が上がる</p> <p>同日に実施する委員会参加保険者が同席すると、他との比較で理解が深まり質が改善する傾向がある</p> <p>オブザーバ参加の県職員の位置づけ、役割が不明確で、折角の参加が成果に反映しにくい</p>
66	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の構成として、医療分野や経験者等の多様な視点での助言は、市町村国保にとって意味あるものだと感じた。当事者だけでは見失いがちな視点の提供など、効果があったと思われる。 ・また、他市町村の情報を収集する場となり、好事例などの提供にも適していた。
67	<p>成果は、支援された保険者がどのようにとらえて活動に活かされたかになるかと思うが、質の向上につながることを目指している。</p> <p>取り組みの具体的な方法の例示として、他の保険者間での情報を共有できるようにしている。</p>
68	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村からの取り組み内容のご説明とその共有がなされ、他の市町村の参考となった。特に2024年度はWEBを介した配信がなされ、共有されやすくなった。 ・循環器や代謝内科の専門医など、新たな委員にご参加いただくことで、より専門知識を活かした助言がなされた。
69	<p>・直接支援の機会があることで、自分の市町村の保健事業を改めて振り返る機会ともなるし、また、他市町村の状況を直接知る機会となっている。</p>
70	<p>経年的に支援を行うことで、職員の気づきや士気の向上につながっていくように感じる。また、助言する立場であるが、委員になったことで他の保険者の情報や好事例を知る機会を得ることができた。</p>
71	<p>医師の委員による支援は専門的な意見をいただくことができ、取り組み内容や方向性を決定するうえで参考になった。また、同じ課題を持っている保険者も多く、保険者間の情報共有や好事例の共有は、大変有効であると考えている。</p>
72	<p>保健事業の提供サービスの本質、実際のサービス、サービスの付随的なもののうち、本質や実際のサービスのあり方を伝えることで、特定健診受診率の場合は5保険者が令和6年度の目標値を中間評価で上回ることができた。保険者が安直に考えるのはサービスの付随的なものや曖昧な問いであるが、保健事業の構造、しくみに問題点があり、真の課題であることを示してきた。成果が得られている保険者は、これに応えたものが多かった。</p>
73	<p>各市町村の保険者で意識の違いがあるものの、データ解析から事業立案に関しては一定のレベルアップが認められ、成功事例や先進的取組の共有もできており、横展開による保健事業のレベルアップにつながっている。</p>
74	<p>今年度は個別支援も議論され、具体的な事例が共有されました。これらは新たな視点や取り組みへの刺激となり、全体として良い影響を与えていると感じています。こうした取組が各保険者の事業展開や質の向上につながっていると感じました。</p>
75	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者間の取組や課題を情報共有できることにより、同じ悩みを持つ保険者にとって課題解決につながっている。 ・また、有識者から統計の読み取り方や医学的視点のアドバイスを直接もらえる貴重な機会となっている。
76	<p>個別支援の中では、具体的な評価、今後の方針などがアドバイスされ、各保険者の取組がレベルアップされていたと思います。</p>
77	<ul style="list-style-type: none"> ・支援する保険者の課題に応じ、個別支援と集団支援を組み合わせることで、保険者の実態に即した支援ができ、また、他の保険者の良い取組を共有することができた。 ・市町に出向き、個性性の高い支援を実施することで、保険者も気づいていなかった課題、問題点（手間をかけている作業、効率化が考えられそうな作業など）を把握することができた。 ・統計データから成果が見え始めている保険者は資料をまとめ、委員と意見交換することで、「何がよかったのか」を深堀することができ、今後の取組へのヒントを得ることができた。
78	<p>支援では保険者に寄り添いながら、気づきを促すことができた。県、広域連合では、対象地域が広くそれぞれの地域特性があるため、自治体の担当者との連携やそこへの介入が欠かせない。互いの活動を理解し、情報共有を進めることが重要と思われる。今年度、その入り口に立つことができたのは大きな成果と考えられ、今後につなげることを期待したい。</p>
79	<p>対象保険者の支援は国保連合会の担当の方は数回支援を実施しているが、委員からの支援は1回のみであり、どの程度活用されているのかが気になっている（私自身がすべての研修会に出席していないので適切な意見ではないかもしれませんが）。</p> <p>昨年度、今年度担当させていただいた保険者は、特に保健部門の保健師との連携、統括保健師の活動のあり方、自治体の保健体制等に課題もあり、その点の改善は容易ではないため、支援後担当保健師等は困っているのではないかと思う。支援後の感想や振り返り以外に、1年後の状況も教えていただけると、委員として支援のあり方を振り返ることもできると感じた。</p>
80	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の成果はあったと考える。 ・委員会が様々な職種や所属の委員で構成されることにより、広い視点でバランスが取れた支援ができている。 ・各専門分野からの助言、指導が適切に行えており保健事業の質の向上につながっていると感じる。 ・支援により保険者が考え、支援体制や方法を改善するなどレベルアップする状況が見られる。また、それぞれの市町内の情報共有体制も進んでいると感じる。 ・通知・啓発の文言、関係機関との依頼・交渉、評価指標・方法など事業の方法について、できるだけ具体的な助言をすることにより実践的な支援となっている。 ・事業の目的と対象を再認識させるよう心がけ、本質的な点での支援とした。 ・同様の取組をしている他保険者の意見により、支援を受ける保険者のモチベーションと実践により影響を与えている。 ・保険者は具体的な事業の進め方を知りたいという思いがあり、保険者間の情報交換、質疑応答が非常に有効であったと感じる。委員の想像が及ばない保険者の疑問があり、知りたいことを知ることができる場になっていると感じている。 ・類似する課題に対して他の保険者からの助言や情報共有が適切になされていると感じる。 ・委員会は、支援保険者だけでなく、Web活用により全保険者の参加が可能となっており、同様の課題をもち事業展開している保険者からの取組状況紹介を追加するなど運営の工夫がされており、全保険者が共有することで各保険者の保健事業の質の向上に繋がっていると考えている。 ・Webにより、保険者が委員会に参加しやすくなっている。

No.	支援における成果_具体的内容
81	<ul style="list-style-type: none"> ・好事例を提示していただくことによって、他町村でも取り入れやすく、情報共有ができた。有識者の先生方から情報をいただいた。 ・支援・評価委員会は様々な職種・立場の委員で構成されており、多角的な視点で、また委員の専門的知識を活かした助言・支援ができていると感じる。保険者からは、委員会で得た支援・助言内容を活動に反映したり、支援の利用により考えをまとめることができたとのフィードバックがあり、保健事業の質向上につながっていると期待される。国保連が県と密に連携を取りながら協力して保険者を支援する体制が整ってきている。今年度から保険者がHP上で過去の助言内容が見られるようなシステムができ、他保険者の取り組み、課題やそれに対する助言を共有できるようになった。 ・保健事業に対する目的や考え方が再度整理され、実施方法等を見直すきっかけになったと思われる。 ・糖尿病専門医による専門性の高い助言が行われている 等。
82	県や保健所とのかわりや、同様な取り組みを行っている保険者の情報共有があった。また、専門的な指導が可能な委員からの助言や支援が来ていた。
83	対象者の選択や目標値の設定と事業内容、評価項目など、PDCAのプロセスを踏んだ保険者が多くみられたのは、これまで継続して支援をしてきた成果と思う。
84	各委員から、客観的、専門的な観点からの支援を行った自治体の課題を尋ねることを心掛けた
85	<p>さまざまなデータがある中で、特にどのデータを確認すると効果的な事業につながるかといった点で、委員会・検討会の開催が有意義であったと考えている。普段の業務で保険者の担当者が必要なデータを確認するときの優先順位などの支援につながっているのではないかな。</p> <p>検討会には支援対象ではない保険者が傍聴する回があったり、都道府県側の事業で得た情報などを検討会で共有したりといったことがあり、必要な情報の横展開が多少できたと考えている。</p> <p>第4期の特定保健指導では、より質の向上が重要となっており、効果的な保健指導の実施方法や行動変容への促し方など、これまでの特定保健指導実施経験をもとに支援した。指導のスキルアップに時間をあまり費やせない現場の担当者に効率的に情報提供をできた可能性がある。</p>
86	ワーキングにおいて、事務局から具体的にタイムスケジュールが示されており、複数の保険者からの報告と、委員からの支援が円滑に実施できている。各保険者が報告を通じて、日々の取組みにおける悩み事を整理し、支援を受けることで納得して取組むことができると同時に、複数の参加保険者の報告を通じて取組みを参考にすることができている。
87	各保険者が行っている保健事業を自ら振り返ることで、それぞれが有する課題を改めて抽出・整理することに役立っていると考えられる。知見及び経験豊富な委員（有識者）から多角的な助言が得られるため、有益な支援になっていると考えられる。
88	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の助言だけでなく、同様の悩みを抱える保険者間の情報共有や好事例の共有により課題解決の糸口をつかむ保険者も多く見られた。 ・多様な立場からの助言により、事業を多角的に捉える機会となっていた。 ・保健所の参加が増えてきている。
89	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者は、委員会に参加することで、他市町の状況や実施方法が共有できるので、保険者間の情報収集の場になったと思われる。また、今年度からは傍聴席を設けたことにより、傍聴として参加した保険者にもいい機会になったと考える。 ・保険者のレベルが上がり、実践内容に活かされるようになってきている。 ・特定健診受診者増加に向けて効果的な方法を検討し、受診者増加につなげることができた。 ・人材育成事業について専門的立場から助言ができた。
90	平成26年度から支援・評価委員会を通して支援を行ってきた。各保険者ともスキルアップし、PDCAサイクルに沿った評価シートが作成されるようになってきた。そのことが、データヘルス計画の実行支援にもつながり、評価シートを集積し、中間評価や次回計画書の策定に活用することが可能となっている。また、KDBの活用についても、支援・評価委員会の委員の意見を参考にしデータの抽出等を行うことで、地域課題について明確にできるようになってきた。
91	・よりよい保健事業になるよう、評価委員で相談のあった内容について、委員として、気になる点等を質問や提案等をし、相談者とのやり取りを大事に心がけて関わった。
92	これまで関わった市町村事業や県事業を通して気づいたこと、感じたことを伝えていた
93	私の発言によって、保険者のレベルアップになったのか疑問です。
94	<ul style="list-style-type: none"> ・保健事業の進め方に対する方向性のアドバイス ・高齢者のフレイル予防は、食事だけではなく生活全般にかかわることを認識し、できるところから支援に取り組む
95	<ul style="list-style-type: none"> ・保健事業について全体的にレベルアップを感じる。 ・質の向上は委員として体感できないが、分析して根拠を示すなど保険者のレベルアップを実感している。（訪問支援を導入したことによる効果か） ・一部の保険者ではより重点的に関わることで、課題解決が大きく進み、好事例となった（医療機関と連携した健診受診率向上の体制づくり）。 ・他保険者の取り組みや、全県会議での議論内容を、委員が紹介する形で共有することができた。 ・支援回数を重ねることで、保険者の支援を受けたいポイントが明確になり、効率的に議論することができた。 ・保険者の悩みの解消には至らないかもしれないが、参考にしていただいているという実感はある。 ・事務局から提供された管内保険者の各種データから、保険者の特徴を理解して支援できるようになった。
96	支援による保険者のレベルアップは図られてきていると思われる。ワーキングによる相談・助言や支援前の事務局による情報収集等により、的確な支援をすることが可能となっている。
97	保険者により様々な取組をされており、学ばせていただきました。評価をするにあたり、評価指標を具体化されているとわかりやすいと思いました。
98	評価にあたっては様式からではあるが、今年度の事業を評価し翌年度の事業に反映されているので、本事業を行うことで、保険者のレベルアップや保健事業の質の向上につながっているとは感じる。

No.	支援における成果_具体的内容
99	・支援により根拠に基づく評価、評価結果に基づく次年度計画作成が促進された保険者・事業があると考ええる。
100	糖尿病合併症の予防などで自治体と医師会の連携が以前よりも緊密になっていることは、成果の一つとしてよいだろう。
101	支援・評価委員会では各委員が提出した意見を纏めたチェックリスト表を基に議論し、支援評価を行っている。保険者の考えを委員が深く理解するのに事務局の保健師のコメントが極めて有用で、保険者のレベルアップや保健事業の質の向上に寄与しているものと考ええる。支援・評価委員会では好事例を把握することができるので、保険者間で情報共有していく事ができるような資料を纏めていければと考える。
102	保険者間の情報共有によるレベルアップ、保健事業の質の向上
103	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村で医師会・医療機関との連携が多く見られた。 ・他県事例等の共有を行えた。 ・好事例が共有されて、全体のレベルアップにつながった可能性がある。 ・他の保険者の実践が参考になる場合もあり、今後の対応に追記された。 ・専門職の視点から、まずは取り組める内容の提案、各市町の事例を参考に紹介した。 ・各委員から、専門的な知見を基に、具体的な改善策等についてアドバイスがなされており、各市町の事業実施・評価に役立っている。 ・各市町の取組状況、課題意識等を共有する場にもなっており、改善策の検討等の参考になっている。 ・毎回の支援委員会で情報交換でき、書面だけでは困難な評価・助言のやりとりができて、実践の現場を把握できて大変参考となった。
104	<p>現状と課題がより深まり整理された。できていることの評価や質的情報及び評価について理解され、単年ごとの評価指標設定につながったと思われる。他保険者等の具体的な取組を知ることで、すぐに取り組みそうと、現実的かつ前向きに捉えられたことが良かった。医療機関や保健所とのつながり方についても同様。</p> <p>昨年度からの保険者担当者の取組や体制の変化について承認される機会となったことも成果と思われる。</p>
105	・複数回支援を受けている保険者の中には、保険者内で事業を検討・連携や、PDCAサイクルを回しながら事業を実施する意識が根付いている様子もあり、支援の成果といえる。
106	<ul style="list-style-type: none"> ・各保険者の情報共有により、保健事業のレベルアップに繋がっている。関係機関の連携強化の必要性の認識は深まった。 ・事業を参加することで情報交換の場となっていることを実感した。 ・総じてレベルアップしているが、担当者が継続している保険者ほど向上しているように思われる。マンパワー不足はどの保険者にも共通する課題であるが、とくに職員数が少ない小さな保険者に問題が大きいうわけではないのではないか。保険者内の体制づくりに負うように思う。 ・参加当日の保険者相互（傍聴を含む）の交流は、意欲の維持向上の面でもプラスになっていると思われる。また、委員会の助言で、各々の保険者に参考になる事例が明確になっているのではないかな。 <p>出席や傍聴者が一定数いることから、好事例の情報が共有される機会になっている。また、参加した自治体では保健事業を改善することにつながっていると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健に関する知識は、栄養や身体状況等よりも圧倒的に不足している保険者が多いと思われる中で、保険者で計画している口腔保健事業に対して委員から専門的な助言が行えたことは、委員会の役割を果たしている一例であった。 ・委員の専門的な知見から、保健事業の効果的な方法が助言されている。 ・委員会の傍聴制度も取り入れていることで、事例の共有が図られている。
107	グループ支援によって、市町村同士の情報共有・モチベーション向上が図られた。
108	<p>各市町村の取組の共有として、具体的な医師会とのかかわり方の共有が見られた。</p> <p>医療機関との連携において有効な情報共有であったと思われる。</p> <p>ガイドラインの更新など最新情報の提供も実施することで、事業の方向性が示せたと推察される。</p>
109	今年度は、支援を受けたい保健事業ごとにグループを分け、資料も事前協議書に統一したことで、参加した保険者間でも活発な意見交換が実施できていた。
110	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施及び評価に向けた助言を行うことで、各保険者における保健事業の質の向上に向けた意識を高めることができた。 ・新たに国保保健事業の担当になった職員を対象に初任者研修を開催し、各保険者における円滑な保健事業の展開に寄与することができた。 ・県内4拠点保健所で研修を開催し、保険者間での情報等の共有を図ることができた。

今後の支援の方向性_具体的内容

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方のご意見をうかがって検討していきたいです。 ・取り組みが進んでいる保険者と進んでいない保険者の格差をどう埋めていくかが今後の課題だと感じる。また、委員の負担を減らすために各保険者からの質問事項をとりまとめたり、事前ヒアリングを行ったり、県国保連の負担が大きくなっているようにも感じる。支援側も連携し、効率よく質の良い支援を提供できる方法を検討する必要があると思う。 ・何かしらの悩みや課題などを抱えていると思われるが、相談等の申請をするところとしないところが分かれているように感じる。このことを少しでも解決する方法を見出せればと思われる。 ・保険者担当者を対象とした研修会の開催の検討。好事例の共有の後、保険者間の情報共有をグループワークも含め対面でできると良いのではないかと考えます。 ・市町村にとって相談しやすい体制づくりが必要。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援は従来どおり行い、希望保険者の多い特定健診未受診者対策事業の助言に集団支援を導入することで、1保険者あたりの持ち時間を増やすとともに、県全体の課題ともいえる特定健診受診率向上につなげる。 ・集団支援をオンラインで実施することで、遠方の保険者が参加しやすくする。 ・集団支援では、情報交換の時間を設けることで、保険者間の情報共有ができるようにする。
3	<p>保健事業の計画・実施にあたっては、支援・評価委員会の助言だけでなく保険者が被保険者の特徴や課題を十分に把握し、事業委託の場合も含めて主体的に計画を実施できるように支援が必要があると考え。それには、保険者間の情報共有や好事例の共有などにより新しい取組等を検討できるような体制の整備も必要と思われる。</p> <p>コロナ禍で得られたWeb等のICTの活用は、会議のみでなく被保険者へのアプローチの方法として検討されるように支援したい。また、被保険者の健康問題の解決については、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを併せて実施することで図られること、年齢が上がることで健康・疾病・介護の状態がつかがっていることは従来から認知されていることであり、一体的実施事業の推進は重要と考える。</p>
4	保険者によってはスタッフ数や実施方法など様々なため、好事例については共有することも良いかと思いました。
5	評価に関する様式、資料をデジタル化してもらえないだろうか。字が小さくよく見えず、読み解くことに時間がかかり、非効率的であった。
6	<p>国民健康保険、後期高齢者医療の県担当課の立場から、市町村の行う事業への評価や支援を行う場としては有意義であると考えており、今年度は1回のみの出席であったが、次年度以降は出席の機会を増やせるよう調整したい。</p> <p>市町村の人員・組織体制、予算等の状況により、事業の実施内容は様々であるが、好事例を広く普及させるために、事務局で事例を選別し、市町村に展開するなどの取組を継続していただければと考えます。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者支援においては、マンパワー不足の小規模市町村への働きかけを含めたより充実した支援を事務局と共に検討・実施したいと思う。 ・二次医療圏別研修では、保健事業カルテの具体的・効果的な記載方法も含めた研修内容を検討・実施したいと考えている。 ・重層的な関係機関との連携体制が比較的構築されている「本県の強み」を活かした支援のあり方について、再度検討していきたいと思う。 ・県の取組（データヘルス計画標準化を通じた市町村支援）と連動を図り、効率的・効果的な支援を行う。 ・事業評価シート（県標準様式）を活用した保険者間の情報共有・好事例の共有を行う。
8	保健事業は支援の有無にかかわらず、各保険者は対象者を明確にして健康課題の解決に向かって保健指導を実施・評価しているが、未支援市町村の中には具体的実践（対象者の明確、保健指導の実践、使用する教材等）で悩んでいる保険者もあると思われる。データヘルス計画のターゲットとなる疾患（脳、心、腎）にかかる医療費割合が高い保険者などに個別的な支援等の対応の検討が必要と思う。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村や傍聴者からの質問等がもっと自由に出せるとよいのでは。 ・当県のように面積が広い県では、Webの積極的な活用も考慮してよいのではないか。
10	<p>令和8年度がデータヘルス計画中間評価年度であるため、令和7年度よりKDB介入支援管理機能による登録作業等を実施するよう保険者を促し、円滑に事業評価が可能になるように準備を進める。</p> <p>令和5年度の第2期同計画の最終評価年度においては、全保険者を対象に研修等を継続的に開催して、集団的に支援した実績があることから、令和7年度から令和8年度の研修計画について検討を進める。</p>
11	「各保険者が実施する保健事業をPDCAサイクルに沿って効果的・効率的に展開することができるよう支援する」という本会議の目的を達成するためには、各保険者の現状を俯瞰できる保健事業評価シートを有効に活用することが望ましいと考える。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・助言内容を事前調書にまとめ、委員会までに委員が助言し、当日は委員が助言した内容に対し、保険者から意見を求めるようにしており、当日の流れがスムーズ。また、今年度からは委員会に傍聴の席を設けており、委員会に参加していない市町村も傍聴できるようになっているので今後の取り組みにつながればと考える。 ・複数の課題があるが、行政とのタイアップが不十分な点を今後改善すべきである。 ・今回より未支援保険者に傍聴を許可したことにより、保健者間の情報共有・好事例の共有を進めていき、支援の充実を図る。 ・保健指導者人材育成の方法を検討し、指導者のスキルアップを図っていく。 ・支援方法の効率化を連合会とともに検討していきたい。
13	<p>令和7年度において、上記の課題に対して、解決するために委員会の開催方法について検討中である。</p> <p>テーマについて、県の健康課題に応じた研修とグループワーク等を組み合わせた形での委員会を検討している。また、支援内容に応じた委員の役割分担を行い、効率的かつ効果的な支援を検討していく。</p>
14	委員会では、委員メンバーからの意見、助言となっているが、他の保険者の状況を理解し、情報共有することとしても他の保険者からの意見を聞ける場となってもよいと思われる
15	市町村の本来の支援者は、保健所であるべきなので、連携、情報交換が必要。

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
16	<ul style="list-style-type: none"> ・支援希望市町に対しては、原則、対面支援とするが、市町の希望に応じてオンライン支援を併用して行う。オンデマンド配信や書面配付等で、委員会の助言内容等の横展開を図る。 ・同じような課題を持つ保険者は同時に支援をすると、取組の横展開や保険者同士の情報交換が活発に行えるのではないかと。 ・委員会の未利用保険者（特に途中で活用しなくなった保険者）について、その理由や経緯を把握することで、未利用保険者への対応を検討できるのではないかと。 ・支援方法の効率化を図り、保険者格差へ対応するため、支援を希望する内容の程度により、「委員会」「相談会」「その他（国保連の保険者支援で個別対応）」「研修会での情報共有・好事例の共有」に振り分けて対応してはどうか。（委員会の回数を絞ることで、全ての委員が出席可能な日を設定することができ、より充実した支援が可能になるのではないかと） ・事前協議では要点を絞り、委員が回答すべきポイント部分のみを協議する形を検討してもよいのではないかと。 ・委員会で支援可能な相談内容に絞り、必要なデータ等が提示できるよう、事務局で事前に調整する。また、他市町の好事例を知りたいという相談については、委員よりも事務局のほうが情報を把握していると思われるため、事務局から情報提供や保険者同士を仲介する等で対応したほうがよいと考える。 ・市町から出される課題や相談事項を経年で確認し、評価委員会における相談事項が前進しているかどうかを把握できると良い。 ・委員会の参加率や保険者の取組状況等とあわせて、当事業開始後の健診受診率等のデータの改善状況を分析し、委員会の効果として保険者にPRできると良い。 ・Webで過去の委員会資料や助言内容等が閲覧できれば、担当者が交代しても、過去の助言等を確認した上で相談内容を検討しやすくなるのではないかと。Web上に資料等を掲載することを検討してはどうか。 ・市町がオンライン参加した場合であっても、Web上で保険者間の情報交換ができるよう工夫してはどうか。 ・保健所には傍聴をいただいているので、県を通じて意見や効果等を確認できると良い。 ・一体的実施事業では、本県はKDBシステム、KDB補完システム、一体的実施・KDB活用支援ツール及び一体的実施・実践支援ツールを活用し、対象者の抽出や評価を行っている。保険者が4つのシステムやツールの違いを理解し、使い分けができるよう案内する必要がある。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容について委員として意見等しているが、その後に委員の意見を市町村がどのように反映させたのか等はないため、次回の委員会で国保連合会から報告してもらう等もあってよいようにも感じている。 ・自治体からの相談を評価委員が対応するスタイルだが、評価委員だけでなく、国保連合会また後期高齢者医療広域連合、また県担当課（医療・保険課）も積極的に相談対応されことや、県内の自治体が互いに情報交換・意見交換できることも大事ではないかと感じている（当職が把握していないだけでそのような別の機会があるのかもしれない）。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・移動が難しい高齢者に向けた訪問型等の対策 ・食と運動を組み合わせたフレイル予防プログラムの強化 ・地域ぐるみで健康づくりを支える仕組み（住民主体の健康サポート活動）の推進 ・地域の医療機関や薬剤師と連携し、多剤服用の見直しを行う ・健康サポート薬局との連携
19	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に質の向上を図る必要がある。そのためには委員の質や恒常的に関わる保健所などの関係機関との連携が重要。 ・年間通して委員が支援保険者を分担しているため、翌年度、担当委員が交代しても、また、各保険者の事業担当者が交代しても、保健事業のPDCAサイクルが機能するよう助言していく必要がある。 ・保険者の計画の実施状況を理解した支援。 ・ウェルネスの視点を大切に支援 ・限られた資源でできることは多くないが、それが何なのかを俯瞰して理解できるよう、委員も市町村と一緒に考えたい。 ・今後も好事例の発掘とともに、好事例の創出にも関わる必要がある。さらに好事例集の作成の継続、好事例を保険者間で共有する機会の増加が必要。 ・研修会などの機会に保険者同士を繋ぐ（現地参加を促す）働きかけ。
20	好事例が他の保険者に共有できるかの検討は必要だが、その共有は必要と考えます。一方、失敗事例の共有もより有用であると考えます。
21	<p>支援評価委員会が、県国保連の機能強化、担当職員の資質向上にもつながる事業であって欲しい。（委員から見えないところにその仕組みがあるのならそれで良い。）</p> <p>また、多くの関係者との情報共有やWebでの傍聴等により、好事例の横展開や市町村国保担当者の仲間づくりの機会となり、効果的・効率的な保健事業の実施と関係者の元気につながれば良いと思う。</p>
22	年度内の活動につなげるためには、支援をより早い時期に設定することが重要と思われる。
23	<p>以前にもお伝えしたが、保健所の位置づけを明確にしたい。</p> <p>今年度も支援場面に保健所のスタッフが出席されていたが、保健所はその後どの様な関わりをされるのかがみえない。これだけ支援を受けている市町村が増えていく中で、支援を受けた市町村のネットワークが保健所管轄別でき、それらの市町村を保健所がサポートできると、管内での継続した取り組みになるのではと思う。</p> <p>委員会の支援場面に保健所スタッフが出席することの意図を明確にして、市町村と協力して体制づくりに繋げていく役割を期待したい。</p>
24	市町村を支援する際に、保健所からもより多くの支援を頂けると、より効果的になると感じます。また支援の充実・向上に向けて自分自身のスキルアップもはかることが今後の課題だと感じています。
25	<p>重点的に支援を行うモデル地区支援とその後のフォローアップ支援を行った保険者には一定程度の成果が得られたため、個別支援からは卒業という形にはなるが、実際に事業を進める中での課題や評価の段階での課題など、大きなサイクルでPDCAを回すことができるようになったかの確認のためには、さらに継続的に聞き取りなどを行っていく必要がある。</p> <p>県および後期高齢者医療広域連合の両者が集まって検討を行う会議体の設置が決まったことは第一歩ではあるが、会議体が効果的に機能しているか、一体的実施の推進につながっているかについては、今後も経過をフォローする必要があると考える。</p>

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
26	<p>・後期高齢者医療広域連合の場合 →未受託市町村支援としては、例えばテンプレート作成など、取り組みやすい工夫を検討して継続して関与していく。 受託済み市町村に対しては、介入の優先度を検討していく。県・国保連の3者が連携して取り組んでいく。</p> <p>・県・後期高齢者医療広域連合合同支援の場合 →一体的実施に向けて、質の向上に取り組んでいく。協働して取り組めること、情報共有等を実施していく。</p>
27	<p>・医師会や医療機関との連携といった関係機関との連携の課題が今年度は多いと感じた。そういう意味では県や保健所等の支援が今後一層必要になると考える。また、小規模のところは少人数の事業担当者への負担が大きいため、取り組みに差が出る部分もあるが、他保険者の好事例の提供や実施可能な範囲でできることを助言出来たらと考えている。</p> <p>・同じ課題を持っている保険者間の情報共有を促進していきたい。</p> <p>・現在も実施しているWeb会議は遠方の保険者の負担を軽減し、情報共有も可能なので継続していきたい。</p> <p>・均一化や内容の充実性が課題。</p>
28	<p>比較的大きな自治体で事業計画を複数名で考えられるような自治体だけではないと思うので、希望があれば事業計画の構想段階から委員が積極的に関わることができるようにすると、その後の評価委員会もより効率的になると思いました。</p>
29	<p>・地域の特性を生かした事業計画の策定を推進する。例えば、地域のラーメン店で減塩知識を普及させる取り組みや、温泉施設での高齢者入浴事故防止に関する啓発活動を行う</p> <p>・事業活動においてICTの活用を推進する。例えば、健診の受診勧奨に健康アプリを活用したり、フレイル予防にオンライン通いの場アプリを導入したりする。</p>
30	<p>・ワークシートと委員会をうまく活用できている保険者はよいサイクルで回せるようになってきているが、あまり活用できていない保険者への支援が課題と感じる。今後もグループ支援の積極的活用や記載例・事例集の共有により、保険者の負担を減らして効率的に進めていくことも必要と考える。</p> <p>・質問がない保険者もいるため、質問の機会をうまく活用して積極的に委員会を活用できるよう引き続き事務局にはサポートいただきたい。</p> <p>・他機関との連携強化につながるような取り組み・支援が今後必要と考える。</p>
31	<p>今後、データヘルス計画の各個別保健事業における目標を達成するためには、各保険者の創意工夫した取組・戦略を推進することが望まれる。そのためには、各保険者独自の地域資源の活用可能性なども引き出しながら支援していきたい。</p> <p>また、県や広域連合とも協働し、保険者全体の取組状況や課題を継続的に把握しながら、好事例等の横展開に努めていきたい。</p>
32	<p>効率よく支援ができるよう他の連合会の事例共有</p>
33	<p>・限られたマンパワーをいかに活用していくのか、支援すべき対象者をいかに絞り込んでいくのか、市町村に合わせた具体的な立案が必要となる。</p> <p>・Webでアクセスできるコンテンツを増やすなど、さらに情報や好事例の共有を推進する方法を作成する必要がある。</p>
34	<p>・支援・評価委員会に参加する市町村を、同じくらいの人口規模の市町村を集めて実施すると、お互い具体的に保健事業が分かるのではないかと考える。</p>
35	<p>共通したテーマや課題解決のための方策等を広く保険者に周知していただいていることはとてもありがたい。助言をもとに事業実施してどうだったか、PDCAサイクルで評価しながら、次の事業につなげていく地道な実践が効果につながっていくことを信じて、やっていくしかないと思う。</p>
36	<p>医療機関等との連携強化については、継続して検討が必要と考える。</p> <p>保険者間の情報共有や好事例の共有については、グループでの意見交換や、同じ課題の検討など行うことも有効ではないかと思う。</p>
37	<p>・「保険者間の取組都合の格差」には、「各保険者内部の組織体制、および組織間・組織内の連携」が影響していると考えられるため、「保険者が集う形式」のサポート事業において、「組織間・組織内の連携」の改善が図れるような支援を充実していく必要がある。</p> <p>・「保険者格差への対応」については、みなし健診等のように広域的に整備できることには、積極的・継続的に取り組む必要がある。</p> <p>・「その他」として、糖尿病腎症重症化予防における困難事例支援の充実を図る必要がある。</p>
38	<p>保険者の保健事業について取り纏めを作成してもらったが、評価の実施時期、何をどのように評価する等の事業評価ができていない保険者が少なかつたため、継続して支援していく。</p> <p>今後一覧表の中に記載がなかった医療費や実施者数等を追加した上で、効果的・効率的にできるため支援していく。</p>
39	<p>・保険者間の格差をなくすように、更なる充実した支援、情報共有に努めたい。</p> <p>・通院していない人については、ポピュレーションアプローチとして他自治体の好事例なども参考に啓蒙活動を行う。通院者については、通院先の医師にアドバイスを求めたりしながら、協力して疾病管理の改善をはかる。</p> <p>・Q&A方式で過去の回答例や好事例と、考えられる保険者の取組を各保険者がいつでも参照できるようにWeb上でシステム構築をする。</p>
40	<p>第3期計画で設定した評価指標や関連するデータ項目を毎年度集計し、進捗状況を確認しながら市町村の取組結果を評価していく。また、重症化予防の取組状況を保険者協議会を通じて調査し、その結果を委員会でも共有しながら、重症化予防の取組が弱い保険者への支援も検討していく。</p>
41	<p>小規模保険者が多く、保健事業の成果をデータで表しがたいが、可能な限り定量的な評価指標を提示していくことが必要である。また、保険者が即実践に活かせる助言を求めていることに対しては、好事例の紹介や広域的な対応策を提示することで、期待に応えるアプローチを助言していく必要がある。</p> <p>短時間の面談だけでは支援は一部となるため、担当が交代した直後などには福祉保健所による支援等により、一定の水準まで引き上げたうえで、当該委員会に参加してもらうことで、委員会での助言のレベルが保持できると考える。</p>
42	<p>保険者の評価内容の項目や、評価方法などが、保険者によって相違があるような気がするのですが、保険者の地域特性や、ニーズ、実態の把握が十分にできていないので、効果的な助言になっているか心配があります。</p>

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
43	<p>【課題】</p> <p>(1) 本県は、自治体の体制や社会資源等に大きな差があるため、体制や社会資源等を踏まえた支援が必要であるが、今後も効果的な保険者支援のために、県庁（医療保険課・健康増進課）、保健所（健康増進課）等との情報や課題の共有など連携を図る必要がある。</p> <p>(2) 令和6年度の小委員会の中で、生活習慣病の重症化予防の取組を推進していくためには「やはり特定健診の受診率を上げていかなくては」という声が保険者より聞かれた。また、第4期特定健診・特定保健指導実施計画より、特定保健指導の評価方法に「アウトカム評価」が導入されており、保健事業の展開については、自治体の規模や手法で異なるため、以前より同規模自治体での情報交換や検討を希望する声が上がっている。</p> <p>(3) 令和8年度は、第3期データヘルス計画の中間評価の年度である。令和5年度の第3期計画策定の際、支援・評価委員会の支援時期が遅く計画に反映できなかったという声が複数の保険者より聞かれたため、中間評価に向けて令和7年度後半より取組を進めていく必要がある。</p> <p>【今後の支援】</p> <p>ヘルスアップ事業の支援については、全保険者が取り組んでいる「特定健診未受診者対策」について支援を行う。また、第4期特定健診・特定保健指導実施計画から、特定保健指導にアウトカム評価が導入されたことを踏まえ、特定保健指導についての支援も行う。</p> <p>保健事業の展開については、自治体の規模で手法が異なることから同規模自治体での開催とする。</p> <p>(1) 保健事業支援・評価委員会（全体会）：2回</p> <p>【支援内容】</p> <p>①市町村国保ヘルスアップ事業への支援（特定健診未受診者対策・先駆的かつ効果的なモデル事業）</p> <p>②都道府県ヘルスアップ支援事業への支援</p> <p>③後期高齢者医療広域連合への支援</p> <p>(2) 保健事業支援・評価委員会 小委員会：6回</p> <p>【実施方法】</p> <p>①開催時期：令和7年9月～11月</p> <p>②実施形式：人口規模に分けて実施</p> <p>委員：6名/回程度（地域性を考慮）</p> <p>※県庁所管課（医療保険課、健康増進課）、保健所（健康増進課）については案内予定だが、参加については任意とする。</p> <p>③所要時間：1回あたり2時間半から3時間程度</p> <p>(3) データヘルス研修会の開催（3回）</p> <p>【支援内容】</p> <p>1) 講話：CKD対策「医療連携で取り組み生活習慣病の重症化予防(仮)」(7月下旬)</p> <p>2) 2月上旬ごろに小委員会総括</p> <p>3) 講話：「第3期データヘルス計画中間評価について」、説明：「令和8年度支援・評価委員会について」(2～3月)</p>
44	<p>保健事業の構造、仕組みを変えることができるよう、担当者がその考えや行動を修正していかなければならない。実施率などの目標数値だけを見るのではなく、何を変えるのか、どのくらいの規模で変えるのか、どのくらいの期間で変えるのかという点で担当者が行動を起こさせる支援の方法（時間、場所、保険者からの参加者、必要な資料）を修正する。本来なら、データヘルス計画で行うべきことであるが、データヘルス計画が数値目標だけになっている。</p>
45	<p>県と市町村保険者のより目的から方法に対する密度の高い連携が求められる。また、人的リソースが不均一で限りがあるため、実施できる事業内容に格差が生じており、その改善が求められる。また、今後の事業の効率化において、デジタル技術の導入は必須の要素と考える。</p>
46	<p>今後の支援の方向性として、地域の健康課題の解決に向けた取り組みが円滑に進むよう、情報共有や連携強化を大切にしていきたいと考えています。引き続き、各関係機関との連携を深めながら、より良い成果を目指していきたいと思っています。</p>
47	<p>・保険者間の情報共有をさらに充実するため、保険者間同士で意見交換できる機会の継続は重要である。</p> <p>・委員会各回が長時間となるため、引き続きWebを活用し、効率的な運用を継続してもらいたい。</p>
48	<p>各保険者それぞれの取組に関する質疑応答があると、支援が深まると思われます。</p>
49	<p>保険者の地域特性や優先課題に応じた支援、助言の在り方を検討するとともに、引き続き、先行事例を共有することで、効果的、効率的な支援に繋がると思います。</p>
50	<p>今後の支援の方向性として、各保険者がデータヘルスを推進する上で、事業内容や予算等、幅広く協議する必要があるため、多職種に参加いただく必要があると実感した。</p>
51	<p>未支援保険者への対応、格差対応策としてモデル保険者による実践報告等による情報共有を予定とする。</p> <p>働き盛り世代への対応は継続すべきと考える。</p>
52	<p>・集団支援（初任者支援・データヘルス計画中間評価支援）及び個別支援（保健事業に関するもの）を実施する。</p> <p>・国保保健事業担当になって、1～3年目くらいの職員を対象に、基礎知識の提供を目的として、初任者支援（集団支援）を実施する。国保保健事業の総論、特に例年支援希望の多い糖尿病性腎症重症化予防事業についてご講演いただき、その後、情報交換会を予定している。</p> <p>・データヘルス中間評価年度である令和8年度を見据えて、令和7年度中に中間評価に向けて準備いただけるよう集団支援を実施する。</p> <p>・集団支援は、後日アーカイブで視聴ができることとし、翌年度以降にも活用できるようにしたい。</p> <p>・保健事業への助言については、個別支援とする。</p> <p>・広域連合及び構成区市町村への助言については、個別支援で対応する。</p>
53	<p>保険者からの相談の多くは近隣の市町村と話し合うことで解決する内容が多いため、国保連への相談を活用するよりも複数町村で相談しあうことでよりよい助言を得ることもあると考える。また、関係作りをすることで、継続して相談しあえるようになると思われた。</p>

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
54	<p>国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の申請書が改訂されることで、データに基づいた課題の整理が可能となり、保険者・支援者をはじめとした関係機関内で課題共有が行えるようになり、課題解決に向けた支援の充実が期待できる。今後は、経年変化や保険者のマンパワーや優先課題を考慮した支援を実施していければと考える。また、他都道府県の特定保健指導実施者からのヒアリング等の新たに得られた情報を活用して支援を行っていければと考える。</p>
55	<p>未支援の市町村の状況を把握することが求められる。そのため、支援を希望しない市町村については、その理由を明らかにし、適切に対応していく必要がある。本県は面積が広く、開催地である市から遠い市町村では、片道2時間以上かかる場合がある。そのため、支援を希望しない市町村に対しては、今後もZoomと対面の両方の形式を適宜活用することが望ましい。</p>
56	<p>引き続き次のとおり行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険者の課題等を把握するために、関係機関との情報交換やヒアリング等を実施する。 ・委員がわかりやすく、保険者が作成しやすい資料を提示する。 ・小規模保険者やマンパワー不足等の未支援保険者に対し、会議の場での周知、担当者への勧誘・声掛けを行う。 ・傍聴も検討する。
57	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医との連携は、熱心な一部の医師のみ参加。今後も県・医師会との連携に努めると共に、市町で事例を通じた連携が進むよう支援する。 ・担当者の異動により過去の積み上げが崩れる市町も少なくない。継続した取組みが進むよう、市町の異動、担当者の経験を踏まえたきめ細かな支援を継続。 ・県内でも取組みの成果が出ているような自治体からアドバイスをもらえた方が、巡回先の自治体にとってはよいのではないかと感じました。 ・保健指導体制が整っていない市町への支援については、管理職も含め情勢の理解や糖尿病等の重症化予防の重要性を理解する機会が必要かと思う。 ・課題を解決するためにレセ分析学習会、支援・評価委員会を活用し優先順位の付け方の考え方を学び、現状がこれでいいか、プロセス計画がこれでいいか、保健指導への実践につなげるための機会、見直す機会となればいいかと思う。 ・現場が抱える悩みを、実践している同じ立場として共有しながら一緒に解決への方法を考えていけるよう、努めたい。 ・定期的な巡回支援での保険者の直接支援により、保険者の実態把握と実情に応じた支援を行う。 ・保健指導の力量形成や医療連携等、県内保険者の共通課題は連合会実施の研修で補完したり、県や医師会との連携のもと、課題共有するなど、全体の体制構築につなげる。 ・国保連は、過去より、継続支援されてきた健康課題の把握のための研修や保健指導等の力量形成にかかる事業企画頂いており、今後もそうした支援が継続されることを祈願しているとともに、その延長線上にある後期高齢者のための保健事業も効果的・効率的な展開となることを期待している。 ・前期高齢者までの生活習慣病等の重症化予防が健康寿命延伸に大きく影響するため、国保保健事業に係る支援が主となることは充分承知しているものの、後期高齢者に係る取組への事業評価を含めた助言・指導を期待している。
58	<p>各保険者は医療機関との連携を課題として挙げていましたので、この点について長期的な視点で取り組みが必要だと感じています。また、支援を受けた保険者は理解や気づきまで到達することができていますが、その後の状況を追えていませんので、何らかの確認やフォローアップをすることが、より効果が期待できるのではないかと考えます。</p>
59	<p>保険者（市町村）は人事異動で担当者に毎年交代があるため、企画評価において、基本的な押さえを繰り返すことが必要となっている。意欲的な保険者ばかりでもないため、背中を押す、ちょっとした気づきを得られる、国保とヘルス部門と一緒に参加できる、保健所も参加できるといったところに重きを置いた方法（今回のオンライン相談）で支援を受ける保険者の拡大を図ることは有効と思います。</p>
60	<p>インセンティブ支援などは保険者間の競争を促すことで事業の効果的かつ効率的な実施を期待しているが、本来、保健事業は競争になじまない。成果を実感できる事業であれば、インセンティブなどがなくても自然と取組みが進むと考えられる。他の保険者が取り組みたくなるよう好事例を積極的に発掘し、わかりやすく伝えていくことが重要となる。</p>
61	<p>一体的事業については、いまだに効果的に実施できている保険者は少ないと思われ、好事例の共有などが参考になると考えられますが、本県の広域性からWebの活用をより強化できるとよいと考えます。</p>
62	<p>数が多く、格差が大きい保険者へどのように対応していくかが以前から課題とされていた。委員会支援を利用しやすくするためWeb相談が開始されたので、初年度ではあるがその評価をお聞きたい。 1回の委員会支援では限界があるので、本庁や保健所の市町村支援等と連動できるとよい。保険者が相談できる体制が必要と思う。</p>
63	<p>・未支援保険者は支援を受けることにハードルを感じている保険者が多いことがうかがわれるため、支援準備の負担軽減をしたり、支援を受けた保険者には支援を受けたメリットを感じてもらえるような工夫が必要である。</p>
64	<p>ヘルスアップ事業の交付要件として委員会を活用している保険者も多いと考えられますが、それ以外の保険者の参加も促し、その上で参加保険者が多くても委員会の負担が増加しないあり方の検討が必要ではないかと思います。</p>
65	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有・好事例の共有は、保険者の取組の参考になるだけでなく、委員にとっても、支援の充実・向上を図るうえで有益である。事務局が把握している全国の好事例を今以上に提供するなどの工夫をお願いしたい。 ・保険者格差がみられるので、一律に「個別支援（グループ支援）＋集団支援」を実施するのではなく、保険者に応じた支援方法を工夫してはどうか。例えば、事務局が作成した支援・助言に関する事例集の活用、希望する保険者のみに個別支援を実施（内容は全体で共有）、保険者の希望を考慮した内容での集団支援の実施など。

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
66	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の高い血圧の低下、禁煙のさらなる推進、血糖管理等にはKDBデータの活用が有用であり、その成果が挙がっている。さらなる科学的評価に基づく事業の推進が望まれる。 ・医療依存度の高い重症化予防などの事業には医師会等専門団体との連携が不可欠であるが、まずは国レベルでの連携を進めてほしい。 ・県内にこだわらず、全国的な好事例（特に医療費削減を実現できた）を中央会には示して頂きたいと思う。保険者の意欲に繋がる。 ・保険者のトップ或いは上位の役職に現状を知って欲しい。保険者内の体制づくりを期待したい。 ・一体的実施事業の支援には、介護保険、医療保険（広域連合を含む）、市町村行政の錯綜した制度を担当者が理解する必要がある。現状はまだ十分ではないと思われる。 ・参加する保険者としていない保険者が固定化すると、保険者格差が拡大する可能性があるため、引き続き未支援保険者を気にかけていくことは必要性を感じます。また、自然に健康になれる環境づくりとポピュレーションアプローチなど、今までとはちょっと違った切り口で取り組む機会となるよう、自然とやりたい保健事業を考える機会となる場づくりは大切だと思います。さらに、本県は小児期の肥満も多いので、母子保健や学校保健と連携することに関心を持つ機会も必要と思います。 ・委員会にはWebでの傍聴も可能とする。参加することで事業に取り組む意識の統一化と共有が図られ、ゆくゆくは保険者間の格差の縮小につながるのではないか。 ・保険者から、前年度完了報告時に国保連合会・委員からの助言や傍聴の機会に取り入れたことや参考になったことも併せて報告していただくと、委員の助言内容の見直し等につながるのではないかと思います。 ・市町村は、保健事業を実施する際に生じた疑問や課題であることを専門的な知見から、逐一アドバイスをもらえるような伴走支援を求めているように感じた。そのような支援体制をどのように構築できるか検討の必要があると思う。
67	・引き続き、各市町の効果的な循環器疾患予防の実施に向けた支援を行う。
68	支援内容を工夫し、より具体的な保健事業に繋がる支援が必要かもしれない。
69	・今後も、保険者間の情報共有や好事例の共有により、市町村職員の取組姿勢の向上を行うとともに、より効果的な助言による支援を行い、市町村が取り組む保健事業の一層の向上に努めていきたい。
70	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者に伝えたいこと、助言については、同じような内容（繰り返しの内容）も多い。しかし、人事異動等で人が変わっていく状況も踏まえると保険者の中で定着していくよう繰り返し伝えていくこと（投げかけていくこと）も重要である。 ・「取り組んだことがどういった結果だったのか」丁寧に、しっかり見ていくよう支援していく必要がある。 ・先駆的に取り組んでいこうとしている保険者と保健事業の実践に多くの課題を抱える保険者がある。先駆的に取り組む保険者は県内のトップランナーとして成果を出してもらえよう支援、多くの課題を抱える保険者はスモールステップの支援など保険者の実態・力量の応じた支援も考えていく必要がある。
71	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援を中心にした保健事業が多数見受けられることから、地域全体への波及効果をもたらす取組の必要性を感じる。ハイリスクとポピュレーションの両方を生かしたアプローチが経年的変化を見ていく上では重要だと思われる。 ・予防的視野を持った取り組みを行い、発症予防や重症化予防だけでなく、地域全体の健康レベルを上げ、健康増進を図る必要がある。
72	支援については、各保険者の課題に応じて解決できるような支援が必要。そのためには保険者の実態把握が最重要と考える。各保険者の共通課題を評価・支援委員会として取り組んでいくことも必要だと考える。共通した課題としては、医療機関との連携があると思う。予防と医療のスムーズなつながり、本来の健診の意味付けなど医療機関とも共有する事ができるような支援はできないものか。
73	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しない（できない）保険者への支援方法の検討が必要である ・参加しない保険者の現状や意向を確認し、今後の運営に反映させる ・遠隔地からの参加や多忙な業務の中で時間確保が困難である場合など、Webの活用を検討する ・可能なら、委員会直前ではない資料の配信と、事前に準備できる項目内容は調整いただくと効率的に運用 ・できるのではないかな
74	関係機関との連携は今後も強化が必要で、情報提供や共有、好事例の紹介など効果が期待できる。また、支援の充実・向上については、具体的な支援方法の提供などができれば良いと考える。
75	例えば、健診受診率の向上や未支援者への効果的なアプローチ方法などについて、成功例や好事例を共有できる仕組みと活用が求められると思う。
76	これまで個別支援を中心に実施してきたが、保険者間で共通の課題があることも多い。上記の課題もあり、支援・評価委員会での支援が十分に生かされていない印象もあることから、個別支援方式ではなく、研修会方式などにより、保険者間での情報交換を促すことにより、日常的な保険者間のコミュニケーションを促し、相互支援を受けやすい環境を整えるとともに、支援の効率化を図ることを検討している。
77	委員会で、保険者の課題であると感じたこととなったことなどを保険者にフィードバックする機会（研修会などを含めて）があれば良いかもしれない。県庁の担当者も議論内容や課題を知ってもらいたい（特定健診や特定保健指導に関する研修会のテーマとの乖離を感じる）
78	<p>現在の委員には医師会関係者がおらず、医師会とより連携強化を図っていく必要があると考えている。その場合、都道府県側がより連携強化に関わっていくことが望ましいのではないかな。委員会開催時にもさらに都道府県という立場や保険者と関係機関との間での意見を出してほしいと考え、それが連携強化や市町村格差の是正、支援の充実につながると思う。</p> <p>検討会の傍聴などで情報の共有をさらに進展させられたらと考える。また、これまで支援を受けている保険者と、比較的支援を受けてきていない保険者との差が大きいように感じており、保険者の規模だけではなく、支援レベルに分けて検討会を開催するなど今後できたら良いのではないかな。支援に要する時間等の設定についても、より手厚く支援すべき保険者は助言等の時間を多くとり、開催場所に来てもらい、そうではない保険者は少し時間を短くしてWebを基本とするなどして、スムーズな委員会運営につなげてはどうか。</p>
79	保険者により保健事業担当者の経験年数が様々なので、経験に応じた支援が必要と考えます。
80	Web開催のため工夫が必要と思われるが、より保険者間での情報共有の場を充実させていけるといいのではないかな。
81	引き続きオンラインでの開催が良いと思います。

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
82	<p>今後は、各保険者のレベルの均霑化並びに更なる質の向上を目指した各保険者と県保健所及び専門医療機関等の関係機関との連携の強化が必要と考える。</p> <p>また、各保険者、委員及び事務局の負担軽減のため、支援方法の効率化が求められ、そのためにはICT等を活用したDXの推進が必要と考える。</p>
83	<p>他の市町村ではどうしているか、自分たちはこうしているが、他に効果的な取り組みをしているところはあるかという問いかけが複数あり、委員として多くの好事例を把握しておくことも必要であると感じたが、県内の状況を蓄積して市町村間で共有できることも必要だと感じた。</p>
84	<ul style="list-style-type: none"> ・支援による成果を未支援保険者に示し、活用を促せるとよいと思いました。 ・研修会で好事例の紹介をされていますが、各事業ごとにこれまでの支援での情報をまとめて提示できると参考になるのではないかと思います。
85	<p>保険者への支援として、国保連だけでなく、県や保健所（糖尿病性腎症重症化予防事業）がそれぞれ取組を実施しているため、うまく連携をとることで、担当圏域の保険者にとって有益な支援となるようにしていきたい。</p>
86	<p>事業評価支援委員会について要望のあった保険者に対し、支援を行っていく。</p> <p>また、国保・後期高齢者以外の住民も含めた「健康日本 2 1 計画策定・推進支援」「特定町村人材確保支援事業」等の事業を展開する中でも保険者の相談支援を行っていく。</p>
87	<p>・委員か、委員以外の専門職等かが直接市町村に出向いて、実地で支援を行えるようにしていくことが必要ではないでしょうか。</p>
88	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する保険者は資料化し、助言を受け、評価についても助言を受ける体制が整っているため、参加することで市町村格差は減らしていけると思うため、未参加の保険者に対し参加を促す取り組みが必要だと思う。 ・Web開催で聴講できるため、情報共有・好事例の共有ができていますので、聴講できるしくみは継続したほうがよい。 ・来年度は開催方法が変更になると聞いているが、計画・評価がうまく機能するようしくみを作っていく必要がある。 ・各保険者が目的意識を持って委員会を活用してもらえとさらによい
89	<p>県の健康福祉部、医師会、後期広域連合などの関係機関との連携は、保健事業の成果につながるといいますので、引き続き強化していくべきだと思います。</p> <p>保険者には「助言集」をもっと活用いただけたらと思います。今後も内容の充実が図られていくと期待しています。</p>
90	<p>支援・評価委員会の中で保険者のニーズ、課題解決に向けた支援体制・支援方法を検討していく必要があると考えている。</p>
91	<p>今後も、事業別に保険者間のグループワークを続けたい。</p>
92	<p>集団支援の場で、各保険者の好事例を発表してもらい、情報共有を図っていく。</p>
93	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施したような支援を継続し、取り組みが遅れている（うまく展開できていない）地域への支援とすることは有効な手段であると考えている。 ・継続した支援を行うことが（特にGrディスカッション等）今後の取り組みに対する地域格差是正に貢献できると思う。
94	<p>経験豊かな委員の先生方の意見を伺う機会はあるものではなく、わたくしにとって大変有意義な勉強の場となっていることを深く感謝いたします。</p>
95	<p>自治体内の関係団体・組織との連携（ソーシャルキャピタルの活用）を強化する。</p> <p>ヘルスサポート事業に取り組んだ保険者に対する支援のうち、これまでに成果をあげたものについて集約して支援の充実・向上に役立てる。</p> <p>一体的実施事業を充実させるため、庁内連携の現状を評価し、どのような課題があるか検討する。</p>
96	<p>過去の支援内容を、委員も保険者も閲覧できるようにすれば効率的に進めることができと思う。この試みをしている保険者は当県以外にあるので、全国的にすればよいと思う。「特定健診受診率向上」と検索すれば、実際支援したまたは実行した内容を閲覧し、そのうえで会議に望むことで向上していくと思う。</p>
97	<p>継続的な支援</p>
98	<ul style="list-style-type: none"> ・各保険者が事業を進めるに当たって、医療機関（かかりつけ医）との連携やリハビリテーション専門職、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職の確保等、共通の課題を抱えており、地区医師会や各職能団体等との連携強化が必要となっている。 ・他の保険者の実践が参考になり、実施方法に変化が見えてきた。 ・他市町、他県の取組など好事例があれば共有する。 ・これまでの助言集などを事務局から提示していただき、保険者の担当者が自己解決できるよう期待する。併せて評価指標の効果判定等具体的な方法をうまくやっている好事例の紹介を行っていくと良いかと思う。 ・専門職の視点から、各市町の取組内容や評価から事業への取組の更なる推進や解決に向けた一助になるよう、具体的な助言や好事例の情報提供ができればよいと思っている。 ・県としても、保健所とも連携しながら、関係機関への働きかけ等支援を行っていきたい。 <p>また、各保険者共通の課題の解決を図るため、他県や他市町の優良事例の紹介や情報交換の場の設定などによる支援を強化できるとよいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会との連携強化を模索する。さらに好事例の共有を進める。 ・既存の施策に関してはマンパワー不足等の問題で実施できていない、実施できていても効果が見込めないという感が拭えない。保健医療部門の枠を超えたICTの活用をより強く進めていくことも今後必須であり、そのような場面での民間企業との連携も重要であると考えている。 ・一体的事業において、若い世代からの健康づくりが後期高齢者までつながると考える。 <p>本来は学校保健、職域保険、国保事業と一連の事業を進めていく必要があると考える。</p>
99	<p>保険者から「好事例を教えてください」との要望があるため、共有に努めたい。</p>
100	<p>更に支援の充実化を図るためには、保険者間の情報共有も取り入れられると良いのではないかと。取り上げる事業が同じ市町村でグループをつくり、他の市町村への支援も希望があれば参加が出来るようにしてはどうか。</p> <p>その場合、ワーキングメンバーも担当市町村以外の支援に加わるかどうか希望を聴取していただくか、支援するのは担当市町村分のみにする等ご配慮いただきたい。</p> <p>（担当市町村以外は、保険者のニーズ・実態等把握できていないため、支援が難しい現状がありますので、ご配慮いただきたいです。）</p>

No.	今後の支援の方向性_具体的内容
101	支援状況等を情報共有することで全体的にレベルアップすることができるため、好事例の共有ができるとよい。
102	今後のWGでは、引き続き今年度と同様にグループ支援を継続し、情報共有の促進を図っていく。また、具体的な事例を用いたグループディスカッションの実施を通じて、課題の深掘りを進めるとともに、保健事業の質的向上につながる支援の充実を目指していく。 支援・評価委員会においては、地域の実情により適した効果的な助言を実施するため、委員と事務局間の事前打ち合わせをこれまで以上に充実させていく予定である。
103	・委員会で同じような助言をしており、効果的に支援をするために事例発表やテーマ別でのグループ支援を行う委員会を開催する。 ・一体的実施への支援については「ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム」を記載し、PDCAサイクルを回すことが視覚的に理解できるような様式を利用する。
104	Webの活用は、コロナ禍以前から積極的に行っている。 それによって保険者間の格差が縮小することが望まれるが、上記の通りそのままではかえって拡大しかねない。 席上で委員ができる対応はあまりない。本県では国保連職員が委員会前後に各保険者を訪問して、事前資料の記入を支援し、席上での助言をどのように受け止めたか、また受け止めるべきかについて、ていねいにフォローアップを行っている。
105	・未支援保険者は、自らの力で効果的に事業を運営することができるのか把握し、支援の必要性を判断することが必要と考える。 ・保険者間の情報共有・支援は県の国保担当部署が行っていると県の保健事業内容から把握しているが、その事業や担当部署との連携強化が必要と考える。 ・受診率・利用率が伸び悩んでいる保険者・保健事業が多く、支援の充実・向上も必要と考える。
106	「電話で詐欺」などが大きく問題になる中、架電で受診を促すなどを拡充するのは無理だと思われる。携帯電話番号を同意の上で提供してもらい、その方にはSMSでプッシュ型の受診勧奨なら可能と思われる。自治体担当者がKDBIにアクセスでき、利用する事は意義があるが、現場対応で多忙な保健師等において現状把握のための業務とすることには必ずしも賛成できない。ましてや情報分析まで課するのは人材の有効利用という観点から異論がある。結果として業者への丸投げとなるのは本末転倒ではないか。高齢者を含めてスマホの普及率がすでにかなり達成されている現状から、デジタル機器の有効利用が目指すべき方法と思われる。「ひとりも取り残さない」というお題目で利用をあきらめるのは納得がいかない。監視体制構築の一環として行われるのは反対だが、先端技術を取り入れ、ついていけない方のケアは状況を見ながら実施するのが進むべき道と思う。
107	支援・評価委員会、ワーキング、事務局が一体となり、さらなる支援の効率化と充実・向上に努める。また、電話勧奨が多くの被保険者で行われているので、時代の推移に合わせた電子的方法を取り入れていくよう勧められればと考えている。
108	先進的（優良）保険者にも有益な、グループ支援時の情報提供
109	担当者同士による具体的な悩みや対策の共有が可能となっている。 改めて電話等で伺うことは遠慮される場合もあるので、引き続きこのような場を設けてほしい。
110	・医師会との連携が課題として挙げられることが多く、保健所長との連携・協力を薦めているが、さらに、医師会と県あるいは国保連との連携を深めることができれば、さらによいと感じる。 ・保険者間での情報共有や好事例の共有は非常に効果的であると思う。 ・同様の取組を行っている保険者同士が、認識、連絡しやすいような場の設定は有効と考える。 ・保険者間の情報交換において、失敗や困難も併せて情報交換し、改善案を話し合うことができれば、発展的な場になると考える。 ・県共通指標及び共通様式により策定されたデータヘルス計画の初年度となり、各保険者において評価を踏まえた事業展開が求められる。医療機関をはじめとする関係機関との情報共有・連携という点で課題としている保険者も多く、圏域単位での実施も効果的ではないかと考える。 ・委員の意見による事業展開には限界があるので、保険者間同士のGWやディスカッション方式で進めるのも良いのではないかと考える。必要時に委員が発言するなど ・AI技術の活用（対象の抽出、啓発、連絡、評価などの場面）の可能性を考えたい。 ・状況や指向が同様の保険者が共通で使えるツール（対象の抽出、連絡、評価など）の開発などの可能性を考えたい。

その他、感想等

No.	その他、感想等
1	<p>・支援評価委員会に出てこられるDH計画の立案担当者には伝わっている・スキルアップしているな ということは感じるが、実際に従事する保健事業実施者であるスタッフ全体への周知はまだ不十分だと感じた。（別の場面で感じた）。担当者間の引継ぎも大切だが、実施者等のスタッフ全体への引継ぎも行っていけると良い。</p> <p>・PDCAでまわすということはDH計画だけでなくほかの保健事業でもベースとして大切だと思うのだが、ほかの事業ではPDCAを意識していない従事者は多い。もっと保健事業に関わる従事者全体に、DHで何を目的にしているのか、共有する機会を持っていってほしい。</p>
2	<p>委員となり、助言などを行ってきたが、それが実際に役にたっているのかを考える。支援者の研修など支援技術の向上を図る取り組みがあってもいいのではないかと。また、全国での好事例などの情報共有ができれば良いと考える。</p>
3	<p>保険者の保健指導の質の向上につながっているのか、悩みながらの支援です</p>
4	<p>・自分とは異なる専門性を持つ他の委員さんの経験や知識、助言から私も多くを学ばせて頂いています。今後も理想論ではなく、保険者に寄り添った助言・支援ができるように心がけたいと思います。</p> <p>・専門的な助言というより、保健事業を担う担当者の気持ちに寄り添う支援しかできていないように思いますが、支援に対する時間を費やすこと自体が委員自身の学びになっていると感じております。</p>
5	<p>個人も組織も、自らがどのような基準で評価されるかに応じて、行動を変化させると言われる。その意味からは、現行の保険者努力支援制度の下で、特定健診受診率や特定保健指導実施率に高い評価点を按分してあることは、事業によってメタボ該当者を減らすという真のアウトカムから保険者の目を逸らせることを助長しかねない。また、財政単年度主義の下では、今年特定保健指導を受けた群が、次年度に体重、腹囲、BMIなどのアウトカム指標を改善させたか否かは重要視されていない（同一個人を追跡するコホート調査は行にくい）。その代用として、今年度の受診者群に占めるメタボ該当者率を算出した後は、対象グループをいったん破算にして、また次年度の受診者群に占めるメタボ該当者率を算出して比較する横断的調査が行われる。そして、たいていメタボ該当者率に有意な差は生まれない。財政は単年度主義で構わないが、国保被保険者の健康管理においては多年度にまたがる経年変化を追跡するような評価体制・指標を用意しなければ、各保険者はこれまでの行動目標・様式を踏襲するばかりである。国からそれが是認されているとすれば、国保連だけの努力では限界がある。</p>
6	<p>保険者の規模や担当者の熱量によって左右されることが懸念されるが、保険者間での双方向の意見交換の機会があることも課題感の共有や新たな取り組みを行う際の動機づけになるのではないかと。また、保険者の参加者の中には、特定健診・保健指導の担当になってから日も浅い方もいると思われるため、基本的なレクチャーの機会があっても良いのではないかと。また、第2回保健支援事業評価委員会でも出たが、アウトプット評価・アウトカム評価については別の機会に調査をした際に特定保健指導を実施している保健師も自信を持って回答できない状況が見られた。</p>
7	<p>毎回の委員会やワーキングで保健事業を客観的に見つめる機会となり、大変勉強になっています。各保険者の保健事業担当者は、保健事業の方向性や実施内容に悩みながら取り組んでおられると感じます。不安や悩みが解消され、保健事業の発展につながるような支援となればと思います。</p>
8	<p>特定健診未受診者対策・特定保健指導・重症化予防は、どの市町村も似たような悩みを抱えているため、実施内容や助言内容を共有できる仕組みがあればよいと思う。</p> <p>身体的フレイルについては、みな手探りで、聞きたいこともわからないような状態だったと感じた。</p> <p>生活習慣病予防もフレイル予防も、妊娠期（胎児期）・乳幼児期・学齢期から取り組まないと、年齢でぶつ切りでは、対策そのものが後手後手で、とりあえずやっているだけの印象でモチベーションも上がらないのではないかと。</p>
9	<p>公衆衛生看護の識者として声をかけていただき委員として就任させていただきました。各自治体の取り組みを知ることができ、大変参考になりました。提出された取り組みをわが町のこととして置き換えて一緒に考えさせていただいたという感想です。課題解決に向けて試行錯誤されながら真摯に取り組まれているなか、自分の発言が役立ったのか自信がありませんが、一助になれていたら幸いです。ありがとうございました。</p>
10	<p>保険者を経験したのとして、自分だったらどうするかなを想像し、なるべく具体的な支援ができるように努めていますが、保健事業に対する考え方が事業主体になっている感が強く感じられ、なぜその事業をするのか、住民の生活を守るためだって思うことがあります。</p>
11	<p>委員の皆様にも専門性を活かした適切な助言をいただき、大変感謝しています。</p>
12	<p>どの保険者も人手不足が課題で事業運営に支障が生じている状況を実感、自治体ごとに工夫をしながら住民の健康課題に向き合う姿勢はとても参考になる部分が多かったです。今後も情報を共有しながら、県全体の保健事業の効果的な実施につながることを願います。</p>
13	<p>個人的には、委員としての力量についての不安があります。事務局や他の委員さんに助けていただきながら支援にあたるのが出来ました。</p>
14	<p>課題が庁内で共有されず、連携が少ない自治体の質問事項、支援希望が、近視眼的になっている。そのため費用対効果が出ない。</p>
15	<p>行政の保健事業の具体的な取り組みのお話を伺い</p>
16	<p>・訪問支援は、委員の質問について提出資料以外の関係する資料等ですぐに確認返答がされ、委員としての満足度は高い。一方、委員会支援では提出された資料のみでは全体像が理解しにくく、支援内容がこれで良かったのかと不安が残ることがある。また、提出される資料の格差は大きい。委員会のための資料作成が保険者の負担にならないよう支援がしたい。</p> <p>・中央会主催の保健事業支援報告会に参加することにより、他県の取組について知ることができ、本県の取り組みの良いところが客観的に確認できたとともに、他県の取り組みの良いところを学ぶことができた。</p> <p>・引き続き、保険者が抱えるニーズを把握し、それに応える支援を心がけたい。</p>
17	<p>様式が決められているので難しく保険者の負担になってはと思うが、事業によっては単年の事業評価だけでなく、経年的な結果はどうなのを見れるシートのようなものもあると評価の参考になるのではないかと。また、評価が次年度にわたる場合の評価方法など共通理解しておくことは必要ではないかと、思いました。</p>

No.	その他、感想等
18	<p>【助言活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の指導の場合には、細かくどのように活かされたかというのをきちんと評価委員会として評価するのはなかなか難しいところもあるかと思います。少なくとも個別指導のところはそれがどのように活かされたか、フォローするということは必要なかと思いました。 ・具体的に集団支援の内容をもとにこのように変更してみた、ということが実際に書かれている自治体もあります。それをどの程度まで追っていくのか、改善したそのポイントがどのようにアウトプットの評価に活かされるのか、そういった長期的な目線で見るという視点も必要かと思いますが、どこまで介入していくのかということに関しては、やはりそこら辺も検討する必要があるかなと思いました。 <p>【共通課題（想定される質問）と回答について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県に限らないと思いますが、ほとんど似たような内容が毎年繰り返されるようです。ある程度質問の中で想定されるものに関しては、いわゆる想定問答集のようなものを準備して、それをホームページに公開して、その残りの部分で、という形でも本当はいいのかもしれないと思うことはあります。そうすると多少簡略化はできると思いますので、その辺りの御検討をさせていただくのがいいと思っております。 ・ベースの助言はQ & Aのような形で、それプラス何か、さらに支援が必要であれば、そこはその自治体の本旨を尊重しながらちょっと伴走的に支援していく形が良いのではないかと思います。 ・共通する課題に関しては、やはりF A Qというか、想定問答のような形で、これまでの助言を整理して、そちらのほうは事前に公表しておくというのがいいか感じております。 <p>【委員会の評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の職員は、どうしても2～3年で替わってしまう。しかも他の部署からの異動というのもあります。そう考えると、大前提として行政職員は2～3年で替わるものだといった中で、この支援・評価委員会でどういった支援を行っていくのか、到達点とか目標とかそういったものも含めて、整理していただくのがいいかなと思います。 ・支援・評価委員会としての評価をどう考えるのか。どのようなことを目標にしていけるのか、保険者がどういう状況になるのを目指していくのか、目的・目標（KPI）は共有して支援していく、ということもすごく重要だと思っております。 <p>【助言の実施方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えた上での質問なのか、それとも丸投げなのかにもよって、地方公務員としての本旨にそぐわないような形にならないように、手取り足取りにならないようにしなければいけないということも、改めて感じる所でした。 ・集団支援も個別支援も、どの程度どこまでやるのかということも、やはり明確にする必要があるかと思っています。集団支援の感想（助言への要望）でも、個別の支援で具体的に支援したほうがいい内容を書かれているところもあるので、個別支援のほうに誘導してあげられるようなことが必要なかなというところもありました。 ・保険者さんの質問には、集団でやるような知識を提供するとか、そういうところ以外の部分で、一般論で解決できる質問と、個別の自治体なり保険者の背景を踏まえないと回答できないような質問というの2つまざれているかなと思います。なので、この委員会として、その背景を踏まえて、ちゃんと聞き取りを行った上で助言しないとだめだと考えています。個別に振っていくのか、それとも集団で扱わないようなより細かい質問に寄せていくのかということころは見たほうがいいかなと思います。 ・個別の背景を踏まえないといけな質問というのももちろん出てくると思うので、それに対する対応というのは必要かと思うのですが、個別支援のときに、委員6人か7人が全員同じ保険者のものを助言する必要があるのかということも数年やってきて疑問に思うところもあります。例えば委員を2グループに分けて、それぞれ得意な、あるいは専門の分野に分けて、質問に対してグループを分けて、小グループで個別の支援をしていくというやり方もあるのかなと思います。そうすれば、個別に回ってくる自治体、保険者数が増えたとしてもある程度対応できると考えられます。 ・先ほど申し上げましたが、集団の底上げのほうに注力していくのか、それとも個別の悩みというところをしっかりと対応していくということに振っていくのかということころは、もうちょっと方向性決めてもいいかなと思っています。 ・コロナ等もあり、リモートでも入りやすいということで、この集団支援という形が定着したのかなと思います。ただ、もともとは、支援が必要な保険者さんが少ないときにはかなり個別に対応していたというのも事実であって、ただ、それを今の助言を希望する保険者全体に同じように対応していくというのはなかなか難しいところもあるので、ここ何年間かはこの形が、ある意味、妥協点としてはよかったのかなとは思っています。 ・いわゆるイロハ的な部分の研修、言ってみればかなりレベル差があるので、その全体の底上げをどうするかということだと、来年度、初任者向けの研修みたいなものを入れ込んで、その評価も含めて、来年度そういう形で一回やってみるのかなという気がしています。 <p>【委員からの助言の重みの2つの意味】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者が、こういうことをやりたいということは言っても、なかなか予算がおりない、人員がつかない、あるいは委託を認められないとか、そういうときに、この評価委員会のほうから背中を押すような意見をいただくと、それで財政部門を説得できたりするということはよくあると聞いております。 ・逆に、自分の自治体ではこういう事業というのはあまり筋がよくないのではないかなと思っていても、議員さんとか医師会とかから、これやれ、あれやれという形で来ているときに、それを今はちょっとやらないほうがいいですというのはなかなか担当者レベルでは返せない。そういうときに、この支援・評価委員会のほうに、助言の中で、今優先的にやることではないよねというニュアンスのことをいただくと（優先順位がつけられる）。特に高脂血症とかそういう関係のものはよくあるように聞いています。 ・この助言をどのように活用したいと考えているのかということは、単純に分からないから教えてくれ、ということではなくて、漠然と思っていることの背中を押してほしいという部分があるのかなと感じております。その辺りはヒアリングの中でもかなり聞き取っていただけるのですけれども、この委員会があることで非常に助かっているという思いをしている保険者さん、相当いらっしゃるのではないかなと感じております。
19	<p>・県内の複数の取組事例を共有する機会があると、他自治体の参考になると思う（人口規模や地域性により取組には差が出る為。モデル的な取組に限らず）。</p>
20	<p>国保連合会の負担は大きいと思いますが、事前準備のウエイトが大きい。事前に保険者とやりとりして資料化を行ってくださったことで市町村側も負担が少なく、委員も討議にスムーズに入ることができました。</p>
21	<p>日本人の平均寿命と健康寿命が世界のトップクラスを保っていることは、各保険者がとても頑張っていることの表れともいえる。今後も自信と誇りをもって保健事業に取り組めるよう、支援の中で各保険者のポジティブな取組をしっかりと評価していくことが必要と思われる。</p>
22	<p>・保険者は課題は見えていても、多忙等で振り返りや評価時間を十分に持てていなかったり、現状維持バイアスや組織風土なども相まって、客観的だったり新たな視点や発想を得にくいと思われ、第三者からの質問ややり取りの中で気づいていけるのは貴重な機会と感じています。</p>

No.	その他、感想等
23	<p>〔保険者からの感想〕</p> <p>（１）重症化予防について</p> <p>○眼底検査結果の考え方（医療機関の選定）や尿蛋白検査（定量・定性・アルブミン尿）について等、的確なアドバイスをいただき整理もでき、今後の保健指導に活かしていきたいです。</p> <p>○CKD対策に関する事（尿検査など）について専門医から情報提供があり、更に支援・評価委員会の先生方とも共有でき有意義でした。</p> <p>○歯科口腔疾患についての明確な意見や事業評価についてのアドバイスをいただいたことで、次回の事業の参考になりました。</p> <p>○重症化予防の区分について、年齢や複数年対象での優先順位の設定、緊急性に応じた対象者の選定等のご意見を頂くことができ、優先順位による選定の仕方の参考になりました。マンパワーも引き続き十分でない状況でもありますので、町の現状を踏まえて対象者の選定を行いたいと思います。</p> <p>（２）委員会について</p> <p>○実施している保健事業に対して、専門家の意見を直接聞ける機会はなかなかないので、大変ありがたいです。</p> <p>○受診率向上や各値の目標設定および効果検証についても細かい助言をいただけたので、保健事業を進めるうえでの参考にしていきたいです。</p> <p>○なかなか医療機関に繋がらない未治療者を、治療に繋ぐため支援や関りのポイント、活用する資料等への助言などが、大変参考になりました。</p> <p>○事業を客観的に評価していただいたことで、今後また違った視点も持って事業を実施することができると感じました。また、本町のこれまでの保健事業をまとめたり、健診受診のレポート率を出したりと、あまり振り返っていなかった点についても改めて評価する機会が持てたので、今後事業を評価していく上で参考になる部分が多かった。取り組んでいることに対して前向きなコメントをいただけるとモチベーション向上につながって良かった。</p> <p>○重症化予防について、数値化したデータを経年比較することで、目標値に対して改善・悪化しているかを再確認することができました。また、先生方のご助言をお聞かせいただくことで、評価いただいた部分は今後の励みになり、改善点については、今後の課題として認識することができました。</p> <p>○未受診者対策について個別へのSNS勧奨が困難でも、市メールでの全体を対象にした広報など、工夫できることはまだ他にもあると気づくことができました。</p> <p>○目標値の出し方で、計算シートの活用し根拠をもって説明できると感じました。</p> <p>○支援評価委員からのアドバイスを受けて、職員間では出てこなかった意見をいただけたため、考え方の幅が広がりました。</p> <p>○保健指導を受けて、改善した方にみんなの前で話をさせてみてはというご意見をいただきましたが、本人の今後の取組の継続や、その話を聞いた方でも、「自分も出来るでは」といった動機付けにもなり、効果的だと感じました。</p> <p>○当日は、委員からの質問等に答える形で進みましたが、質問を受けながら事業の整理や課題等が見えてきたので良かったです。</p>
24	<p>今年度初めて委員をさせていただき、初めのうちは、委員としての役割の全体像のイメージ図が描けない中で役割を十分に果たしているか不安でした。しかしながら、事務局の強力なサポートのもと、委員会の進行、保険者支援（個別・集団）、二次医療圏別研修を実施させていただくうちに、重層的な関係機関との連携体制が築けているこの本県だからこそ可能な支援があるということに気づきました。次年度以降も事務局とタッグを組ませていただきながら、微力ではありますが委員として力を尽くしていきたいと思います。</p>
25	<p>事務局（国保連）の方からいただける各市町村の事前情報や、統計データが分かりやすく大変役立ちました。ありがとうございました。</p>
26	<p>市町の事業の実施状況や課題を知ることができたため、市町支援などの日頃の業務に活かしていければと思う。</p>
27	<p>支援における成果は上述したとおりですが、今後は、この成果を各保険者が確実に蓄積できるかがポイントとなると考えます。</p> <p>また、保健事業支援・評価委員会に同席した保険者だけでなく、そのほかの保険者が、必要に応じ、情報を収集できる仕組みがあると、同様の内容での助言や指導を繰り返すことなく効率的に保険者のレベルアップにつながるのではないかと考えました。</p>
28	<p>第１回支援委員会への参加は多いが、第３回には少なくなる。最終的に保険者がどのように対応したか、保険者にとって委員等の助言が有効だったかについてのフィードバックがあるとよい。委員自身のスキルアップ向上の視点でも検討いただけると有難い。</p>
29	<p>様々な困りごとについての助言者からのアドバイスは、とても参考になり、自分も勉強させていただくことができました。</p>
30	<p>・各保険者の支援事業の具体的な内容が分かり良かった。</p>
31	<p>・保険者の抱える課題解決の場として、取り組み内容を共有する場として有意義な事業であると考えます。</p>
32	<p>グループ支援については、保険者間の情報共有・好事例の共有の機会となり、よかったと思います。</p> <p>また、各市町村からの質問も、全市町村と共有されているので、全体共有が図られていると思いました。</p>
33	<p>保健事業・支援評価委員会に参画することで、市町村の状況を知ることができ、支援のあり方を考える機会となった。保健所がどのような役割を果たすことができるか、考えていきたい。</p>
34	<p>国保連合会の皆様、保険者の皆様、業務の参考になることも多く、勉強させていただきました。ありがとうございました。</p>
35	<p>保健事業支援・評価委員会の当日を迎えるまでに、事務局において、各保険者への支援、助言を丁寧かつ継続的にされていることにより、各保険者の意識やスキルの向上が図られているのだと考えています。保健所としても、引き続き、情報共有や事業の連携をしていく中で、地域をより良くしていける方策と一緒に考えていきたいと考えてます。</p>
36	<p>小規模保険者では担当が交代した時には、評価方法などの基礎的な知識については、福祉保健所による日常的な活動で支援をしていただきたい。その上で評価支援委員会に助言を希望していただくことで、委員会自体のレベルが維持できる。委員会も保険者とともにPDCAサイクルでレベルアップが求められるが、これまでの活動が途絶えた保険者が目立ったため、日常的な支援が必要と感じた。</p>
37	<p>委員の立場で、この事業の負担感は大い。</p> <p>発表する市町村や県国保連の担当者、傍聴する関係者にとっても、それぞれに多忙な中での準備や参加の負担は大いと思われる。</p> <p>『人とカネが減った分、仕事は増やしておくね』といったブラックユーモアも聞かれる中で、最小の労力で最大の効果が得られる事業展開が望まれる。</p>
38	<p>保健事業の対象者に対する保健活動では、「対象者（被保険者）が主体的に、自分の健康を自分の力でコントロールできるようにする支援が求められる。個別の事業の企画やデータヘルス計画の作成にあたっては、このことをいつも念頭に置く必要がある。保険者（国保担当者）に対する支援・助言にあたっては、委員として忘れないようにしたい。</p>

No.	その他、感想等
39	今後もできる範囲での支援が出来たらと思います。特に、私の専門性は疫学やデータの評価というところなので、その観点での支援が出来たらと思います。
40	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の実践の様子を学べ、他の委員の意見もとても参考になった。現地に出向くことで環境条件や地域性が実感できる点もよかった。 ・過去より、国民健康保険団体連合会の健康づくり支援課の皆様には、県内市町国保保健事業に係る国の情勢はじめ、保健事業従事者のデータ解析能力や保健指導の力量形成のための事業や研修などに計画的に継続支援を頂いており、その成果が県内における糖尿病による人工透析の新規患者数の減少等の成果が現れており、医療専門職の人事異動なども視野に置かれた的確な貴重な取組を実施頂いていることに心より感謝を申し上げたい。今後は国保被保険者数が減少する中での取組に苦慮されるかと思うが、今後とも、県内医療保険者への支援を心より依頼申し上げたい。 ・保険者の苦労や困りごとを直接聞いたり、色々な想いを抱えながら日々取組む様子を汲み取りながらの支援は心に響くと思う。直接話すことは大事だと感じている。 ・保険者に寄り添った助言・支援ができるよう私も心がけたい。支援数も多くなり、保険者格差があるなかで、必要な支援を行って成果をあげることは、事務局の方々尽力の賜物と考える。引き続き、保険者のニーズ・実態把握など支援が行われることを期待するとともに、その事務局への支援が必要だろうと感じている。それが委員会としての支援の充実・向上につながると思う。 ・事務局の事前準備のお陰で、内容の濃い有意義な支援・評価委員会となっている。この事業で、事務局が各保険者の背景と力量を踏まえてフォローし、また相談役となっていることが役割として大きい。委員としても小さなことでも保険者が自信につながる助言・支援できるよう心がけたい。 ・事務局が保険者ニーズ・実態把握につながるデータ分析等、丁寧に事前準備されており、円滑な委員会運営がなされていると思う。
41	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年このような調査を行っているようだが、問題点の解消に至っていない。単なるガス抜きにしか思えない。 ・本当に保険者の支援を行うのであれば、アルバイトの委員ではなく、中央会で専門的な組織を編成して実施するべきである。 ・支援希望が多く、また他保険者が参考にできる同様の取組も多いと思われるため、まとめた助言や情報共有の場など効率的な支援に努力したい。 ・保険者が事業に真摯に取り組んでいること、悩みや苦労を知ることができ参考になった。 ・国保連合会による本支援・評価委員会の工夫された会議運営やきめ細かな支援により、各保険者の保健事業の質の向上に繋がっていると感じている。 ・きめ細やかな会議の開催内容により保険者のスキルアップや情報共有につながっていると感じた。 ・各保険者間の情報共有は重要だと感じる。
42	<p>傍聴する保険者が増加している。また、発表するより傍聴するほうが効果的と考える保険者も増加しているように感じる。このことをプラスに評価（委員会の役割として）し、支援方法を前向きに検討することが必要と思う。</p> <p>事務局が各保険者の背景と力量を踏まえてフォローし、また相談役となっていることが役割としてとても大きいと感じています。委員としても小さなことでも保険者が自信につながり助言・支援を行っていきたいと思います。</p>
43	いつもありがとうございます。事前資料に書かれている補足事項の内容にいつも助けられています。今後どうぞよろしくお願いいたします。
44	市町が事業を構想する段階から、伴走型で支援できると、より支援らしい支援になるのかなと思いました。
45	・支援事業の効果を検証することを期待している。
46	<p>支援数増加に合わせて委員会の参加回数と人数を調整いただいたおかげで委員の負担が大幅に軽減された。</p> <p>国保連報告会に参加し、県のオンラインでのグループ支援は効果的効率的な支援につながっていると感じた。</p>
47	<p>いつも連合会（事務局）の皆さまが、保険者のニーズ・実態把握につながるデータ分析等、丁寧に事前準備していただいており、円滑に委員会が運営されていると思います。ありがとうございます。</p> <p>また、取り組み成果の格差は、今後益々人口や高齢化率の格差に大きく影響を受けていくものと思われます。その部分に細心の注意を払いつつ、最前線で熱心に取り組んでいる保健師・栄養士等の専門職のモチベーション向上も視野に入れ、保健事業の効果的なサポートができるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。</p>
48	<ul style="list-style-type: none"> ・網羅的な事業支援には少し限界を感じている。各市町村全体に対して事業を展開することも重要だが、もっと集中的かつ試験的な事業の拡大も必要ではないかと感じている。 ・また、上記にも記載したが、既存の介入や勧奨方法での取り組みは少し行き詰まり状態になっているのではとも思う。ICT等の活用による好事例などの共有が可能ならばより良いと思う。 ・評価委員会の委員ではあるが、国保連を通じて、支援を行うのみで、直接的な支援は行っていない。 ・保険者の課題解決に向けた有益な助言、支援につながるよう、他県や他市町の優良事例の紹介等に努めたが十分ではなかったと感じている。引き続き、必要な情報収集等に取り組んでいきたい。 ・県においては、県の健康増進計画の改定を行っており、計画に基づく取組に関する情報提供や、関係機関と連携を図りながら、各保険者の抱える課題の解決に向けた体制整備等に取り組んでまいりたい。 ・評価対象が、事業の通知方法などに限定されているように思う。これは、関心が低い住民にとっては、一方的な「通知文書」は「また役所からきた」と見逃され、面倒なこととして受けとめられやすいと考える。健診や事業については、「通知文書」で知らせるだけでなく、日頃実施している健康相談などの保健事業の中で、健診を受ける意義や健康づくりの行動について、住民が学習する場を設けるなどの工夫を検討していただきたい。 ・1年間ありがとうございました。保険者の担当者の方々とコミュニケーションを円滑に進めていただき、事務局の方々に感謝です。ありがとうございました。
49	これらが、毎年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書の最後に一覧で掲載されている。記録に残すことにも意味はあるが、読んでも何の役に立っているかがわからない。

No.	その他、感想等
50	<ul style="list-style-type: none"> ・マンパワー不足等の問題を抱えている未利用保険者に対しては、まずは実務面での支援を充実させる必要があるのではないかと感じた。 ・各事業における好事例を集めた事例集のようなデータベース化されたものがあると便利ではないか。 ・支援した内容が市町の事業に反映されたのが見えにくい。委員会の利用率とあわせて、アウトカムとして質的情報だけでなく、量的にも把握する必要がある。 ・過去に支援を受けた市町の事業が、その後、どのように変わっていて、その結果がどうなっているのか、という経緯を把握した上で相談を受けられると委員も助言がしやすい。 ・保険者が委員会に対してどう捉え、何を望んでいるかについては、事務局から事前に働きかけることで、改善できる部分があるのではないか。 ・地域職域連携推進協議会では協会けんぽが市町保険者と連携して特定健診やがん検診の受診率向上の取組等をしたい、市町の健康課題に対して、連携してとりくめることがあれば紹介してほしいという声もあるが、市町にはその声が届いていないのではないか。県庁にも市町を紹介してほしいというような問い合わせもあった。そのような情報を市町に共有することも、関係機関との連携強化につながるかもしれない。
51	<p>※回答した内容は、国保中央会というよりは、国保連合会、後期高齢者医療広域連合、医療・保険課への意見が中心のように感じますので、その辺りは国保連合会で精査していただければと思います。</p>
52	<p>委員としての力量もない中で、相談した保険者にとって、この評価委員会が効果的なものになっていないのではないかと感じる。</p>